

令和6年度
県民の体力・スポーツに関する調査
結果報告書

令和7（2025）年3月

神奈川県立スポーツセンター

令和6年度
県民の体力・スポーツに関する調査
結果報告書

令和7（2025）年3月

神奈川県立スポーツセンター

目 次

I	調査の概要	1
1	調査目的	3
2	調査実施概要	3
(1)	調査地域	3
(2)	調査対象	3
(3)	調査方法	3
(4)	標本数	3
(5)	調査期間	3
(6)	調査委託機関	3
3	集計上の地域区分について	4
4	調査項目	4
5	回答者の属性	5
II	調査結果の要約	7
1	健康・体力観	8
2	運動・スポーツの実施状況及び今後の意向	10
3	スポーツ施設	11
4	県・市町村のスポーツ施策	12
5	スポーツ全般についての意見	13
6	運動・スポーツがもたらす価値	15
III	調査結果の詳細	17
1	健康・体力観	20
(1)	自身の健康観	20
(2)	自身の体力観	22
(3)	肉体的な疲労	24
(4)	精神的な疲労・ストレス	26
(5)	体力の衰え	28
(6)	運動不足	30
(7)	自身の肥満度	32
(8)	健康や体力の維持増進への注意	34
(9)	健康・体力維持への留意点	36
2	運動・スポーツの実施状況及び今後の意向	38
(1)	1年間に行った運動・スポーツ種目	38
ア	気軽に楽しんでいるスポーツや比較的軽い運動として 行っているスポーツ	38
イ	野外活動として行っているスポーツ	40
ウ	競技として行っているスポーツ	42
(2)	1年間に行った運動・スポーツの日数	44
(3)	運動・スポーツを行った理由	50
(4)	運動・スポーツを行った効果	52
(5)	運動・スポーツを行わなかった理由	54
(6)	運動・スポーツ活動の満足度	56
(7)	今後(も)行いたい(行ってみたい)運動・スポーツ	58

ア	気軽に楽しみたいスポーツや比較的軽い運動として 行いたいスポーツ	58
イ	野外活動として行いたいスポーツ	60
ウ	競技として行いたいスポーツ	62
3	スポーツ施設	64
(1)	公立スポーツ施設設置状況	64
(2)	公立スポーツ施設への要望	66
(3)	学校の体育施設利用状況	68
(4)	学校の体育施設を利用しなかった理由	70
(5)	今後設置を希望するスポーツ施設	72
4	県・市町村のスポーツ施策	74
(1)	「総合型地域スポーツクラブ」の認知	74
(2)	「総合型地域スポーツクラブ」の参加状況	76
(3)	「3033（サンマルサンサン）運動」の認知	78
(4)	「3033（サンマルサンサン）運動」の実践	80
(5)	「県民スポーツ月間」の認知	82
(6)	運動・スポーツ行事・教室について	84
ア	県・市町村主催のスポーツ行事参加状況	84
イ	県・市町村主催のスポーツ教室参加状況	86
ウ	県・市町村主催のスポーツ行事・教室参加意向	88
(7)	神奈川県スポーツ推進にかかる取組について	90
ア	「神奈川県スポーツ推進条例」の認知	90
イ	「神奈川県スポーツ推進計画」の認知	92
ウ	「かながわパラスポーツ」の認知	94
5	スポーツ全般についての意見	96
(1)	運動・スポーツ関連情報ニーズ	96
(2)	運動やスポーツのクラブ・同好会・サークルなどについて	98
ア	クラブなどへの加入状況	98
イ	加入しているクラブなどの種類	100
ウ	クラブなどが行っているスポーツ（種目）	102
エ	クラブなどへの加入動機及び目的	104
オ	現非加入者の今後の加入意向	106
カ	加入したいクラブなど	108
(3)	スポーツ観戦について	110
ア	スポーツ観戦への関心	110
イ	スポーツ観戦経験	112
ウ	会場で直接観戦をしたいスポーツの規模	114
エ	会場で直接観戦をしたいスポーツの競技	116
オ	テレビやインターネットなどでのスポーツ観戦経験	118
カ	テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの 規模	120
キ	テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの 競技	122
(4)	スポーツに関するボランティア活動について	124
ア	スポーツに関するボランティア活動への関心	124
イ	スポーツに関するボランティア活動経験	126
ウ	スポーツに関するボランティア活動の内容	128

	エ スポーツに関するボランティア活動への今後の参加意向	130
(5)	地域のスポーツ振興について	132
	ア 地域のスポーツ振興に期待する効果	132
	イ 県の取組への要望	134
6	運動・スポーツがもたらす価値	136
IV	資料	139
	アンケート調査	140

注) 「しょうがい」という言葉には、「障がい」「障碍」など様々な表記があります。
本調査では、法令等における表記である「障害」を使用しています。

I 調査の概要

1 調査目的

県民の体力・スポーツの意識や実態の推移及び、スポーツに対する県民の意識等を把握するとともに、県のスポーツ推進計画の改定の参考資料及び今後の県のスポーツ施策の基礎資料とする。

2 調査実施概要

(1) 調査地域

神奈川県全域

(2) 調査対象

県内に居住する満18歳以上の男女個人

(3) 調査方法

「楽天インサイト」パネル登録モニター（約220万人）を対象としたWEBアンケート調査

(4) 標本数

回収標本数3,000サンプル（人口構成比に応じて、各市町村の男女及び年齢毎にサンプル数を設定）

(5) 調査期間

令和6（2024）年 5月20日（月）～ 6月20日（木）

(6) 調査委託機関

株式会社サーベイリサーチセンター

3 集計上の地域区分について

この調査の実施に当たって、神奈川県内を次の8地区に分割し、居住地区をはじめとした分析軸の類別に用いた。分割地区名と該当行政地区は次のとおり。

分割地区名	行政地区名
① 横浜地区	横浜市
② 川崎地区	川崎市
③ 相模原地区	相模原市
④ 横須賀・三浦地区	横須賀市・鎌倉市・逗子市・三浦市・葉山町
⑤ 湘南地区	平塚市・藤沢市・茅ヶ崎市・秦野市・伊勢原市・寒川町・大磯町・二宮町
⑥ 西湘地区	小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町
⑦ 県央地区	厚木市・大和市・海老名市・座間市・綾瀬市・愛川町・清川村
⑧ 足柄上地区	南足柄市・中井町・大井町・松田町・山北町・開成町

4 調査項目

1 健康・体力観

(1) 自身の健康観、(2) 自身の体力観、(3) 肉体的な疲労、(4) 精神的な疲労・ストレス、(5) 体力の衰え、(6) 運動不足、(7) 自身の肥満度、(8) 健康や体力の維持増進への注意、(9) 健康・体力維持への留意点

2 運動・スポーツの実施状況及び今後の意向

(1) 1年間に行った運動・スポーツ種目 [ア 気軽に楽しんでいるスポーツや比較的軽い運動として行っているスポーツ イ 野外活動として行っているスポーツ ウ 競技として行っているスポーツ]、(2) 1年間に行った運動・スポーツの日数、(3) 運動・スポーツを行った理由、(4) 運動・スポーツを行った効果、(5) 運動・スポーツを行わなかった理由、(6) 運動・スポーツ活動の満足度、(7) 今後(も)行いたい(行ってみたい)運動・スポーツ [ア 気軽に楽しみたいスポーツや比較的軽い運動として行いたいスポーツ イ 野外活動として行いたいスポーツ ウ 競技として行いたいスポーツ]

3 スポーツ施設

(1) 公立スポーツ施設設置状況、(2) 公立スポーツ施設への要望、(3) 学校の体育施設利用状況、(4) 学校の体育施設を利用しなかった理由、(5) 今後設置を希望するスポーツ施設

4 県・市町村のスポーツ施策

(1) 「総合型地域スポーツクラブ」の認知、(2) 「総合型地域スポーツクラブ」の参加状況、(3) 「3033(サンマルサンサン)運動」の認知、(4) 「3033(サンマルサンサン)運動」の実践、(5) 「県民スポーツ月間」の認知、(6) 運動・スポーツ行事・教室について [ア 県・市町村主催のスポーツ行事参加状況、イ 県・市町村主催のスポーツ教室参加状況、ウ 県・市町村主催のスポーツ行事・教室参加意向]、(7) 神奈川県の実施状況

かかる取組について [ア 「神奈川県スポーツ推進条例」の認知、イ 「神奈川県スポーツ推進計画」の認知、ウ 「かながわパラスポーツ」の認知]

5 スポーツ全般についての意見

(1) 運動・スポーツ関連情報ニーズ、(2) 運動やスポーツのクラブ・同好会・サークルなどについて [ア クラブなどへの加入状況、イ 加入しているクラブなどの種類、ウ クラブなどが行っているスポーツ(種目)、エ クラブなどへの加入動機及び目的、オ 現非加入者の今後の加入意向、カ 加入したいクラブなど]、(3) スポーツ観戦について [ア スポーツ観戦への関心、イ スポーツ観戦経験、ウ 会場で直接観戦をしたいスポーツの規模、エ 会場で直接観戦をしたいスポーツの競技、オ テレビやインターネットなどでのスポーツ観戦経験、カ テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの規模、キ テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの競技] (4) スポーツに関するボランティア活動について [ア スポーツに関するボランティア活動への関心、イ スポーツに関するボランティア活動経験、ウ スポーツに関するボランティア活動の内容、エ スポーツに関するボランティア活動への今後の参加意向]、(5) 地域のスポーツ振興について [ア 地域のスポーツ振興に期待する効果、イ 県の取組への要望]

6 運動・スポーツがもたらす価値

運動・スポーツの価値

5 回答者の属性

数値の単位：実数＝回答人数、％＝項目ごとの比率

(1) 居住地区別

	横浜地区	川崎地区	相模原地区	横須賀・三浦地区	湘南地区	西湘地区	県央地区	足柄上地区	
実数	3,000	1,073	439	214	223	407	197	276	171
％	100.0	35.8	14.6	7.1	7.4	13.6	6.6	9.2	5.7

(2) 性別

	男性	女性	
実数	3,000	1,500	1,500
％	100.0	50.0	50.0

(3) 年代別

	18～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	
実数	3,000	62	389	401	521	557	384	686
％	100.0	2.1	13.0	13.4	17.4	18.6	12.8	22.9

Ⅱ 調査結果の要約

1 健康・体力観

(1) 自身の健康観《P. 20》

全員に、自身の健康をたずねたところ、「まあ健康である」(69.3%)が最も高く、次いで「健康でない」(15.9%)、「大いに健康である」(11.1%)となった。また、《健康である群(「大いに健康である」+「まあ健康である」)》は、全体の80.5%であった。

(2) 自身の体力観《P. 22》

全員に、自身の体力についてたずねたところ、「普通である」(53.6%)が最も高く、次いで「自信がない」(36.5%)、「自信がある」(7.5%)となった。

(3) 肉体的な疲労《P. 24》

全員に、日頃の肉体的な疲労についてたずねたところ、「少し感じる」(62.5%)が最も高く、次いで「大いに感じる」(17.9%)、「感じない」(17.0%)となった。また、《肉体的な疲労を感じる群(「大いに感じる」+「少し感じる」)》は、全体の80.4%であった。

(4) 精神的な疲労・ストレス《P. 26》

全員に、日頃の精神的な疲労・ストレスについてたずねたところ、「少し感じる」(50.8%)が最も高く、次いで「感じない」(23.6%)、「大いに感じる」(23.1%)となった。また、《精神的な疲労を感じる群(「大いに感じる」+「少し感じる」)》は、全体の73.9%であった。

(5) 体力の衰え《P. 28》

全員に、日頃の体力の衰えについてたずねたところ、「少し感じる」(56.7%)が最も高く、次いで「大いに感じる」(30.4%)、「感じない」(10.2%)となった。また、《体力の衰えを感じる群(「大いに感じる」+「少し感じる」)》は、全体の87.1%であった。

(6) 運動不足《P. 30》

全員に、日頃、運動不足を感じるかについてたずねたところ、「少し感じる」(42.6%)が最も高く、次いで「大いに感じる」(36.2%)、「感じない」(18.5%)となった。また、《運動不足を感じる群(「大いに感じる」+「少し感じる」)》は、全体の78.8%であった。

(7) 自身の肥満度《P. 32》

全員に、自身が肥満であると思うかたずねたところ、「思わない」(60.5%)が最も高く、次いで「思う」(25.2%)、「非常に思う」(9.7%)となった。また、《肥満であると思う群(「非常に思う」+「思う」)》は、全体の34.9%であった。

（８）健康や体力の維持増進への注意 《P. 34》

全員に、日頃の健康や体力の維持増進への注意の意識をたずねたところ、「少し（時々）注意している」（57.2%）が最も高く、次いで「注意している」（27.8%）、「注意していない」（15.1%）となった。また、《健康や体力の維持増進に注意している群（「注意している」+「少し（時々）注意している」）》は、全体の85.0%であった。

（９）健康・体力維持への留意点 《P. 36》

日頃、健康や体力の維持増進に「注意している」または「少し（時々）注意している」と答えた人（2,548人）に、日頃の健康や体力の維持増進のために心掛けていることについてたずねたところ、「食生活に気をつける」（63.9%）が最も高く、次いで「睡眠や休養を十分にとる」（53.3%）、「運動やスポーツ（体操や散歩を含む）をする」（44.3%）となった。

2 運動・スポーツの実施状況及び今後の意向

(1) 1年間に行った運動・スポーツ種目《P. 38》

全員に、この1年間で1日あたり30分以上行った運動・スポーツについて、①気軽に楽しんでいるスポーツや比較的軽い運動として行っているスポーツ、②野外活動として行っているスポーツ、③競技として行っているスポーツを、それぞれたずねた（3つまで回答可）結果は次のとおりとなった。

- ① 【気軽に楽しんでいるスポーツや比較的軽い運動として行っているスポーツ】は、「ウォーキング（散歩などを含む）」（51.0%）が最も高く、次いで「ジョギング」、「室内運動器具（ダンベル、チューブなど）を使って行う軽い運動」（いずれも8.5%）となった。なお、「特になし」は33.3%であった。
- ② 【野外活動として行っているスポーツ】は、「登山、ハイキング」（9.2%）が最も高く、次いで「ゴルフ」（6.4%）、「サイクリング」（6.0%）となった。なお、「特になし」は72.1%であった。
- ③ 【競技として行っているスポーツ】は、「テニス、卓球、バドミントン」（3.2%）が最も高く、次いで「マラソン」（2.5%）、「サッカー、フットサル」「野球・ソフトボール」（いずれも1.8%）となった。なお、「特になし」は87.5%であった。

(2) 1年間に行った運動・スポーツの日数《P. 44》

前述の①～③において、いずれかの運動・スポーツを行った人（2,083人）に、この1年間で30分以上運動・スポーツをどの程度行ったかたずねたところ、「週に3日以上（151日以上）」（28.8%）が最も高いものの、全体的に分散している傾向であった。なお、《週1日以上》運動・スポーツを行った人の割合は、67.1%であった。

(3) 運動・スポーツを行った理由《P. 50》

前述の①～③において、いずれかの運動・スポーツを行った人（2,083人）に、この1年間で運動・スポーツを行った理由をたずねた（3つまで回答可）ところ、「健康・体力づくりのため」（66.4%）が最も高く、次いで「運動不足の解消のため」（59.7%）、「楽しみ、気晴らしのため」（43.0%）となった。

(4) 運動・スポーツを行った効果《P. 52》

前述の①～③において、いずれかの運動・スポーツを行った人（2,083人）に、この1年間で行った運動やスポーツの効果をたずねた（3つまで回答可）ところ、「健康・体力づくり」（54.7%）が最も高く、次いで「運動不足の解消」（52.4%）、「楽しみ、気晴らし」（46.0%）となった。

(5) 運動・スポーツを行わなかった理由《P. 54》

この1年間で30分以上運動・スポーツを行わなかった人（917人）に、この1年間で運動・スポーツを行わなかった理由をたずねた（3つまで回答可）ところ、「機会がなかったから」

(29.3%) が最も高く、次いで「仕事（家事・育児を含む）が忙しくて時間がないから」(25.3%)、「運動・スポーツは嫌いだから」(21.8%)となった。

（6）運動・スポーツ活動の満足度《P.56》

全員に、運動・スポーツ活動の満足度をたずねたところ、「運動・スポーツを行いたいと思っ
てはいるが、できない」(36.0%) が最も高く、次いで「運動・スポーツを行ってはいるが、も
っと行いたい」(24.8%)となった。なお、「運動・スポーツを十分に行っており、満足してい
る」は、(11.6%)であった。

（7）今後（も）行いたい（行ってみたい）運動・スポーツ《P.58》

全員に、今後（も）行いたい（行ってみたい）運動やスポーツについて、①気軽に楽しみたい
スポーツや比較的軽い運動として行いたいスポーツ、②野外活動として行いたいスポーツ、③競
技として行いたいスポーツを、それぞれたずねた（3つまで回答可）結果は次のとおりとなっ
た。

- ① 【気軽に楽しみたいスポーツや比較的軽い運動として行いたいスポーツ】は、「ウォー
キング（散歩などを含む）」(54.3%) が最も高く、次いで「軽いエアロビックダン
ス、ヨガ」(17.3%) 「軽い水泳（水中ウォーキングなどを含む）」(13.9%)となっ
た。なお、「特になし」は、24.0%であった。
- ② 【野外活動として行いたいスポーツ】は、「登山、ハイキング」(20.6%) が最も高
く、次いで「サイクリング」(14.0%)、「キャンプ」(12.2%)となった。なお、
「特になし」は、51.2%であった。
- ③ 【競技として行いたいスポーツ】は、「テニス、卓球、バドミントン」(10.9%) が最
も高く、他の競技はいずれも10%未満であった。なお、「特になし」は、72.6%であ
った。

3 スポーツ施設

（1）公立スポーツ施設設置状況《P.64》

全員に、公立スポーツ施設の設置状況についてたずねたところ、「十分整備されている」
(16.0%) が最も高く、次いで「施設の数も整備内容も不十分」(15.1%)、「施設の数が少な
いが、整備内容は十分」(13.8%)となった。なお、「わからない」は、46.1%であった。

（2）公立スポーツ施設への要望《P.66》

全員に、公立スポーツ施設への要望をたずねた（3つまで回答可）ところ、「施設数の増加」
(22.5%) が最も高く、次いで「利用手続き、料金支払い方法の簡略化」(20.9%)、「初心者
向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」(16.8%)となった。なお、「わからない」は、
40.8%であった。

（３）学校の体育施設利用状況《P. 68》

全員に、この１年間の学校の体育施設利用状況をたずねたところ、「利用した」は7.2%、「利用しなかった」は92.8%であった。

（４）学校の体育施設を利用しなかった理由《P. 70》

この１年間で学校の体育施設（運動場、体育館、プールなど）を「利用しなかった」と答えた人（2,783人）に、この１年間に学校の体育施設を利用しなかった理由をたずねた（３つまで回答可）ところ、「利用できることを知らなかったから」（19.3%）が最も高く、次いで「運動やスポーツに関心がないから」（18.0%）、「近くの学校体育施設は一般には開放していないから」（15.0%）となった。なお、「特になし」は、37.8%であった。

（５）今後設置を希望するスポーツ施設《P. 72》

全員に、今後設置を希望するスポーツ施設についてたずねたところ、「屋内プール」（26.0%）が最も高く、次いで「体育館」（12.5%）、「多目的運動広場」（11.7%）となった。なお、「特になし」は、45.0%であった。

4 県・市町村のスポーツ施策

（１）「総合型地域スポーツクラブ」の認知《P. 74》

全員に、「総合型地域スポーツクラブ」を知っているかたずねたところ、「知らない」（69.8%）が最も高く、次いで「総合型地域スポーツクラブという言葉聞いたことがある」（15.3%）となった。また、《認知群（「県内に総合型地域スポーツクラブがあることや仕組みや特徴も含め、よく知っている」＋「県内に総合型地域スポーツクラブがあることは知っている」＋「総合型地域スポーツクラブという言葉聞いたことがある」）》は、全体の30.2%であった。

（２）「総合型地域スポーツクラブ」の参加状況《P. 76》

全員に、「総合型地域スポーツクラブ」に参加したことがあるかたずねたところ、「参加したことがない」は97.0%、「参加したことがある」は3.0%であった。

（３）「3033（サンマルサンサン）運動」の認知《P. 78》

全員に、「3033運動」を知っているかたずねたところ、「知らない」（87.4%）が最も高く、次いで「「3033運動」という言葉は聞いたことはある」（8.2%）、「「3033運動」という言葉の意味を知っている」（3.0%）となった。また、《認知群（「「3033運動」という言葉の意味、内容、効果について、よく知っている」＋「「3033運動」という言葉の意味を知っている」＋「「3033運動」という言葉は聞いたことはある」）》は、全体の12.6%であった。

（４）「3033（サンマルサンサン）運動」の実践《P. 80》

「3033運動」について「言葉の意味、内容、効果について、よく知っている」または「言葉の意味を知っている」または「言葉は聞いたことはある」と答えた人（378人）に、「3033運動」を実践しているかたずねたところ、「実践している」は、19.6%となった。なお、「実践していないが、これから実践したい」が53.7%と最も高かった。

(5) 「県民スポーツ月間」の認知《P. 82》

全員に、「県民スポーツ月間」を知っているかたずねたところ、「県民スポーツ月間」という言葉は知っている（聞いたことはある）」は10.0%、「知らない」は88.6%であった。また、《認知群（「県民スポーツ月間」という言葉、時期、内容について、よく知っている」+「県民スポーツ月間」という言葉は知っている（聞いたことはある）」）》は、全体の11.4%であった。

(6) 運動・スポーツ行事・教室について《P. 84》

全員に、この1年間の県や市町村が主催するスポーツ行事への参加状況をたずねたところ、《参加・見学群（「参加した」+「見に行った」）》は、2.0%であった。

全員に、この1年間の県や市町村が主催するスポーツ教室への参加状況をたずねたところ、「参加した」は1.5%、「参加しなかった」が98.5%であった。

全員に、今後の県や市町村が主催するスポーツ行事やスポーツ教室への参加意向をたずねたところ、《参加したい群（「ぜひ参加したい」+「できれば参加したい」）》が12.9%、《参加したくない群（「あまり参加したくない」+「参加するつもりはない」）》が87.1%であった。

(7) 神奈川県スポーツ推進にかかる取組について《P. 90》

全員に、「神奈川県スポーツ推進条例」について知っているかたずねたところ、《知っている群（「内容を詳しく知っている」+「知っている（聞いたことはある）」）》が8.6%、「知らない」が91.4%であった。

全員に、「神奈川県スポーツ推進計画」について知っているかたずねたところ、《知っている群（「内容を詳しく知っている」+「知っている（聞いたことはある）」）》が7.4%、「知らない」が92.6%であった。

全員に、「かながわパラスポーツ」について知っているかたずねたところ、《知っている群（「内容を詳しく知っている」+「知っている（聞いたことはある）」）》が10.5%、「知らない」が89.5%であった。

5 スポーツ全般についての意見

(1) 運動・スポーツ関連情報ニーズ《P. 96》

全員に、運動やスポーツに関する欲しい情報についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「健康・体力づくり情報」（22.9%）が最も高く、次いで「スポーツ施設の案内」（19.2%）、「スポーツ行事やスポーツイベントの情報」（13.3%）となった。なお、「特になし」は46.9%であった。

(2) 運動やスポーツのクラブ・同好会・サークルなどについて《P. 98》

全員に、クラブなどへの加入状況をたずねたところ、「加入している」が7.5%、「加入していない」が92.5%であった。

運動やスポーツのクラブなどへ加入していると答えた人（225人）に、加入しているクラブなどの種類についてたずねた（複数回答可）ところ、「仲間や友達と活動するクラブ・同好会（学校OBやOGなども含む）」（33.3%）が最も高く、次いで「市町村内の人を対象とした地域クラブ・同好会」（29.3%）、「民間スポーツ施設の会員制のクラブ」（21.3%）となった。

運動やスポーツのクラブなどへ加入していると答えた人（225人）に、クラブなどが行っているスポーツ（種目）についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「テニス」（22件）が最も多く、次いで「サッカー」（14件）、「ゴルフ」、「バドミントン」、「野球」（いずれも11件）となった。

運動やスポーツのクラブなどへ加入していると答えた人（225人）に、そのクラブなどに加入した動機や目的についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「健康・体力つくりのため」（56.4%）が最も高く、次いで「継続してできるから」（44.9%）、「親睦のため（仲間との交流）」（37.3%）となった。

運動やスポーツのクラブなどへ加入していないと答えた人（2,775人）に、好きな運動やスポーツのクラブなどへの加入意向をたずねたところ、《加入したい群（「ぜひ加入したい」+「できれば加入したい」）》が19.2%、《加入したくない群（「あまり加入したくない」+「加入するつもりはない」）》が80.9%であった。

前述で、好きなクラブなどがあれば「ぜひ加入したい」または「できれば加入したい」と答えた人（532人）に、加入したいクラブなどについてたずねた（3つまで回答可）ところ、「市町村内の人を対象とした地域クラブ・同好会」（56.8%）が最も高く、次いで「仲間や友達と活動するクラブ（学校OBやOGなども含む）」（31.8%）、「総合型地域スポーツクラブ」（29.9%）となった。

（3）スポーツ観戦について《P.110》

全員に、スポーツ観戦への関心についてたずねたところ、「ある」が54.4%、「ない」は45.6%であった。

スポーツ観戦について関心が「ある」と答えた人（1,631人）に、この1年間で直接会場へ行ってスポーツ観戦をしたかどうかたずねたところ、「した」が38.1%、「していない」が61.9%であった。

スポーツ観戦について関心が「ある」と答えた人（1,631人）に、会場で直接観戦をしたいスポーツの規模についてたずねた（2つまで回答可）ところ、「国内のプロスポーツ」（66.6%）が最も高く、次いで「オリンピックやパラリンピックなど国際大会」（36.9%）となった。

全員に、会場で直接観戦をしたいスポーツの競技についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「野球、ソフトボール」（34.1%）が最も高く、次いで「サッカー、フットサル」（23.4%）、「バレーボール」（12.0%）となった。

全員に、この1年間でテレビやインターネットなどでスポーツ観戦をしたかどうかたずねたところ、「した」が65.6%、「していない」が34.4%であった。

全員に、テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの規模についてたずねた（2つまで回答可）ところ、「オリンピックやパラリンピックなど国際大会」（53.0%）が最も高く、次いで「国内のプロスポーツ」（48.3%）となった。

全員に、テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの競技についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「野球、ソフトボール」（38.7%）が最も高く、次いで「サッカー、フットサル」（28.9%）、「陸上競技」（15.7%）となった。

（４）スポーツに関するボランティア活動について《P. 124》

全員に、スポーツに関するボランティア活動についての関心をたずねたところ、「関心がある」は18.6%、「関心がない」は81.4%であった。

全員に、この1年間のスポーツに関するボランティア活動についての経験をたずねたところ、「行った」は2.9%で、「行わなかった」は97.1%であった。

この1年間でスポーツに関するボランティア活動を「行った」と答えた人（88人）に、この1年間に行ったスポーツに関するボランティア活動の内容についてたずねた（複数回答可）ところ、「スポーツ大会やスポーツイベントなどでのボランティア活動」（38.6%）が最も高く、次いで「スポーツの指導」、「競技団体、自治会、クラブの役員などスポーツ活動の運営」（いずれも36.4%）となった。

全員に、今後のスポーツに関するボランティア活動への参加意向をたずねたところ、《行いたい群（「ぜひ行いたい」+「できれば行いたい」）》が17.7%、《行いたくない群（「あまり行いたくない」+「行ってもいい」）》は60.7%であった。

（５）地域のスポーツ振興について《P. 132》

全員に、地域のスポーツ振興に期待する効果をたずねた（3つまで回答可）ところ、「地域のコミュニティの形成」（27.5%）が最も高く、次いで「生きがいくくり」（18.7%）、「世代間交流の促進」（13.8%）、「親子や家族の交流」（13.7%）となった。

全員に、スポーツ振興を図るために、県が今後どのような取組をすべきかたずねた（3つまで回答可）ところ、「気軽にスポーツができる公園整備」（17.5%）が最も高く、次いで「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」（13.4%）、「各種スポーツ施設の整備」、「中高齢者の健康増進のための取組」（いずれも13.3%）となった。

6 運動・スポーツがもたらす価値

運動・スポーツの価値《P. 136》

全員に、運動・スポーツがもたらす価値についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「健康・体力の保持増進」（62.7%）が最も高く、次いで「精神的な充足感」（29.9%）、「リラックス、癒し、爽快感」（18.2%）となった。

Ⅲ 調査結果の詳細

本章はアンケート調査票のうち、「問2(1)」から「問17」についての結果を図表化のうえ、特徴点を記述したものである。

- 1 クロス集計結果のうち、(1) 地区別、(2) 性別、(3) 年代別、について(一部「性・年代別」を含む)、有意差検定(5%水準)[※]を行った。
- 2 クロス集計結果のうち、(1) 地区別、(2) 性別、(3) 年代別、について(一部「性・年代別」を含む)、図表化を行った。
- 3 それらのうち、有意差があるものから、特徴的な部分について記述した。ただし、回答者が少なく、地域別、性別、年代別でみた際に50サンプル未満となる区分が多い場合は、記述を省略することとした。
- 4 集計(図表の数値)は、小数点第2位を四捨五入しており、単数回答結果の数値の合計が100.0%にならない場合がある。
また上記と同様に、四捨五入により単数回答結果の数値を複数合計した値が、図表のものと同値にならない場合がある。
- 5 図表の「全体(3,000)」などは、該当する回答者数を表す。同様に小数点付き数値は、該当選択肢への回答率を表す。

※ 有意差検定とは、アンケート集計の結果から得られた2つの数値の差(例えば世代差)が偶然に生じたものかどうかを検証するための統計学的検定。

1 健康・体力観

(1) 自身の健康観

問2 (1) ご自身の健康についてどう思いますか。 1つだけ選んでください。

- ア 大いに健康である
- イ まあ健康である
- ウ 健康でない
- エ わからない

《全体集計結果》

全員に、自身の健康をたずねたところ、「まあ健康である」(69.3%)が最も高く、次いで「健康でない」(15.9%)、「大いに健康である」(11.1%)となった。また、《健康である群(「大いに健康である」+「まあ健康である」)》は、全体の80.5%であった。

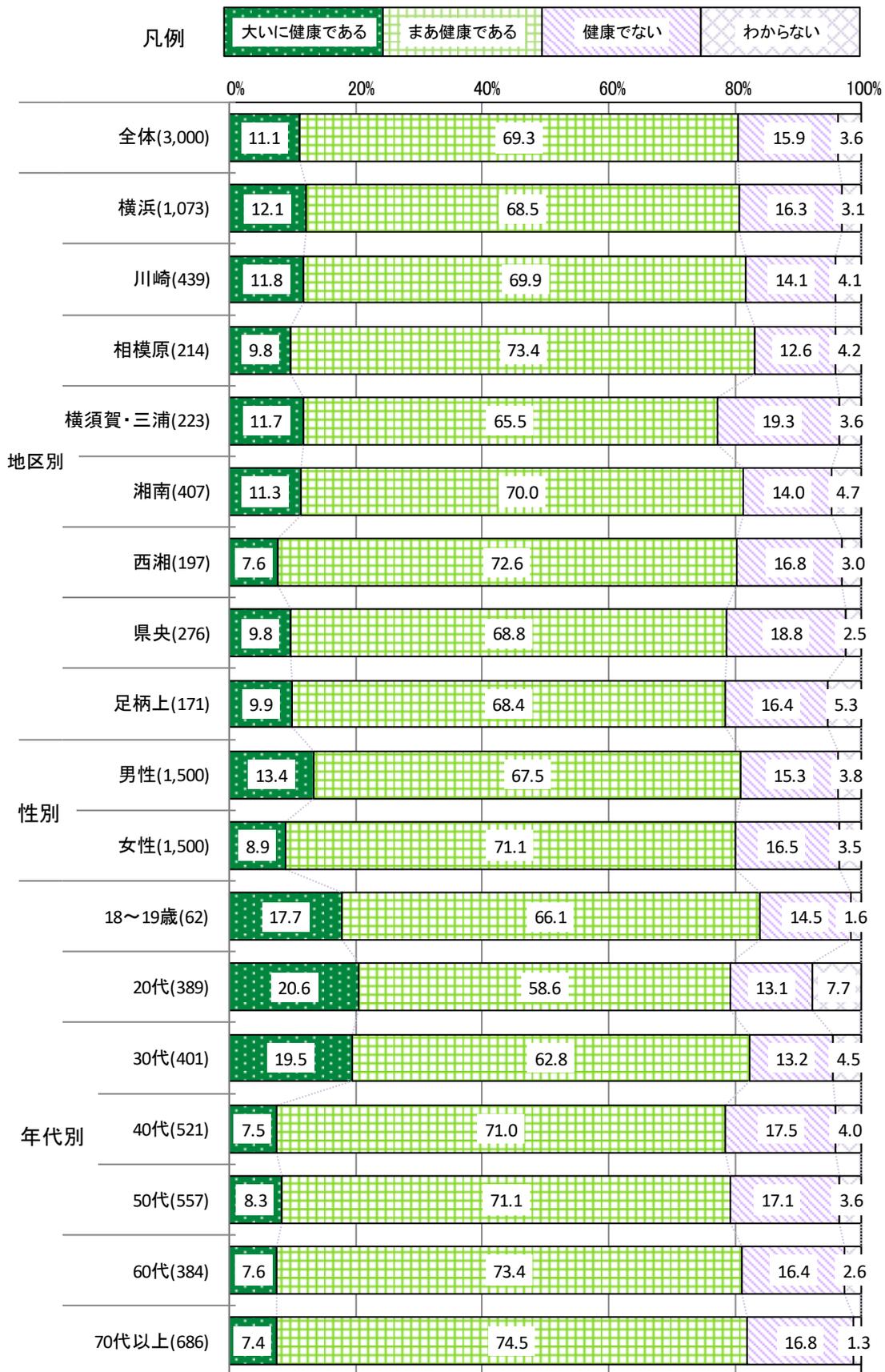
《属性別集計結果》

地区別でみると、統計的に有意な差はなかった。

性別でみると、「大いに健康である」は、男性(13.4%)が女性(8.9%)に比べて高かった。

年代別でみると、「大いに健康である」は、20代(20.6%)、30代(19.5%)、18~19歳(17.7%)が70代以上(7.4%)、40代(7.5%)、60代(7.6%)、50代(8.3%)に比べて高かった。

【図表 1 - 1 : 自身の健康観／単一回答】



(2) 自身の体力観

問2 (2) ご自身の体力についてどう思いますか。 1つだけ選んでください。

- ア 自信がある
- イ 普通である
- ウ 自信がない
- エ わからない

《全体集計結果》

全員に、自身の体力についてたずねたところ、「普通である」(53.6%)が最も高く、次いで「自信がない」(36.5%)、「自信がある」(7.5%)となった。

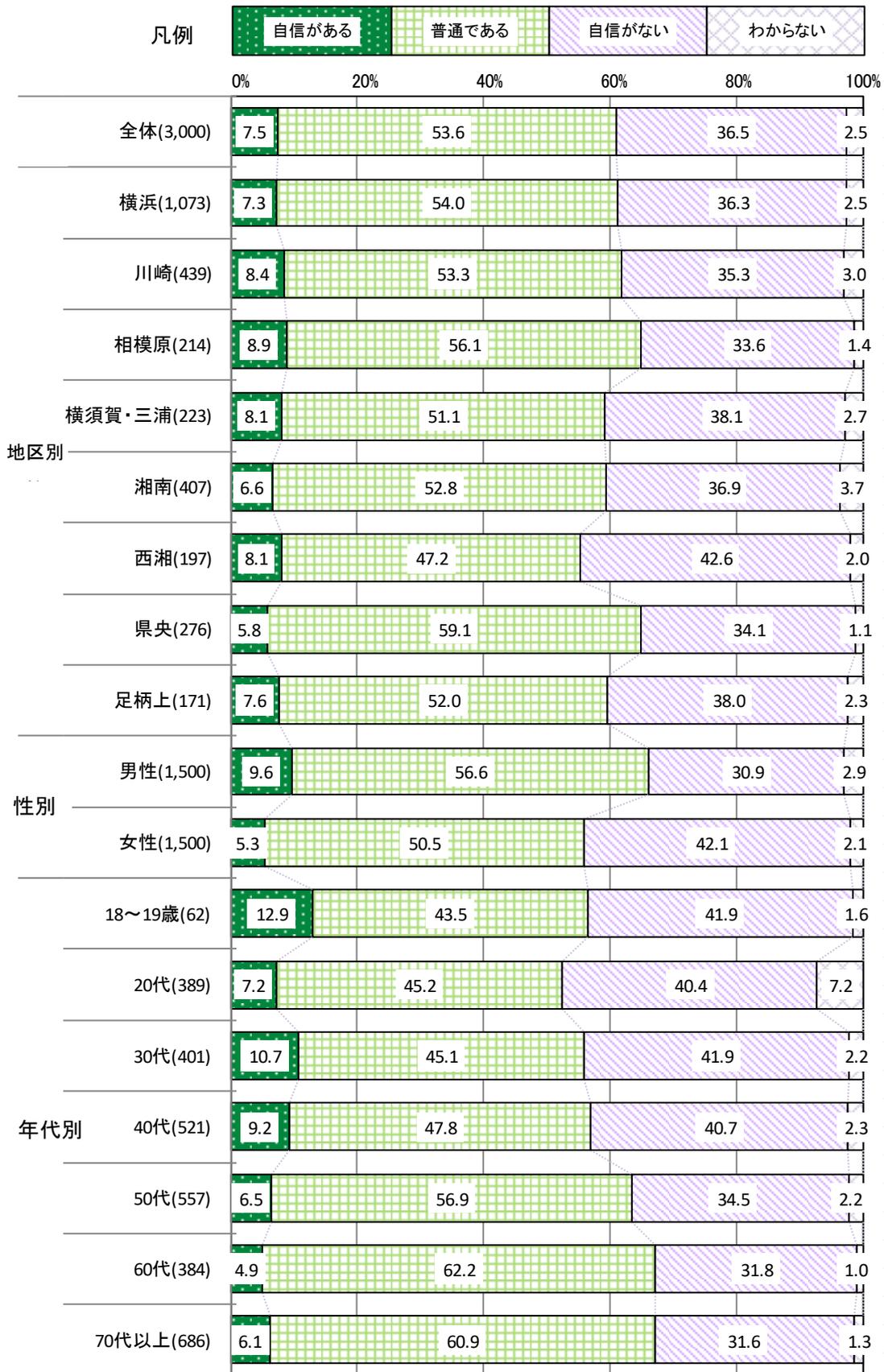
《属性別集計結果》

地区別でみると、「普通である」は、県央地区(59.1%)が西湘地区(47.2%)に比べて高かった。

性別でみると、「自信がある」は、男性(9.6%)が女性(5.3%)に比べて高く、「自信がない」は、女性(42.1%)が男性(30.9%)に比べて高かった。

年代別でみると、「自信がある」は、18～19歳(12.9%)が60代(4.9%)、70代以上(6.1%)に比べて高かった。

【図表 1 - 2 : 自身の体力観／単一回答】



(3) 肉体的な疲労

問2 (3) 日頃、肉体的な疲労を感じますか。 1つだけ選んでください。

- ア 大いに感じる
- イ 少し感じる
- ウ 感じない
- エ わからない

《全体集計結果》

全員に、日頃の肉体的な疲労についてたずねたところ、「少し感じる」(62.5%)が最も高く、次いで「大いに感じる」(17.9%)、「感じない」(17.0%)となった。また、《肉体的な疲労を感じる群(「大いに感じる」+「少し感じる」)》は、全体の80.4%であった。

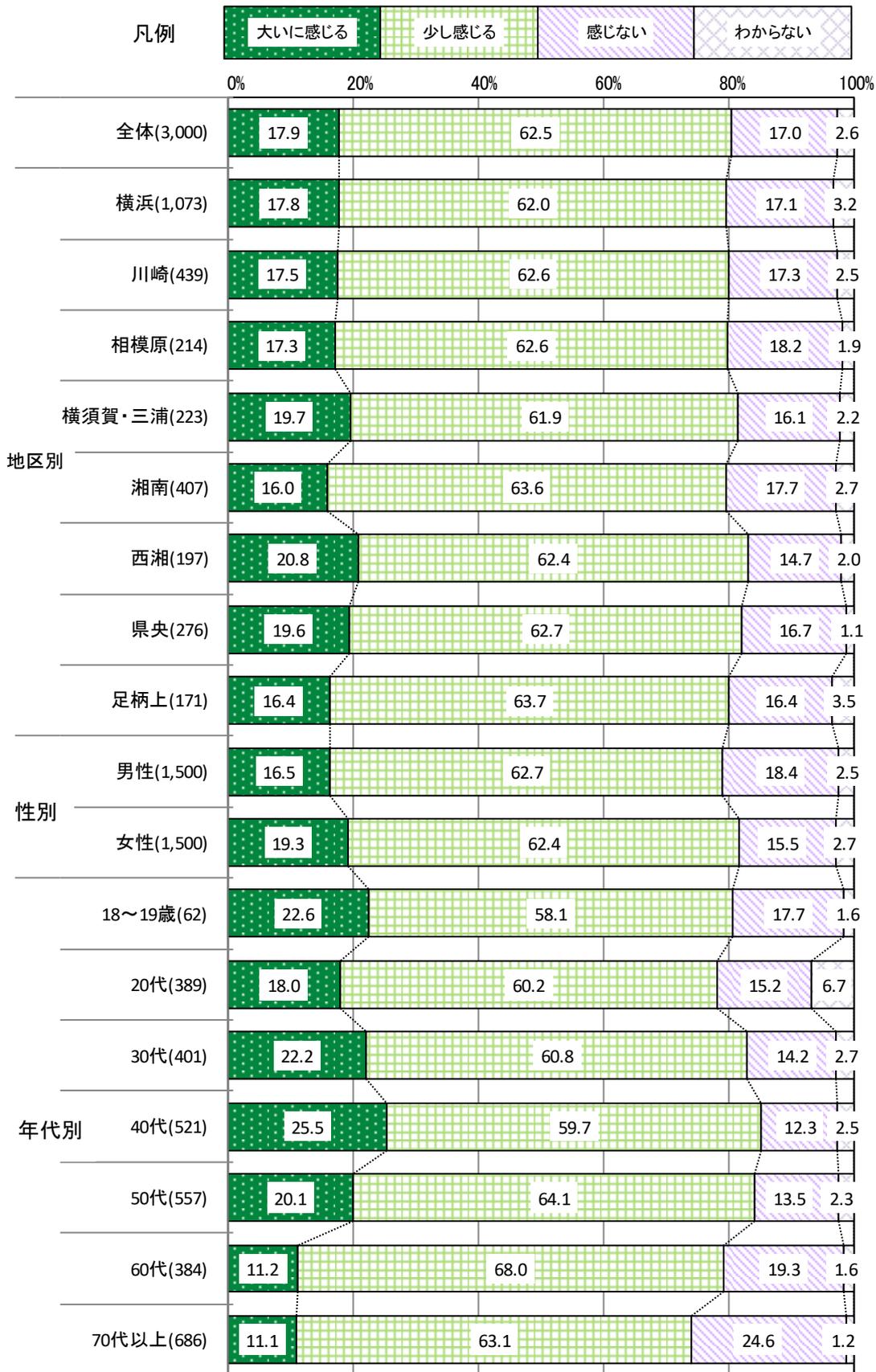
《属性別集計結果》

地区別でみると、統計的に有意な差はなかった。

性別でみると、「感じない」は、男性(18.4%)が女性(15.5%)に比べて高かった。

年代別でみると、「大いに感じる」は、40代(25.5%)が70代以上(11.1%)、60代(11.2%)、20代(18.0%)、50代(20.1%)に比べて高かった。

【図表 1 - 3 : 肉体的な疲労／単一回答】



(4) 精神的な疲労・ストレス

問2 (4) 日頃、精神的な疲労、ストレスを感じますか。1つだけ選んでください。

- ア 大いに感じる
- イ 少し感じる
- ウ 感じない
- エ わからない

《全体集計結果》

全員に、日頃の精神的な疲労・ストレスについてたずねたところ、「少し感じる」(50.8%)が最も高く、次いで「感じない」(23.6%)、「大いに感じる」(23.1%)となった。また、《精神的な疲労を感じる群(「大いに感じる」+「少し感じる」)》は、全体の73.9%であった。

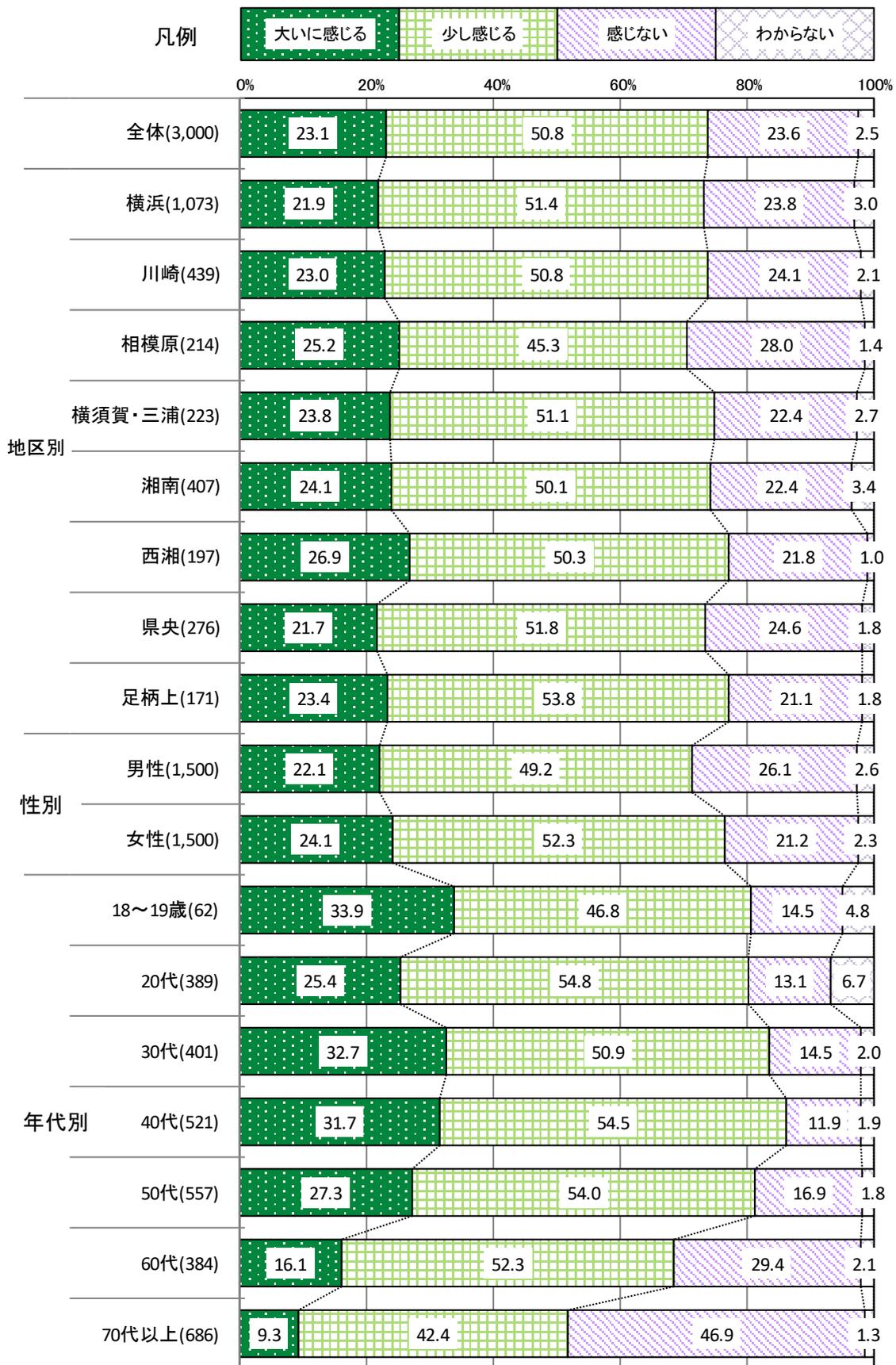
《属性別集計結果》

地区別でみると、統計的に有意な差はなかった。

性別でみると、《精神的な疲労を感じる群》は、女性(76.4%)が男性(71.3%)に比べて高かった。

年代別でみると、「大いに感じる」は、18～19歳(33.9%)が70代以上(9.3%)、60代(16.1%)に比べて高かった。反対に「感じない」は、70代以上(46.9%)が最も高かった。

【図表 1-4 : 精神的な疲労・ストレス／単一回答】



(5) 体力の衰え

問2 (5) 日頃、体力の衰えを感じますか。1つだけ選んでください。

- ア 大いに感じる
- イ 少し感じる
- ウ 感じない
- エ わからない

《全体集計結果》

全員に、日頃の体力の衰えについてたずねたところ、「少し感じる」(56.7%)が最も高く、次いで「大いに感じる」(30.4%)、「感じない」(10.2%)となった。また、《体力の衰えを感じる群(「大いに感じる」+「少し感じる」)》は、全体の87.1%であった。

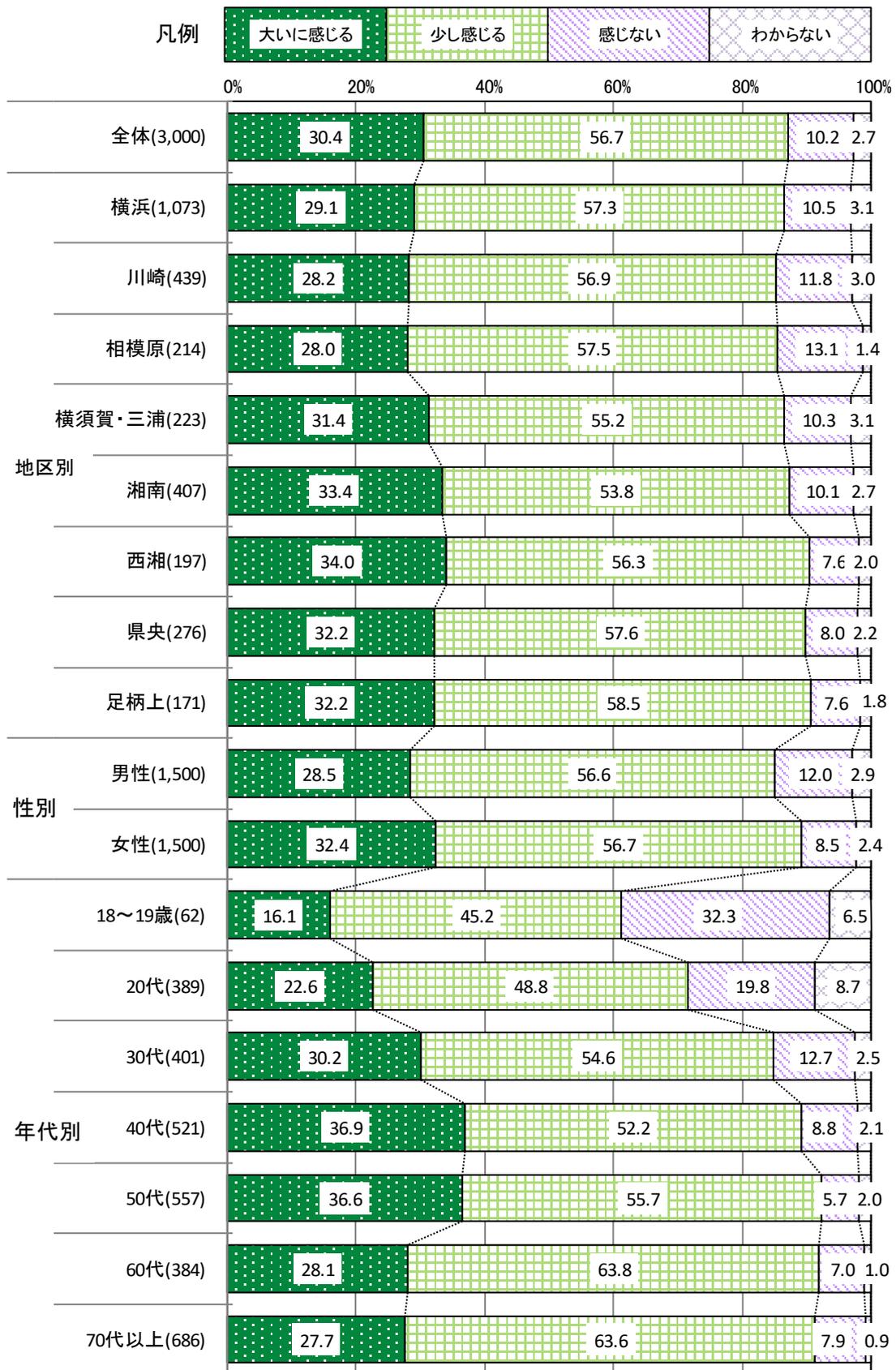
《属性別集計結果》

地区別でみると、統計的に有意な差はなかった。

性別でみると、《体力の衰えを感じる群》は、女性(89.1%)が男性(85.1%)に比べて高かった。

年代別でみると、「大いに感じる」は、40代(36.9%)、50代(36.6%)が他の年代に比べて高かった。反対に「感じない」は、18~19歳(32.3%)が最も高かった。

【図表 1 - 5 : 体力の衰え／単一回答】



(6) 運動不足

問2 (6) 日頃、運動不足を感じますか。1つだけ選んでください。

- ア 大いに感じる
- イ 少し感じる
- ウ 感じない
- エ わからない

《全体集計結果》

全員に、日頃、運動不足を感じるかについてたずねたところ、「少し感じる」(42.6%)が最も高く、次いで「大いに感じる」(36.2%)、「感じない」(18.5%)となった。また、《運動不足を感じる群(「大いに感じる」+「少し感じる」)》は、全体の78.8%であった。

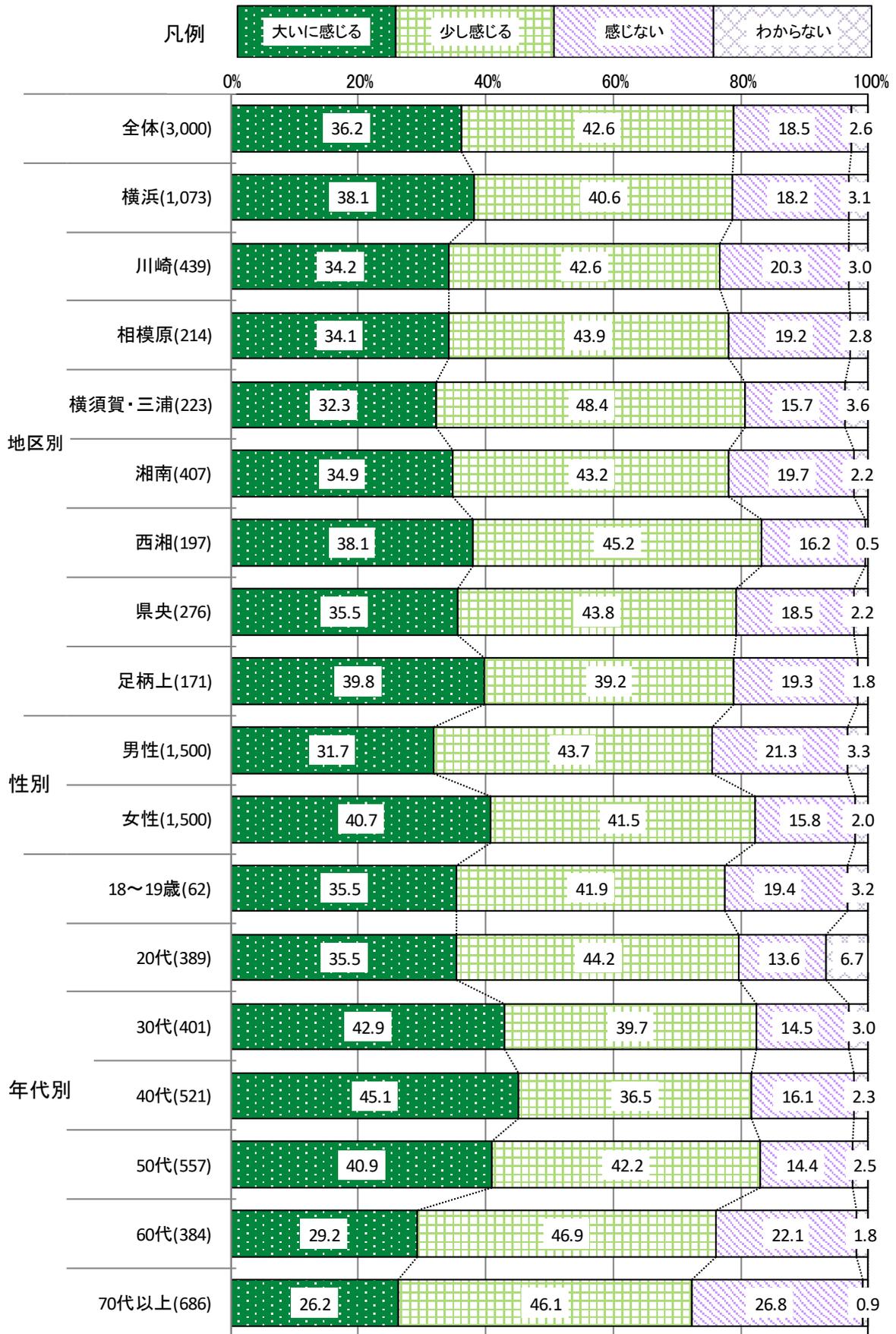
《属性別集計結果》

地区別でみると、《運動不足を感じる群》には、統計的に有意な差はなかった。

性別でみると、「大いに感じる」は、女性(40.7%)が男性(31.7%)に比べて高かった。

年代別でみると、「大いに感じる」は、40代(45.1%)、30代(42.9%)が70代以上(26.2%)、60代(29.2%)、20代(35.5%)に比べて高かった。

【図表 1 - 6 : 運動不足／単一回答】



(7) 自身の肥満度

問2 (7) ご自身は肥満であると思いますか。1つだけ選んでください。

- ア 非常に思う
- イ 思う
- ウ 思わない
- エ わからない

《全体集計結果》

全員に、自身が肥満であると思うかたずねたところ、「思わない」(60.5%)が最も高く、次いで「思う」(25.2%)、「非常に思う」(9.7%)となった。また、《肥満であると思う群(「非常に思う」+「思う」)》は、全体の34.9%であった。

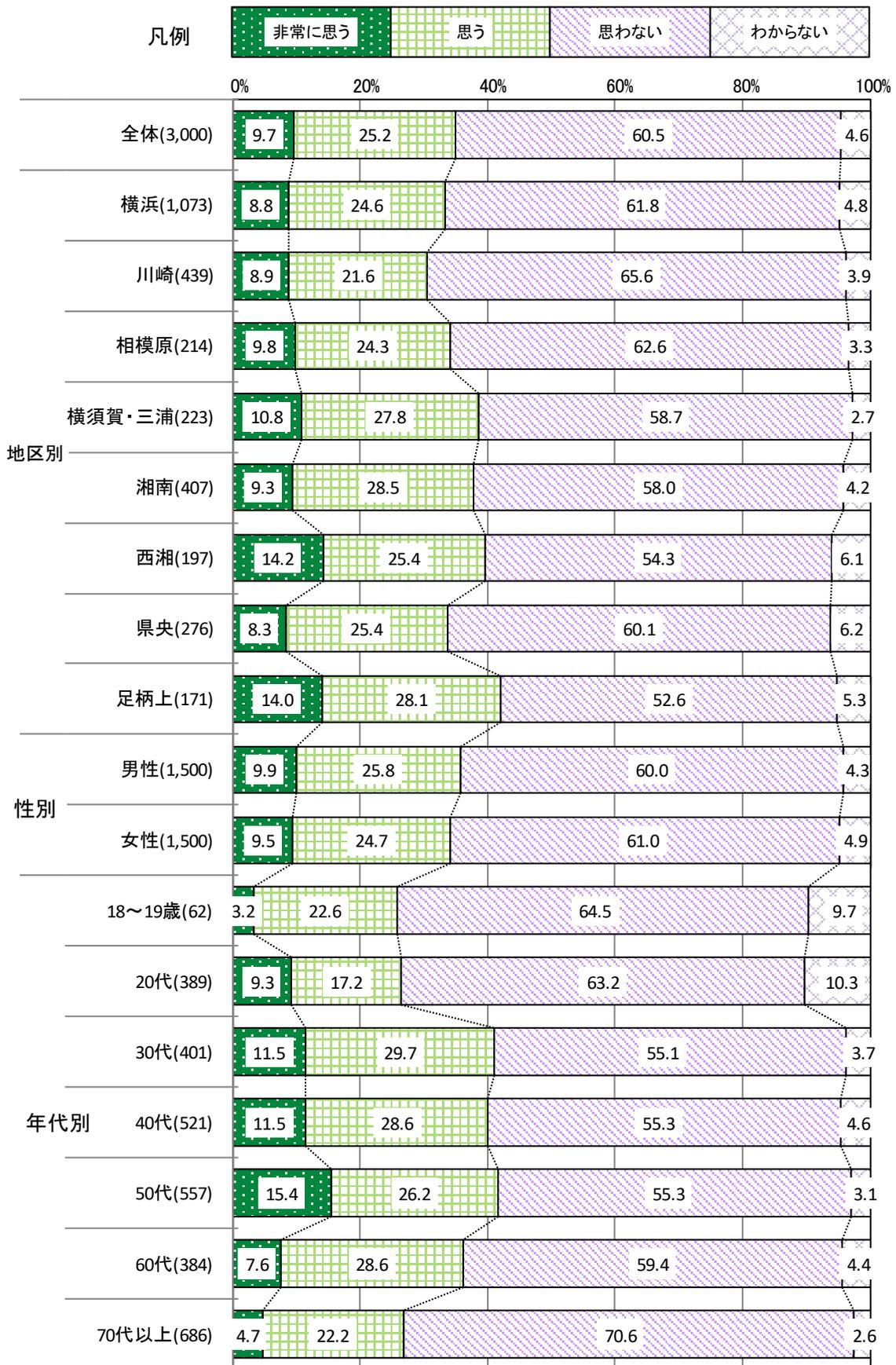
《属性別集計結果》

地区別でみると、「非常に思う」は西湘地区(14.2%)が県央地区(8.3%)、横浜地区(8.8%)、川崎地区(8.9%)に比べて高かった。なお「思わない」は、川崎地区(65.6%)が足柄上地区(52.6%)、西湘地区(54.3%)、湘南地区(58.0%)に比べて高かった。

性別でみると、統計的に有意な差はなかった。

年代別でみると、「思わない」は、70代以上(70.6%)が20代から60代に比べて高かった。

【図表 1-7 : 自身の肥満度/単一回答】



(8) 健康や体力の維持増進への注意

問2 (8) 日頃、健康や体力の維持増進に注意していますか。1つだけ選んでください。

- ア 注意している
イ 少し(時々)注意している
ウ 注意していない → 問3(1)へ進む

《全体集計結果》

全員に、日頃の健康や体力の維持増進への注意の意識をたずねたところ、「少し(時々)注意している」(57.2%)が最も高く、次いで「注意している」(27.8%)、「注意していない」(15.1%)となった。また、《健康や体力の維持増進に注意している群(「注意している」+「少し(時々)注意している」)》は、全体の85.0%であった。

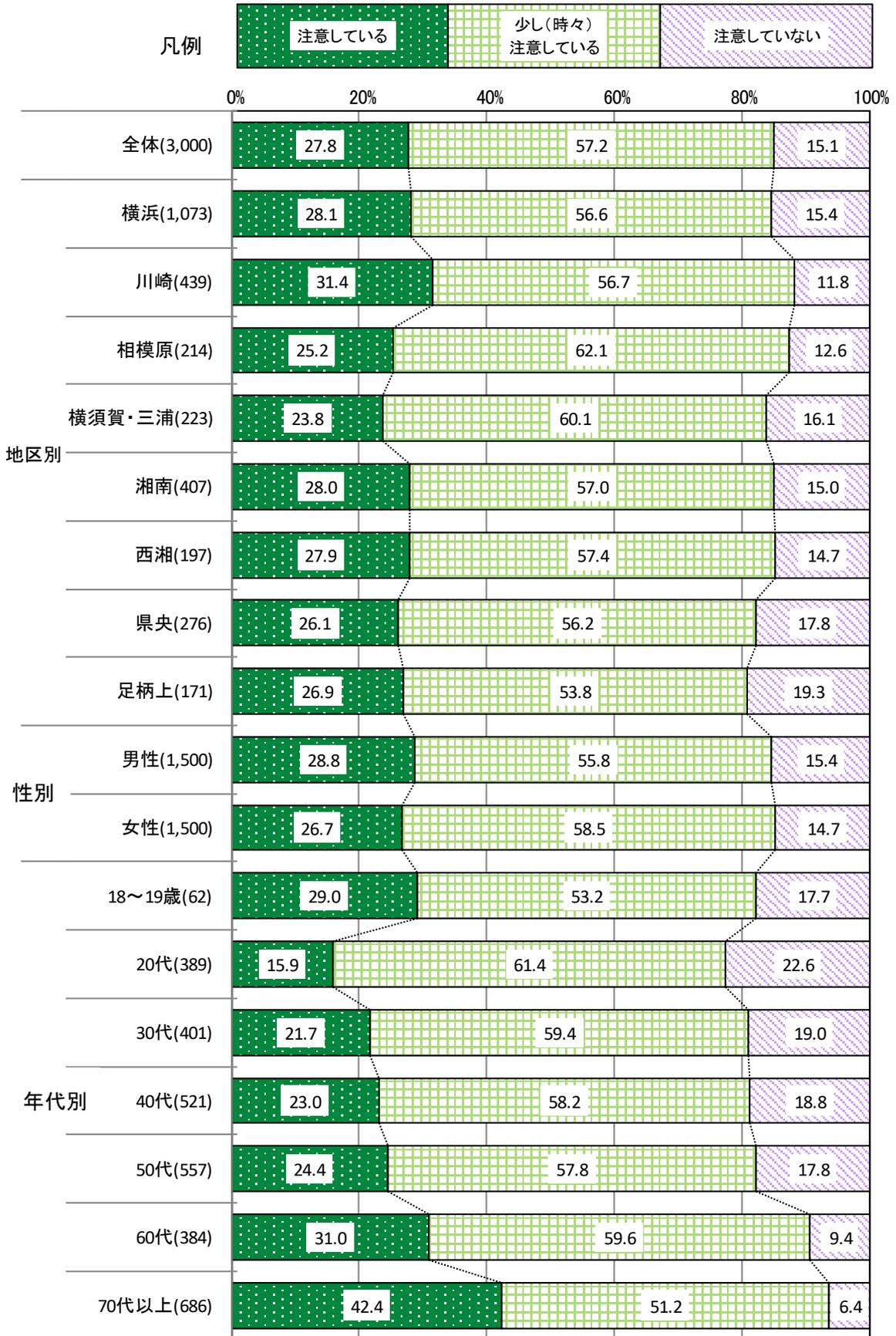
《属性別集計結果》

地区別でみると、「注意している」は、川崎地区(31.4%)が横須賀・三浦地区(23.8%)に比べて高かった。

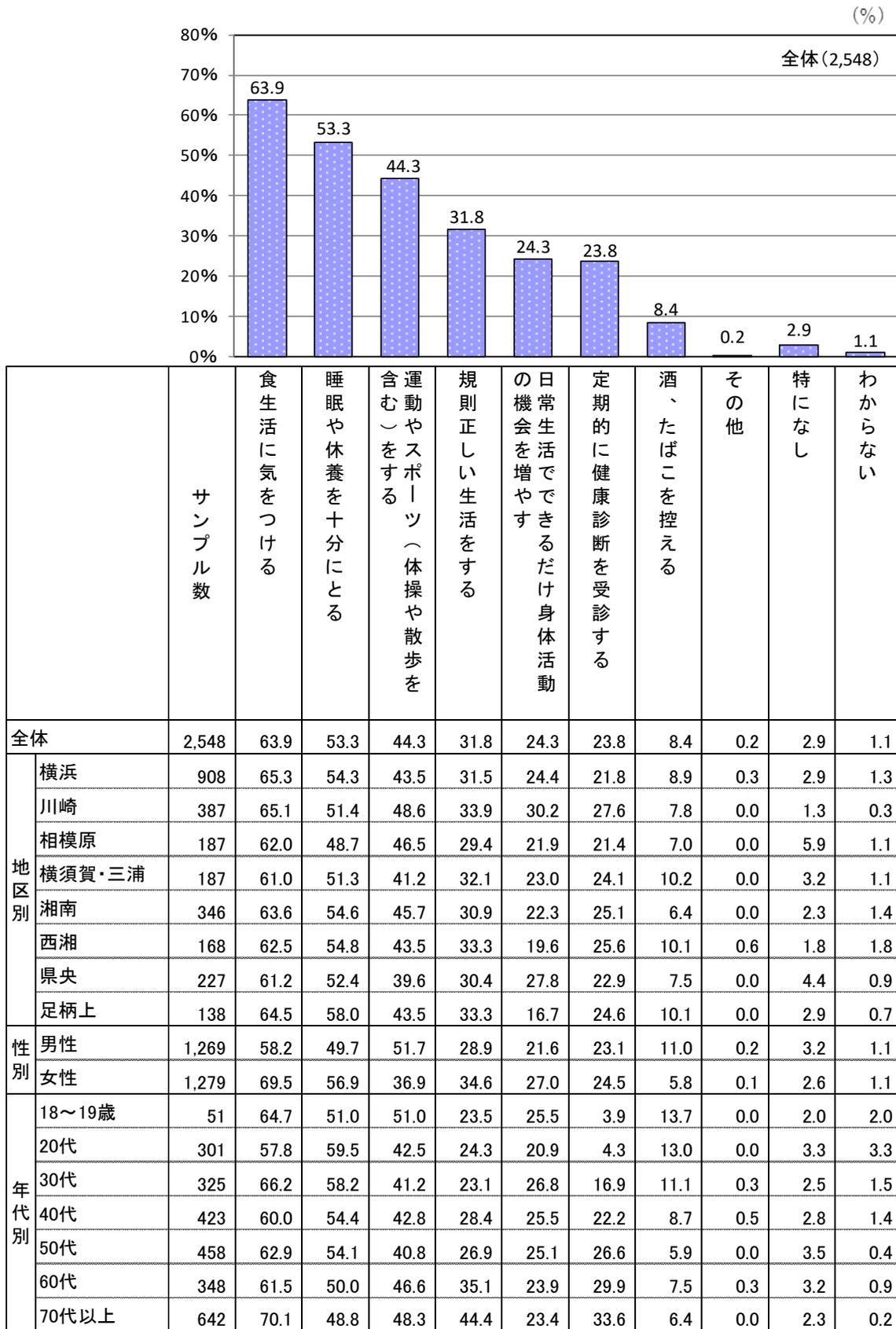
性別でみると、統計的に有意な差はなかった。

年代別でみると、「注意している」は、70代以上(42.4%)が最も高かった。また、《健康や体力の維持増進に注意している群》は、70代以上(93.6%)、60代(90.6%)が他の年代に比べて高かった。

【図表 1 - 8 : 健康や体力の維持増進への注意／単一回答】



【図表 1-9 : 健康・体力維持への留意点／複数回答（3つまで）】



なお、「その他」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

- ・ サプリメントを取る

2 運動・スポーツの実施状況及び今後の意向

(1) 1年間に行った運動・スポーツ種目

ア 気軽に楽しんでいるスポーツや比較的軽い運動として行っているスポーツ

この1年間で1日あたり30分※以上行った運動・スポーツは何ですか。

※ 1日30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません。

問3 (1) 気軽に楽しんでいるスポーツや比較的軽い運動として行っているスポーツはありますか。3つまで選んでください。(ア～コの選択数とサ～スの種目名の合計が3つまでになるようにしてください)

- ア 軽い球技 (キャッチボールなど)
- イ 体操 (縄跳びを含む)
- ウ 軽いエアロビックダンス、ヨガ
- エ ウォーキング (散歩などを含む)
- オ フォークダンス (社交ダンス、民踊、車いすダンスなどを含む)
- カ ボウリング
- キ ゲートボール、グラウンド・ゴルフ
- ク ジョギング
- ケ 軽い水泳 (水中ウォーキングなどを含む)
- コ 室内運動器具 (ダンベル、チューブなど) を使って行う軽い運動
- サ アーバンスポーツ※
(種目名)
- シ 障害者スポーツ (パラスポーツ)
(種目名)
- ス その他の運動やスポーツ
(種目名)
- セ 特になし

※ 「アーバンスポーツ」とは、スケートボード、スポーツクライミング、自転車BMX、3×3バスケットボール、プレイキンなど、広い場所を必要としないなど都市住民が参加しやすい都市型スポーツです。

《全体集計結果》

全員に、この1年間で1日あたり30分以上行った運動・スポーツのうち【気軽に楽しんでいるスポーツや比較的軽い運動として行っているスポーツ】についてたずねた(3つまで回答可)ところ、「ウォーキング(散歩などを含む)」(51.0%)が最も高く、次いで「ジョギング」、「室内運動器具(ダンベル、チューブなど)を使って行う軽い運動」(いずれも8.5%)となった。なお、「特になし」は33.3%であった。

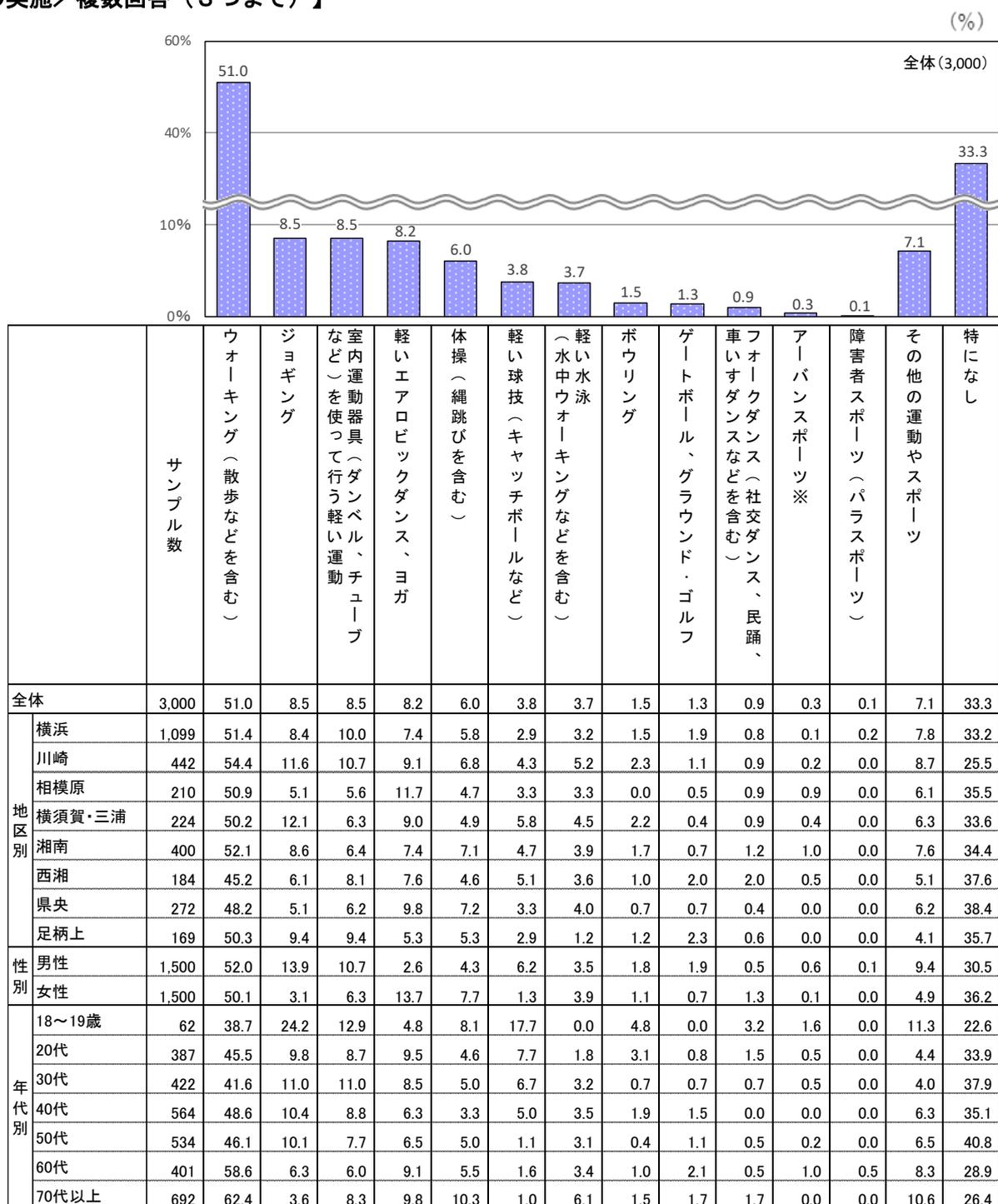
《属性別集計結果》

地区別でみると、「ウォーキング(散歩などを含む)」は、川崎地区(54.4%)が西湘地区(45.2%)に比べて高かった。

性別でみると、「ジョギング」は、男性(13.9%)が女性(3.1%)に比べて高く、「軽いエアロビックダンス、ヨガ」は、女性(13.7%)が男性(2.6%)に比べて高かった。

年代別でみると、「ウォーキング(散歩などを含む)」は、70代以上(62.4%)、60代(58.6%)が他の年代に比べて高かった。また、「ジョギング」は18歳～19歳(24.2%)が最も高かった。

【図表2-1：《気軽に楽しんでいるスポーツや比較的軽い運動として行っているスポーツ》の実施/複数回答（3つまで）】



なお、「その他の運動やスポーツ（種目名）」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

- ・ テニス
- ・ ゴルフ
- ・ サイクリング
- ・ バドミントン

イ 野外活動として行っているスポーツ

この1年間で1日あたり30分*以上行った運動・スポーツは何ですか。

※ 1日あたり30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません。

問3 (2) 野外活動として行っているスポーツはありますか。3つまで選んでください。
(ア～コの選択数とサ、シの種目名の合計が3つまでになるようにしてください)

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| ア スキー、スノーボード | ク ハンググライダーなどのスカイスポーツ |
| イ 海水浴(遊泳) | ケ サイクリング |
| ウ スケート | コ 釣り |
| エ 登山、ハイキング | サ 障害者スポーツ(パラスポーツ)
(種目名) |
| オ キャンプ | シ その他の野外活動
(種目名) |
| カ ヨット、サーフィンなどの
マリンスポーツ | ス 特になし |
| キ ゴルフ | |

《全体集計結果》

全員に、この1年間で1日あたり30分以上行った運動・スポーツのうち【野外活動として行っているスポーツ】についてたずねた(3つまで回答可)ところ、「登山、ハイキング」

(9.2%)が最も高く、次いで「ゴルフ」(6.4%)、「サイクリング」(6.0%)となった。なお、「特になし」は72.1%であった。

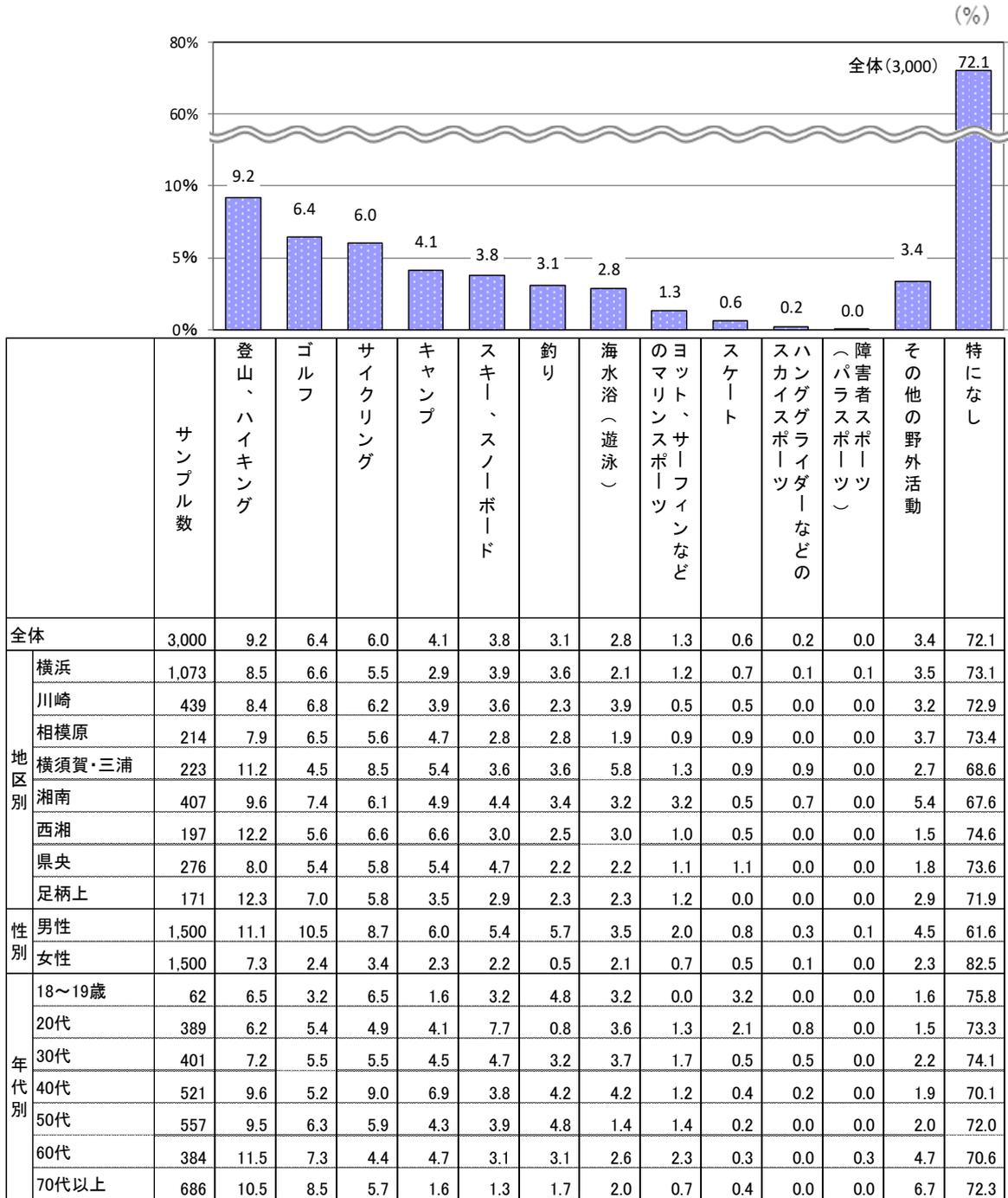
《属性別集計結果》

地区別でみると、「キャンプ」は、西湘地区(6.6%)、県央地区(5.4%)が横浜地区(2.9%)に比べて高かった。また、「特になし」は、横浜地区(73.1%)が湘南地区(67.6%)に比べて高かった。

性別でみると、「ゴルフ」は、男性(10.5%)が女性(2.4%)に比べて高かった。また、「特になし」は、女性(82.5%)が男性(61.6%)に比べて高かった。

年代別でみると、「登山、ハイキング」は、60代(11.5%)が20代(6.2%)、30代(7.2%)に比べて高かった。

【図表2-2：《野外活動として行っているスポーツ》の実施／複数回答（3つまで）】



なお、「その他の野外活動(種目名)」への回答は、次のとおりであった。(代表的回答例)

- ・ テニス
- ・ ウォーキング
- ・ ソフトボール
- ・ ジョギング

ウ 競技として行っているスポーツ

この1年間で1日あたり30分*以上行った運動・スポーツは何ですか。

※ 1日あたり30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません。

問3 (3) 競技として行っているスポーツはありますか。3つまで選んでください。
(ア～スの選択数とセ～チの種目名の合計が3つまでになるようにしてください)

- | | |
|-----------------|------------------------------|
| ア 陸上競技 | シ バasketボール |
| イ マラソン | ス ラグビー |
| ウ 水泳競技 | セ その他の球技スポーツ
(種目名) |
| エ 柔道、剣道、相撲、空手 | ソ アーバンスポーツ※
(種目名) |
| オ ボクシング、レスリング | タ 障害者スポーツ (パラスポーツ)
(種目名) |
| カ 弓道、アーチェリー | チ その他のスポーツ
(種目名) |
| キ セーリング | ツ 特になし |
| ク 野球、ソフトボール | |
| ケ サッカー、フットサル | |
| コ バレーボール | |
| サ テニス、卓球、バドミントン | |

※ 「アーバンスポーツ」とは、スケートボード、スポーツクライミング、自転車BMX、3×3バスケットボール、プレイキンなど、広い場所を必要としないなど都市住民が参加しやすい都市型スポーツです。

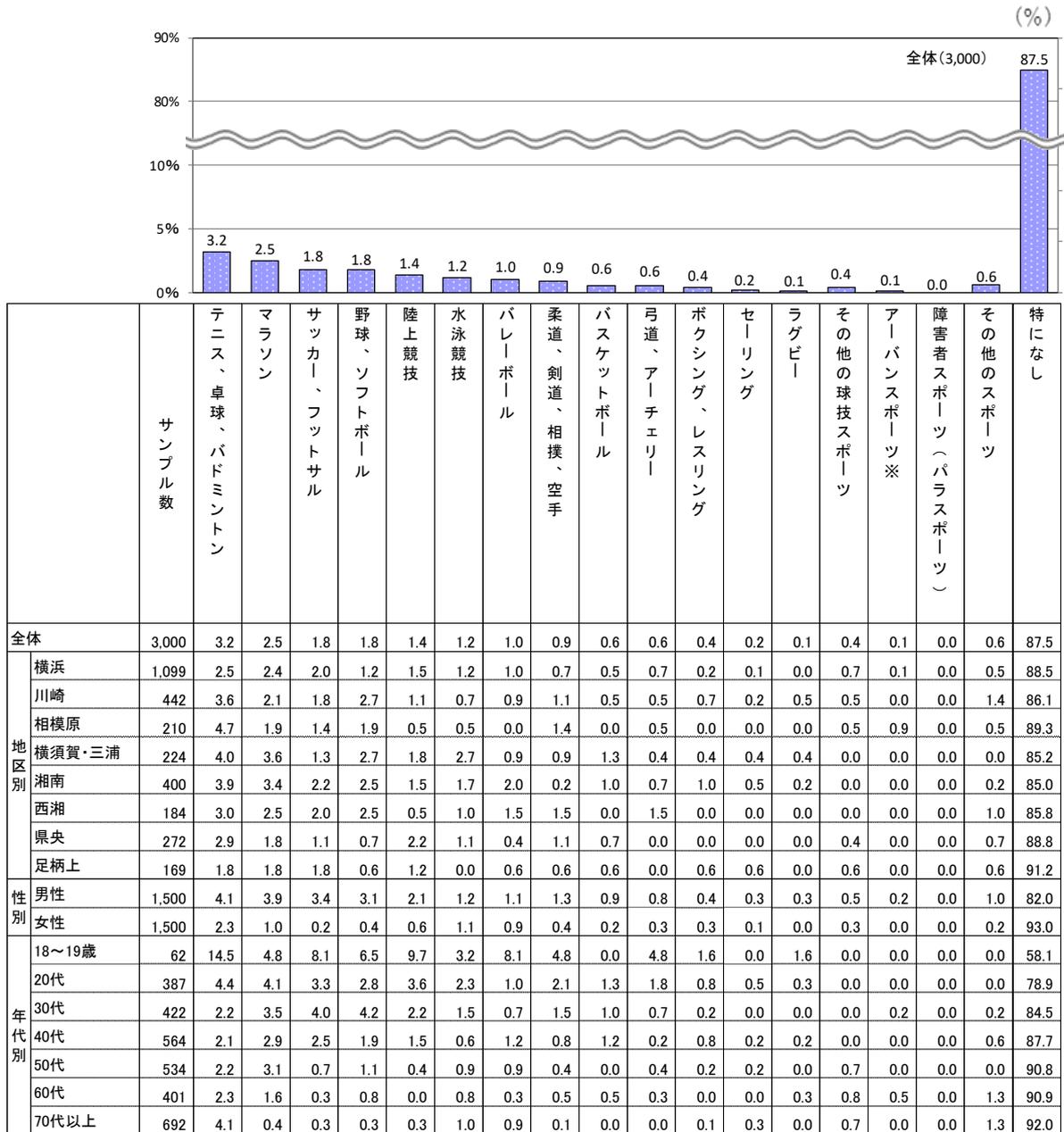
《全体集計結果》

全員に、この1年間で1日あたり30分以上行った運動・スポーツのうち【競技として行っているスポーツ】についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「テニス、卓球、バドミントン」（3.2%）が最も高く、次いで「マラソン」（2.5%）、「サッカー、フットサル」「野球・ソフトボール」（いずれも1.8%）となった。なお、「特になし」は87.5%であった。

《属性別集計結果》

「特になし」（87.5%）が80%を超えているため、属性別の結果は記載せず【図表2-3】の提示にとどめる。

【図表2-3：「競技として行っているスポーツ」の実施/複数回答（3つまで）】



なお、「その他のスポーツ（種目名）」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

- ・ ゴルフ
- ・ アイスホッケー
- ・ スケートボード
- ・ サーフィン

問3(1)(2)(3)で、いずれかの運動・スポーツを行った方 → 問3(4)(5)(6)へ
 問3(1)(2)(3)で、すべてに「特になし」と答えた方 → 問3(7)へ

(2) 1年間に行った運動・スポーツの日数

問3 (4) この1年間で1日30分*以上運動・スポーツをどの程度行いましたか。1つだけ選んでください。

※ 1日30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ア 週に3日以上 (151日以上) | エ 月に1～3日程度 (12日～50日) |
| イ 週に2日程度 (101日～150日) | オ 3ヶ月に1～2日程度 (4～11日) |
| ウ 週に1日程度 (51日～100日) | カ 年に1～3日程度 |

《全体集計結果》

[問3(1)(2)(3)]で、いずれかの運動・スポーツを行った人(2,083人)に、この1年間で30分以上運動・スポーツをどの程度行ったかたずねたところ、「週に3日以上(151日以上)」(28.8%)が最も高いものの、全体的に分散している傾向であった。なお、《週1日以上》運動・スポーツを行った人の割合は、67.1%であった。

《属性別集計結果》

地区別でみると、「週に2日程度(101日～150日)」は、足柄上地区(25.2%)が県央地区(14.8%)、横浜地区(17.4%)に比べて高かった。

性別でみると、統計的に有意な差はなかった。

年代別でみると、「週に3日以上(151日以上)」は、70代以上(40.6%)が他の年代を大きく上回った。

【図表 2-4 : 1年間にいった運動・スポーツの日数／単一回答】



【参考図表 1】

この1年間で1日あたり30分以上の運動・スポーツを行わなかった層を含めて、全体からみたスポーツ実施日数は次のとおりであった。

《全体集計結果》

この1年間で30分以上運動・スポーツをどの程度行ったかたずねたところ、「していない」(30.6%)が最も高く、次いで「週に3日以上(151日以上)」(20.0%)、「週に1日程度(51日～100日)」(13.8%)、「週に2日程度(101日～150日)」(12.8%)となった。

《週1日以上》運動・スポーツを行った人の割合は、46.6%であった。

《属性別集計結果》(地区別/性別/年代別)

地区別でみると、「週に2日程度(101日～150日)」は、足柄上地区(16.4%)が県央地区(9.8%)に比べて高かった。

性別でみると、「していない」は、女性(34.7%)が男性(26.5%)に比べて高かった。

年代別でみると、「週に3日以上(151日以上)」は、70代以上(30.5%)が最も高く、他の年代を大きく上回った。

【参考図表1：1年間に行った運動・スポーツの日数（「スポーツを行わなかった」層を含む）
／単一回答】（地区別／性別／年代別）



【参考図表 2】

この1年間で1日あたり30分以上の運動・スポーツを行わなかった層を含めて、性・年代別でみたスポーツ実施日数は次のとおりであった。

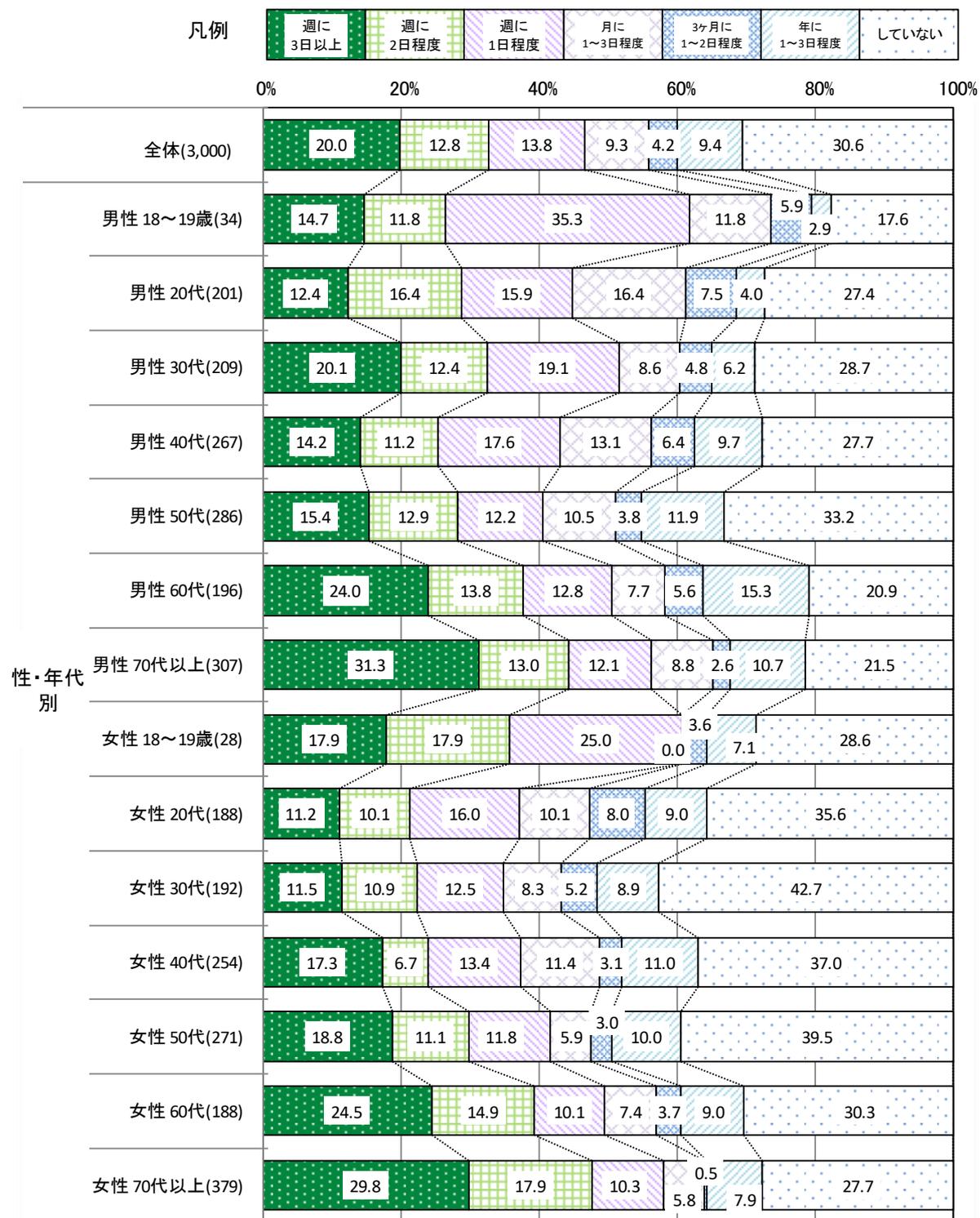
《属性別集計結果》（性・年代別）

性・年代別で見ると、「週に3日以上（151日以上）」は、男性70代以上（31.3%）、女性70代以上（29.8%）で、男女ともに70代以上が最も高かった。

《週1日以上》で見ると、男性18～19歳（61.8%）が最も高かった。

また、「していない」については、女性30代（42.7%）が最も高かった。

【参考図表2：1年間に行った運動・スポーツの日数（「スポーツを行わなかった」層を含む）
／単一回答】（性・年代別）



(3) 運動・スポーツを行った理由

問3 (5) この1年間で運動・スポーツを行った理由を選んでください。3つまで選んでください。

- | | |
|--------------------|----------------|
| ア 健康・体力づくりのため | カ 家族の触れ合いのため |
| イ 楽しみ、気晴らしのため | キ 友人、仲間との交流のため |
| ウ 運動不足の解消のため | ク 美容や肥満解消のため |
| エ 精神の修養や訓練のため | ケ その他 () |
| オ 自己の記録や能力を向上させるため | |

《全体集計結果》

[問3(1)(2)(3)]で、いずれかの運動・スポーツを行った人(2,083人)に、この1年間で運動・スポーツを行った理由をたずねた(3つまで回答可)ところ、「健康・体力づくりのため」(66.4%)が最も高く、次いで「運動不足の解消のため」(59.7%)、「楽しみ、気晴らしのため」(43.0%)となった。

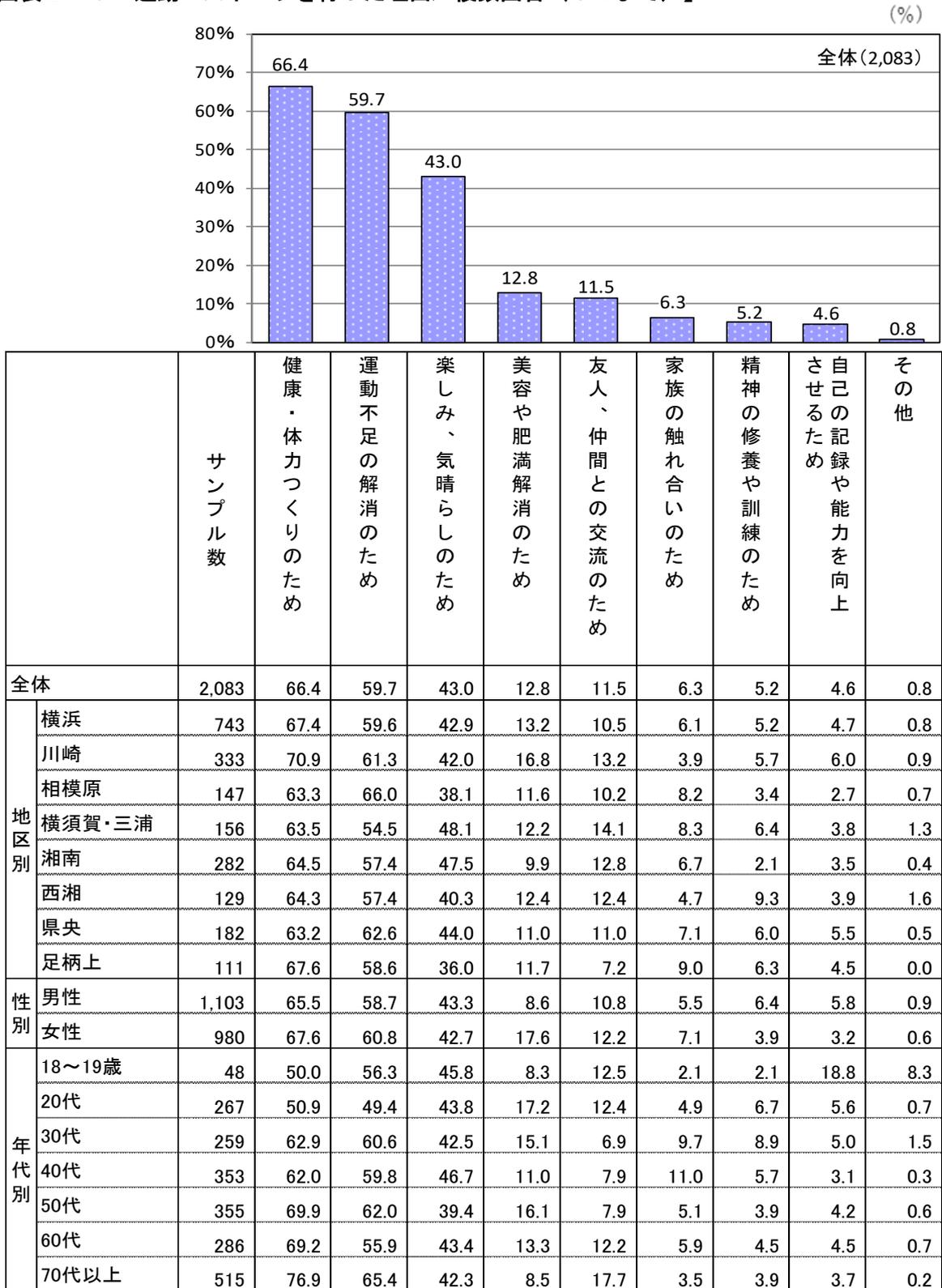
《属性別集計結果》

地区別でみると、「運動不足解消のため」は、相模原地区(66.0%)が横須賀・三浦地区(54.5%)に比べて高かった。また、「美容や肥満解消のため」は、川崎地区(16.8%)が湘南地区(9.9%)に比べて高かった。

性別でみると、「美容や肥満解消のため」は、女性(17.6%)が男性(8.6%)に比べて高かった。

年代別でみると、「健康・体力づくりのため」(76.9%)は、70代以上がそれぞれ他の年代に比べて高かった。また、「運動不足の解消のため」は、70代以上(65.4%)が20代(49.4%)、60代(55.9%)に比べて高かった。

【図表 2-5 : 運動・スポーツを行った理由／複数回答（3つまで）】



なお、「その他」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

- ・ 仕事
- ・ 授業
- ・ 部活動で
- ・ 農業のため

(4) 運動・スポーツを行った効果

問3 (6) 運動・スポーツを行ってどんな効果がありましたか。3つまで選んでください。

- | | |
|---------------|-------------|
| ア 健康・体力づくり | カ 家族の触れ合い |
| イ 楽しみ、気晴らし | キ 友人、仲間との交流 |
| ウ 運動不足の解消 | ク 美容や肥満解消 |
| エ 精神の修養や訓練 | ケ その他 () |
| オ 自己の記録や能力の向上 | コ 特に効果はなかった |

《全体集計結果》

[問3(1)(2)(3)]で、いずれかの運動・スポーツを行った人(2,083人)に、この1年間で行った運動やスポーツの効果をたずねた(3つまで回答可)ところ、「健康・体力づくり」(54.7%)が最も高く、次いで「運動不足の解消」(52.4%)、「楽しみ、気晴らし」(46.0%)となった。

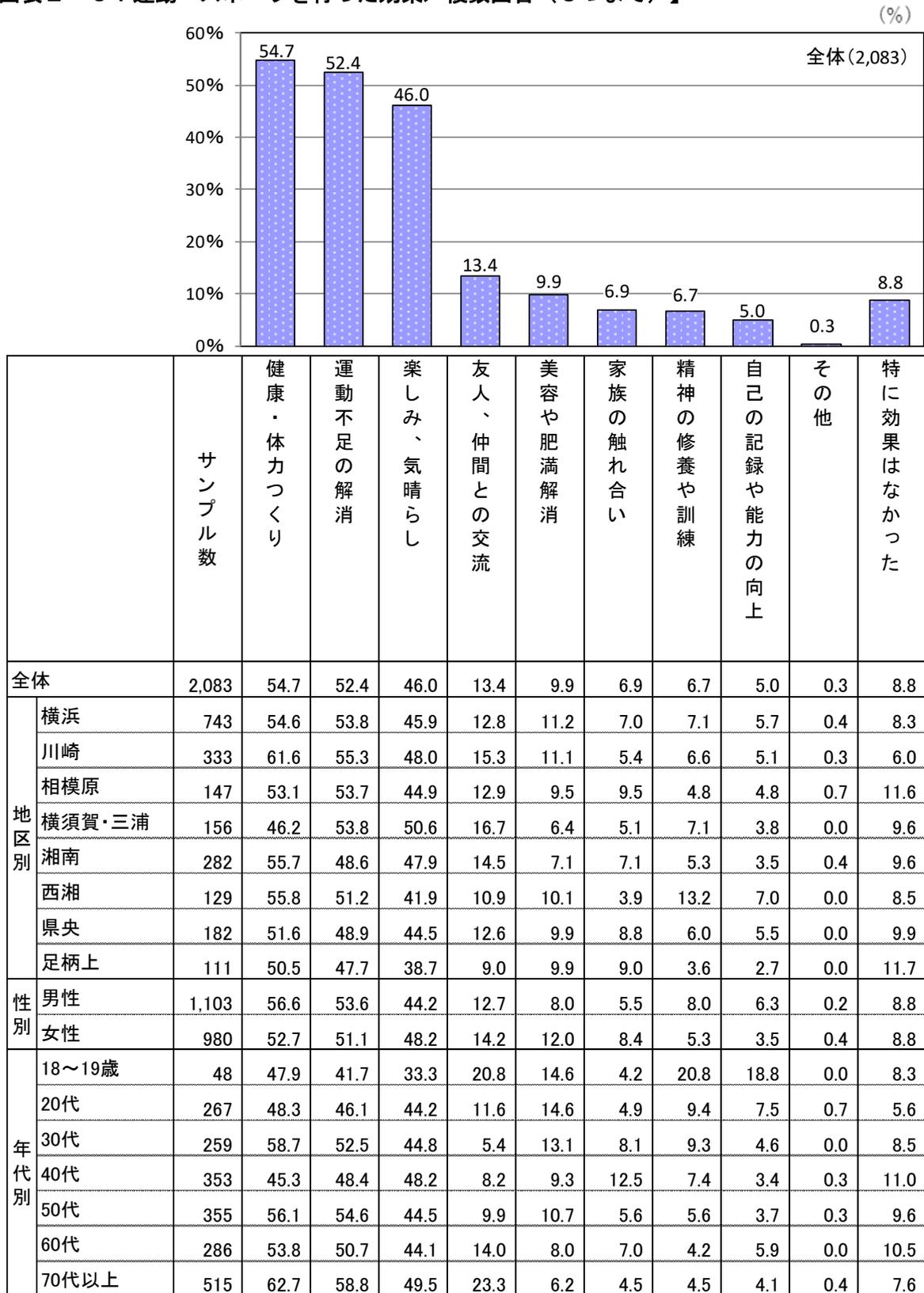
《属性別集計結果》

地区別でみると、「健康・体力づくり」は、川崎地区(61.6%)が横須賀・三浦地区(46.2%)、足柄上地区(50.5%)、県央地区(51.6%)、横浜地区(54.6%)に比べて高かった。

性別でみると、「美容や肥満解消」は、女性(12.0%)が男性(8.0%)に比べて高かった。

年代別でみると、「健康・体力づくり」(62.7%)は、70代以上がそれぞれ他の年代に比べて高かった。また、「精神の修養や訓練」(20.8%)、「自己の記録や能力の向上」(18.8%)は、18~19歳がそれぞれ他の年代に比べて高かった。

【図表 2-6 : 運動・スポーツを行った効果／複数回答（3つまで）】



なお、「その他」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

- ・ 足腰の痛みがなくなった
- ・ よく眠れた
- ・ 腰痛・自律神経改善

(5) 運動・スポーツを行わなかった理由

問3 (7) この1年間で運動やスポーツを行わなかった理由を選んでください。3つまで選んでください。

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| ア 仕事(家事・育児を含む)が忙しくて時間がないから | キ 指導者がいないから |
| イ 体調が整わなかったから | ク 補助者・介助者がいないから |
| ウ 年をとったから | ケ 費用がかかるから |
| エ 場所や施設がないから | コ 運動・スポーツは嫌いだから |
| オ 施設が利用しづらいから | サ 機会がなかったから |
| カ 仲間がいないから | シ その他() |
| | ス わからない |

《全体集計結果》

[問3(1)(2)(3)]で、すべてに「特になし」と答えた人(917人)に、この1年間で運動・スポーツを行わなかった理由をたずねた(3つまで回答可)ところ、「機会がなかったから」(29.3%)が最も高く、次いで「仕事(家事・育児を含む)が忙しくて時間がないから」(25.3%)、「運動・スポーツは嫌いだから」(21.8%)となった。

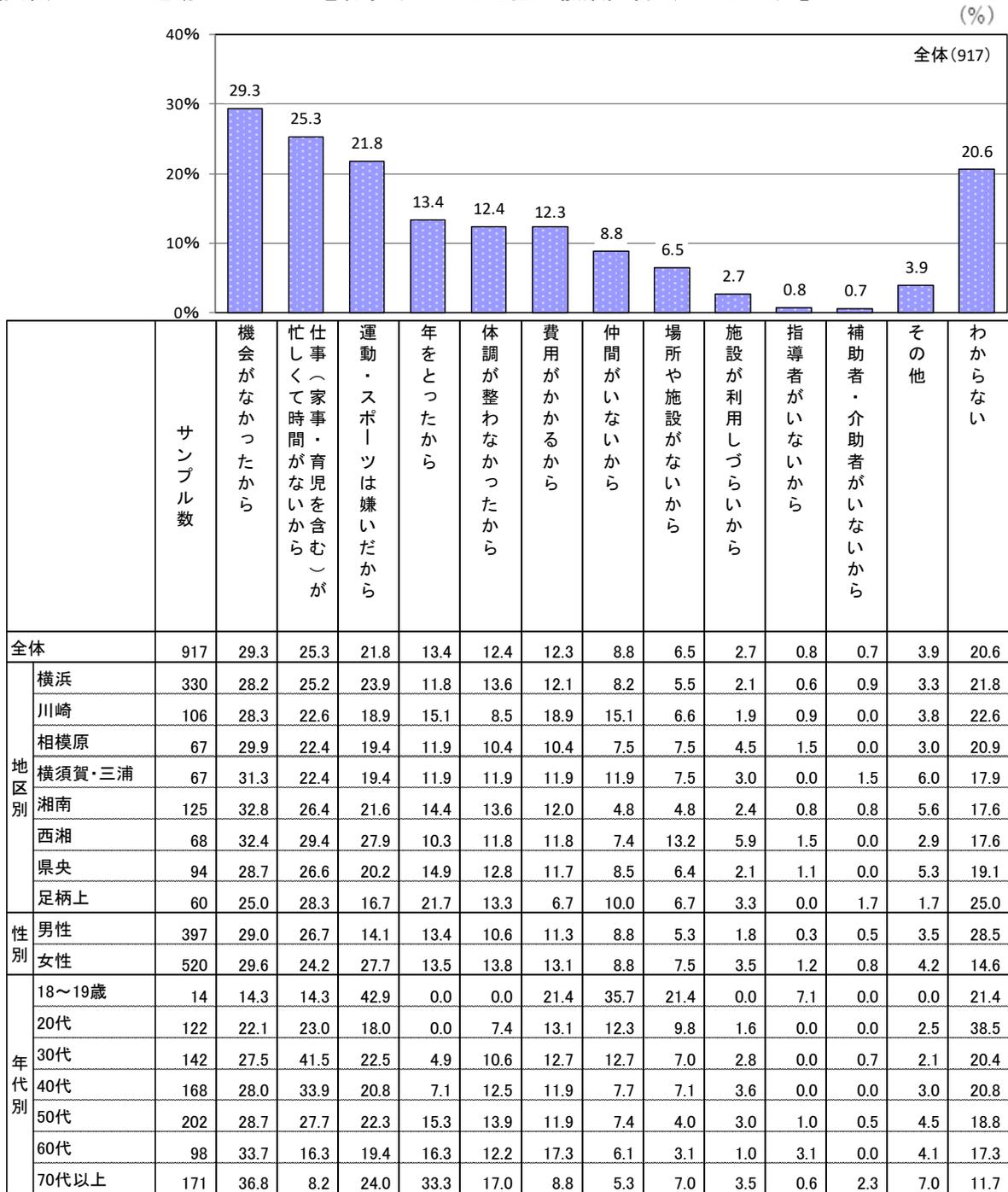
《属性別集計結果》

地区別でみると、「費用がかかるから」は、川崎地区(18.9%)が足柄上地区(6.7%)に比べて高かった。また、「場所や施設がないから」は、西湘地区(13.2%)が湘南地区(4.8%)、横浜地区(5.5%)に比べて高かった。

性別でみると、「運動・スポーツは嫌いだから」は、女性(27.7%)が男性(14.1%)に比べて高かった。

年代別でみると、「仕事(家事・育児を含む)が忙しくて時間がないから」は、30代(41.5%)、40代(33.9%)が70代以上(8.2%)、60代(16.3%)、20代(23.0%)に比べて高かった。「年をとったから」は、70代以上(33.3%)が他の年代を大きく上回った。

【図表 2-7：運動・スポーツを行わなかった理由／複数回答（3つまで）】



なお、「その他」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

- ・ 病気のため
- ・ 疲れるから
- ・ 興味がない

(6) 運動・スポーツ活動の満足度

問4 運動・スポーツを行うことについて、どのようにお考えですか。1つだけ選んでください。

- ア 運動・スポーツを十分に行っており、満足している
- イ 運動・スポーツを行ってはいるが、もっと行いたい
- ウ 運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない
- エ 運動・スポーツに関心はないが、行っている
- オ 運動・スポーツに関心がなく、行っていない

《全体集計結果》

全員に、運動・スポーツ活動の満足度をたずねたところ、「運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない」(36.0%)が最も高く、次いで「運動・スポーツを行ってはいるが、もっと行いたい」(24.8%)となった。なお、「運動・スポーツを十分に行っており、満足している」は、(11.6%)であった。

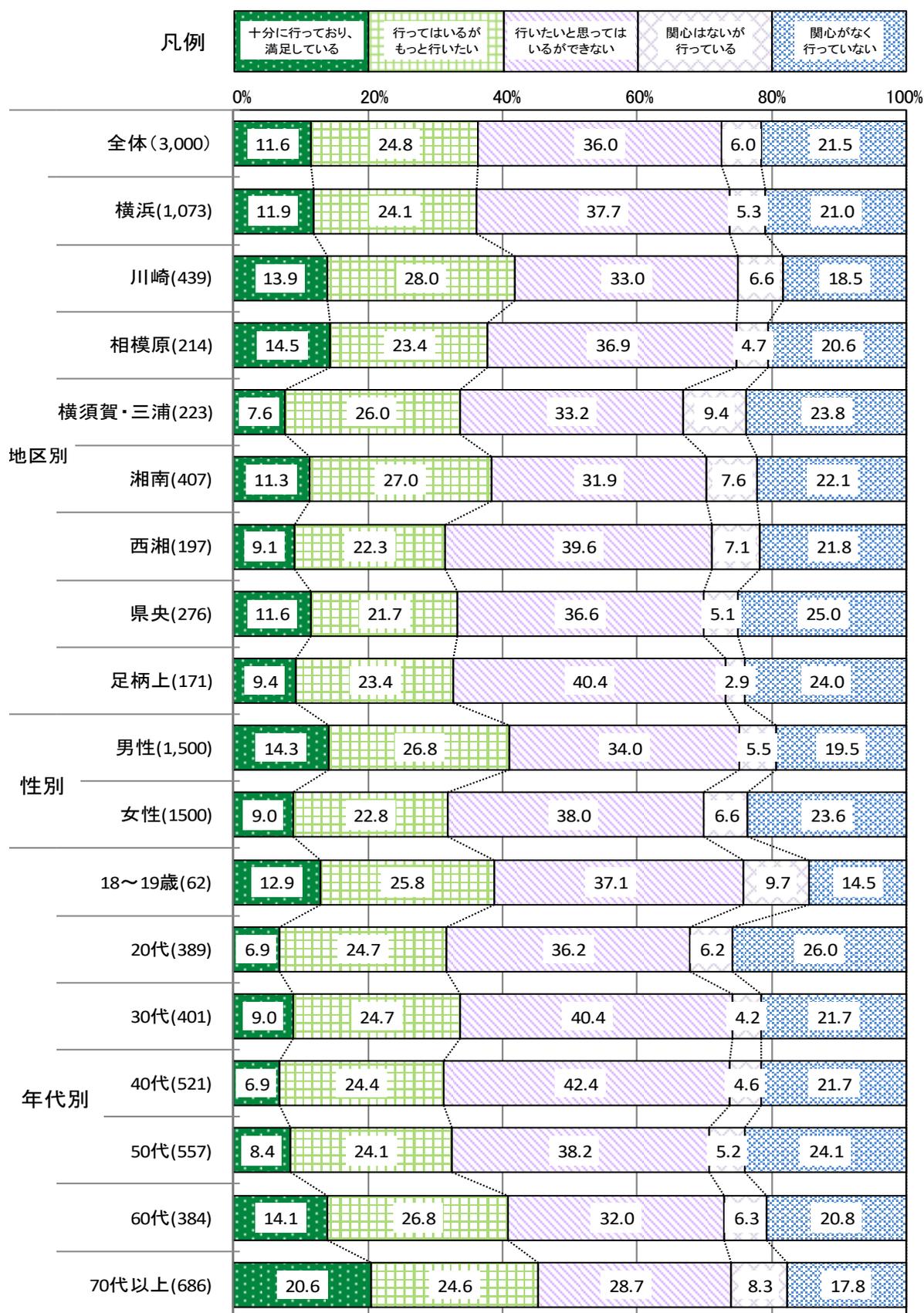
《属性別集計結果》

地区別でみると、「運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない」は横浜地区(37.7%)が湘南地区(31.9%)に比べて高かった。

性別でみると、「運動・スポーツを十分に行っており、満足している」は、男性(14.3%)が女性(9.0%)に比べて高く、「運動・スポーツに関心がなく、行っていない」は、女性(23.6%)が男性(19.5%)に比べて高かった。

年代別でみると、「運動・スポーツを十分に行っており、満足している」は、70代以上(20.6%)が20代から60代に比べて高かった。また、「運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない」は、40代(42.4%)、30代(40.4%)が70代以上(28.7%)、60代(32.0%)に比べて高かった。

【図表 2-8 : 運動・スポーツ活動の満足度／単一回答】



(7) 今後(も)行いたい(行ってみたい)運動・スポーツ

ア 気軽に楽しみたいスポーツや比較的軽い運動として行いたいスポーツ

今後(も)行いたい(行ってみたい)運動・スポーツについて次の質問にお答えください。

問5 (1) 気軽に楽しむことができるスポーツや比較的軽い運動として今後(も)行いたい(行ってみたい)スポーツはありますか。3つまで選んでください。(ア～コ
の選択数とサ～スの種目名の合計が3つまでになるようにしてください)

ア 軽い球技 (キャッチボールなど)	ケ 軽い水泳 (水中ウォーキングなどを含む)
イ 体操 (縄跳びを含む)	コ 室内運動器具 (ダンベル、チューブなど) を使ってする軽い運動
ウ 軽いエアロビックダンス、ヨガ	サ アーバンスポーツ※ (種目名)
エ ウォーキング (散歩などを含む)	シ 障害者スポーツ(パラスポーツ) (種目名)
オ フォークダンス (社交ダンス、民踊、車いすダンス などを含む)	ス その他の運動やスポーツ (種目名)
カ ボウリング	セ 特になし
キ ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	
ク ジョギング	

※ 「アーバンスポーツ」とは、スケートボード、スポーツクライミング、自転車BMX、3×3バスケットボール、ブレイキンなど、広い場所を必要としないなど都市住民が参加しやすい都市型スポーツです。

《全体集計結果》

全員に、今後(も)、【気軽に楽しみたいスポーツや比較的軽い運動として行いたいスポーツ】についてたずねた(3つまで回答可)ところ、「ウォーキング(散歩などを含む)」(54.3%)が最も高く、次いで「軽いエアロビックダンス、ヨガ」(17.3%)「軽い水泳(水中ウォーキングなどを含む)」(13.9%)となった。なお、「特になし」は24.0%であった。

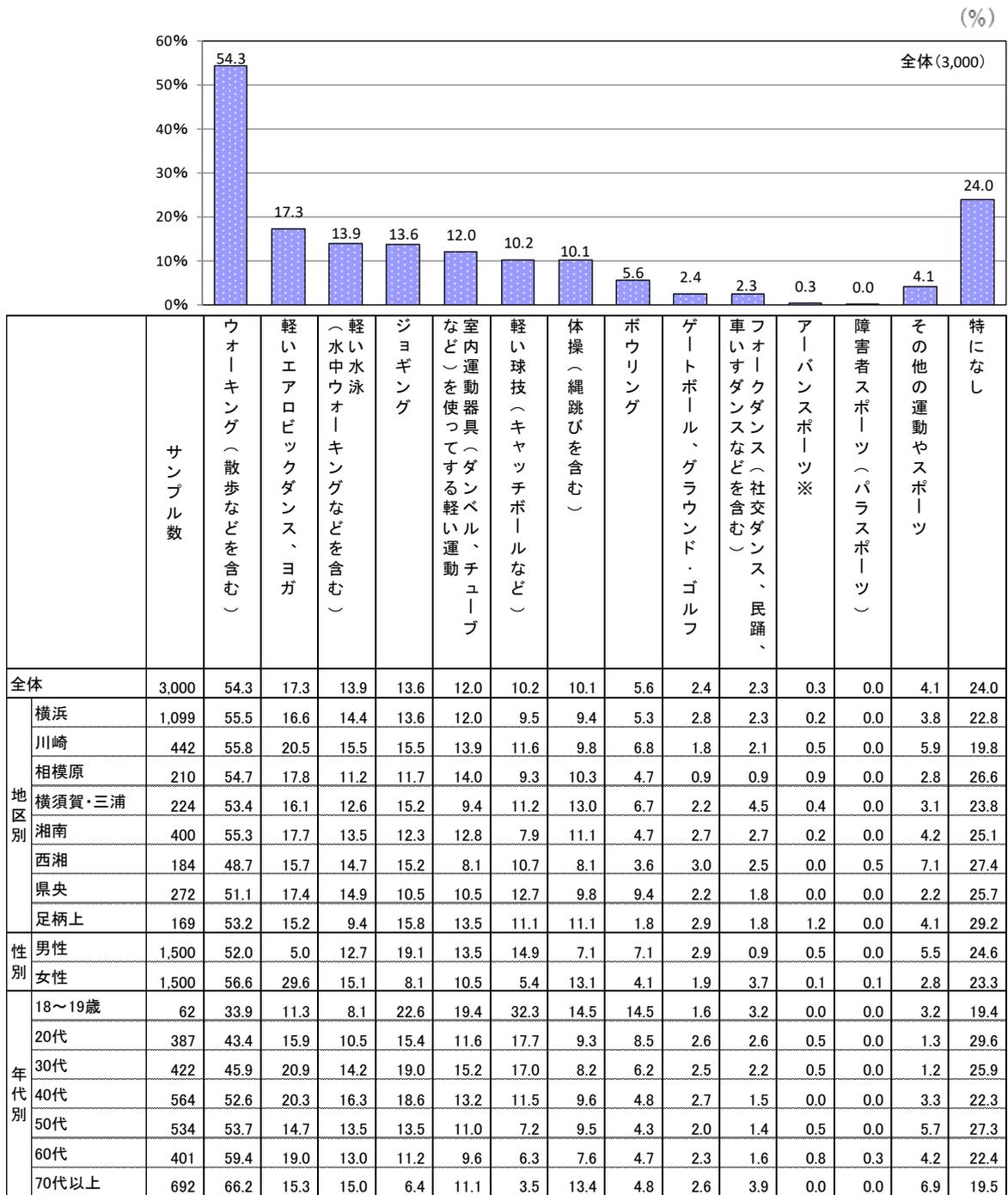
《属性別集計結果》

地区別で見ると、「軽い水泳(水中ウォーキングなどを含む)」は、川崎地区(15.5%)が足柄上地区(9.4%)に比べて高かった。

性別で見ると、「軽いエアロビックダンス、ヨガ」は、女性(29.6%)が男性(5.0%)に比べて高く、「ジョギング」は、男性(19.1%)が女性(8.1%)に比べて高かった。

年代別で見ると、「軽いエアロビックダンス、ヨガ」は、30代(20.9%)、40代(20.3%)が50代(14.7%)、70代以上(15.3%)に比べて高かった。

【図表 2-9：〈気軽に楽しみたいスポーツや比較的軽い運動として行いたいスポーツ〉の実施意向／複数回答（3つまで）】



	サンプル数	ウォーキング（散歩などを含む）	軽いエアロビックダンス、ヨガ	軽い水泳（水中ウォーキングなどを含む）	ジョギング	室内運動器具（ダンベル、チューブなど）を使ってする軽い運動	軽い球技（キャッチボールなど）	体操（縄跳びを含む）	ボウリング	ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	車いすダンスなどを含む	フォークダンス（社交ダンス、民踊、	アーバンスポーツ※	障害者スポーツ（パラスポーツ）	その他の運動やスポーツ	特になし
全体	3,000	54.3	17.3	13.9	13.6	12.0	10.2	10.1	5.6	2.4	2.3	0.3	0.0	4.1	24.0	
地区別	横浜	1,099	55.5	16.6	14.4	13.6	12.0	9.5	9.4	5.3	2.8	2.3	0.2	0.0	3.8	22.8
	川崎	442	55.8	20.5	15.5	15.5	13.9	11.6	9.8	6.8	1.8	2.1	0.5	0.0	5.9	19.8
	相模原	210	54.7	17.8	11.2	11.7	14.0	9.3	10.3	4.7	0.9	0.9	0.9	0.0	2.8	26.6
	横須賀・三浦	224	53.4	16.1	12.6	15.2	9.4	11.2	13.0	6.7	2.2	4.5	0.4	0.0	3.1	23.8
	湘南	400	55.3	17.7	13.5	12.3	12.8	7.9	11.1	4.7	2.7	2.7	0.2	0.0	4.2	25.1
	西湘	184	48.7	15.7	14.7	15.2	8.1	10.7	8.1	3.6	3.0	2.5	0.0	0.5	7.1	27.4
	県央	272	51.1	17.4	14.9	10.5	10.5	12.7	9.8	9.4	2.2	1.8	0.0	0.0	2.2	25.7
	足柄上	169	53.2	15.2	9.4	15.8	13.5	11.1	11.1	1.8	2.9	1.8	1.2	0.0	4.1	29.2
性別	男性	1,500	52.0	5.0	12.7	19.1	13.5	14.9	7.1	7.1	2.9	0.9	0.5	0.0	5.5	24.6
	女性	1,500	56.6	29.6	15.1	8.1	10.5	5.4	13.1	4.1	1.9	3.7	0.1	0.1	2.8	23.3
年代別	18～19歳	62	33.9	11.3	8.1	22.6	19.4	32.3	14.5	14.5	1.6	3.2	0.0	0.0	3.2	19.4
	20代	387	43.4	15.9	10.5	15.4	11.6	17.7	9.3	8.5	2.6	2.6	0.5	0.0	1.3	29.6
	30代	422	45.9	20.9	14.2	19.0	15.2	17.0	8.2	6.2	2.5	2.2	0.5	0.0	1.2	25.9
	40代	564	52.6	20.3	16.3	18.6	13.2	11.5	9.6	4.8	2.7	1.5	0.0	0.0	3.3	22.3
	50代	534	53.7	14.7	13.5	13.5	11.0	7.2	9.5	4.3	2.0	1.4	0.5	0.0	5.7	27.3
	60代	401	59.4	19.0	13.0	11.2	9.6	6.3	7.6	4.7	2.3	1.6	0.8	0.3	4.2	22.4
	70代以上	692	66.2	15.3	15.0	6.4	11.1	3.5	13.4	4.8	2.6	3.9	0.0	0.0	6.9	19.5

なお、「その他の運動やスポーツ（種目名）」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

- ・ テニス
- ・ ゴルフ
- ・ サイクリング
- ・ バドミントン

イ 野外活動として行いたいスポーツ

問5 (2) 野外活動として今後(も)行いたい(行ってみたい)スポーツはありますか。
3つまで選んでください。(ア～コの選択数とサ、シの種目名の合計が3つまでになるようにしてください)

ア スキー、スノーボード	ク ハンググライダーなどのスカイスports
イ 海水浴(遊泳)	ケ サイクリング
ウ スケート	コ 釣り
エ 登山、ハイキング	サ 障害者スポーツ(パラスポーツ) (種目名)
オ キャンプ	シ その他の野外活動 (種目名)
カ ヨット、サーフィンなどの マリンスports	ス 特になし
キ ゴルフ	

《全体集計結果》

全員に、今後(も)【野外活動として行いたいスポーツ】についてたずねた(3つまで回答可)ところ、「登山、ハイキング」(20.6%)が最も高く、次いで「サイクリング」(14.0%)、「キャンプ」(12.2%)となった。なお、「特になし」は51.2%であった。

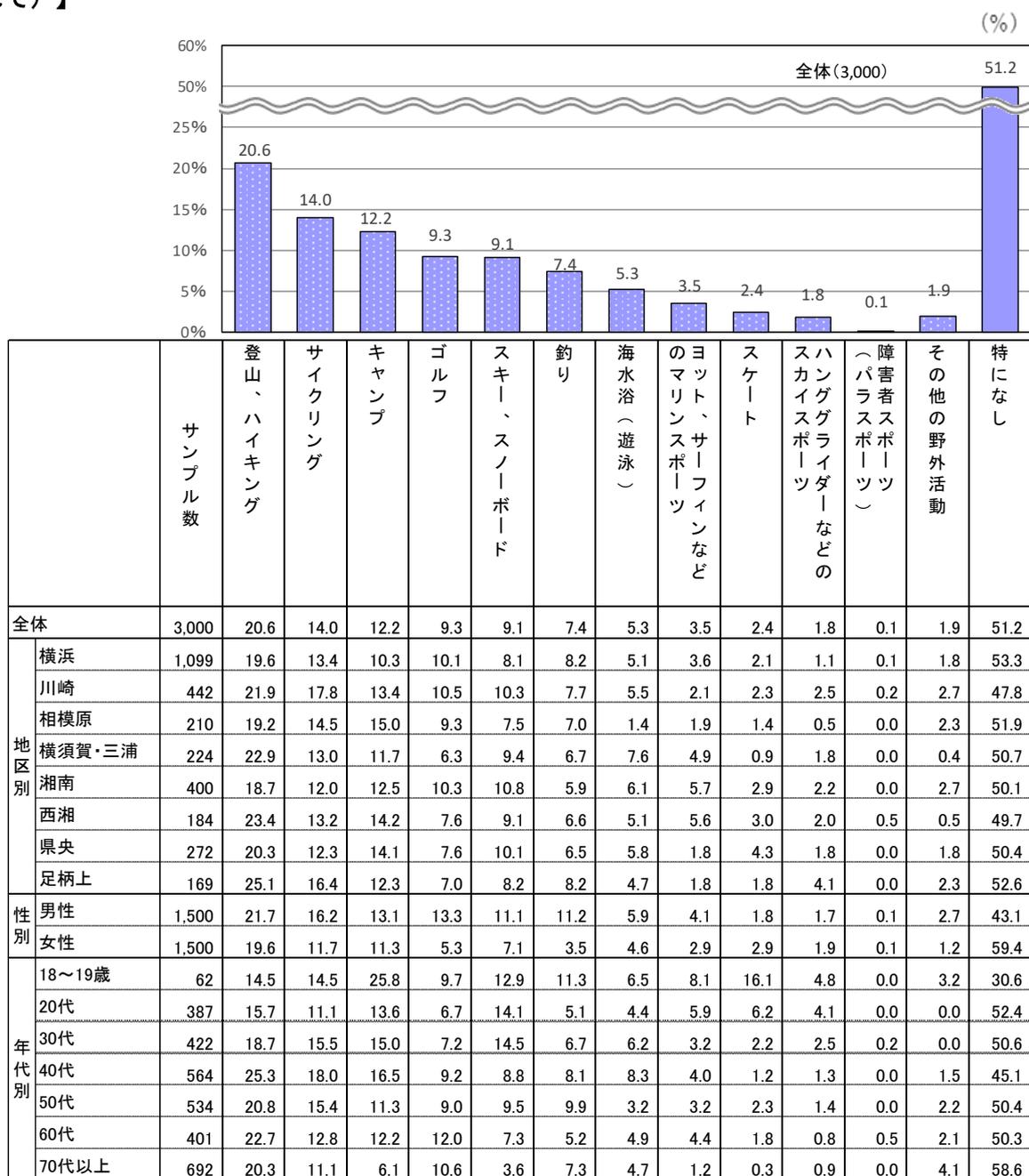
《属性別集計結果》

地区別でみると、「サイクリング」は、川崎地区(17.8%)が湘南地区(12.0%)、横浜地区(13.4%)に比べて高かった。

性別でみると、男性が複数項目(「ゴルフ」(13.3%)、「釣り」(11.2%)、「スキー、スノーボード」(11.1%)等)で女性(「スキー、スノーボード」(7.1%)、「ゴルフ」(5.3%)、「釣り」(3.5%)等)に比べて高かった。

年代別でみると、「スキー、スノーボード」は、30代(14.5%)、20代(14.1%)が、40代以上に比べて高かった。また、「スケート」(16.1%)、「キャンプ」(25.8%)は、18～19歳が他の年代を大きく上回った。

【図表2-10：《野外活動として行いたいスポーツ》の実施意向（全体結果）／複数回答（3つまで）】



なお、「その他の野外活動（種目名）」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

- ・ テニス
- ・ ウォーキング
- ・ グランドゴルフ
- ・ ジョギング

ウ 競技として行いたいスポーツ

問5 (3) 競技として今後(も)行いたい(行ってみたい)スポーツはありますか。3つまで選んでください。(ア～スの選択数とセ～チの種目名の合計が3つまでになるようにしてください)

ア	陸上競技	シ	バスケットボール
イ	マラソン	ス	ラグビー
ウ	水泳競技	セ	その他の球技スポーツ (種目名)
エ	柔道、剣道、相撲、空手	ソ	アーバンスポーツ※ (種目名)
オ	ボクシング、レスリング	タ	障害者スポーツ(パラスポーツ) (種目名)
カ	弓道、アーチェリー	チ	その他のスポーツ (種目名)
キ	セーリング	ツ	特になし
ク	野球、ソフトボール		
ケ	サッカー、フットサル		
コ	バレーボール		
サ	テニス、卓球、バドミントン		

※ 「アーバンスポーツ」とは、スケートボード、スポーツクライミング、自転車BMX、3×3バスケットボール、ブレイキンなど、広い場所を必要としないなど都市住民が参加しやすい都市型スポーツです。

《全体集計結果》

全員に、今後(も)【競技として行いたいスポーツ】をたずねた(3つまで回答可)ところ、「テニス、卓球、バドミントン」(10.9%)が最も高く、他の競技はいずれも10%未満であった。なお、「特になし」は72.6%であった。

《属性別集計結果》

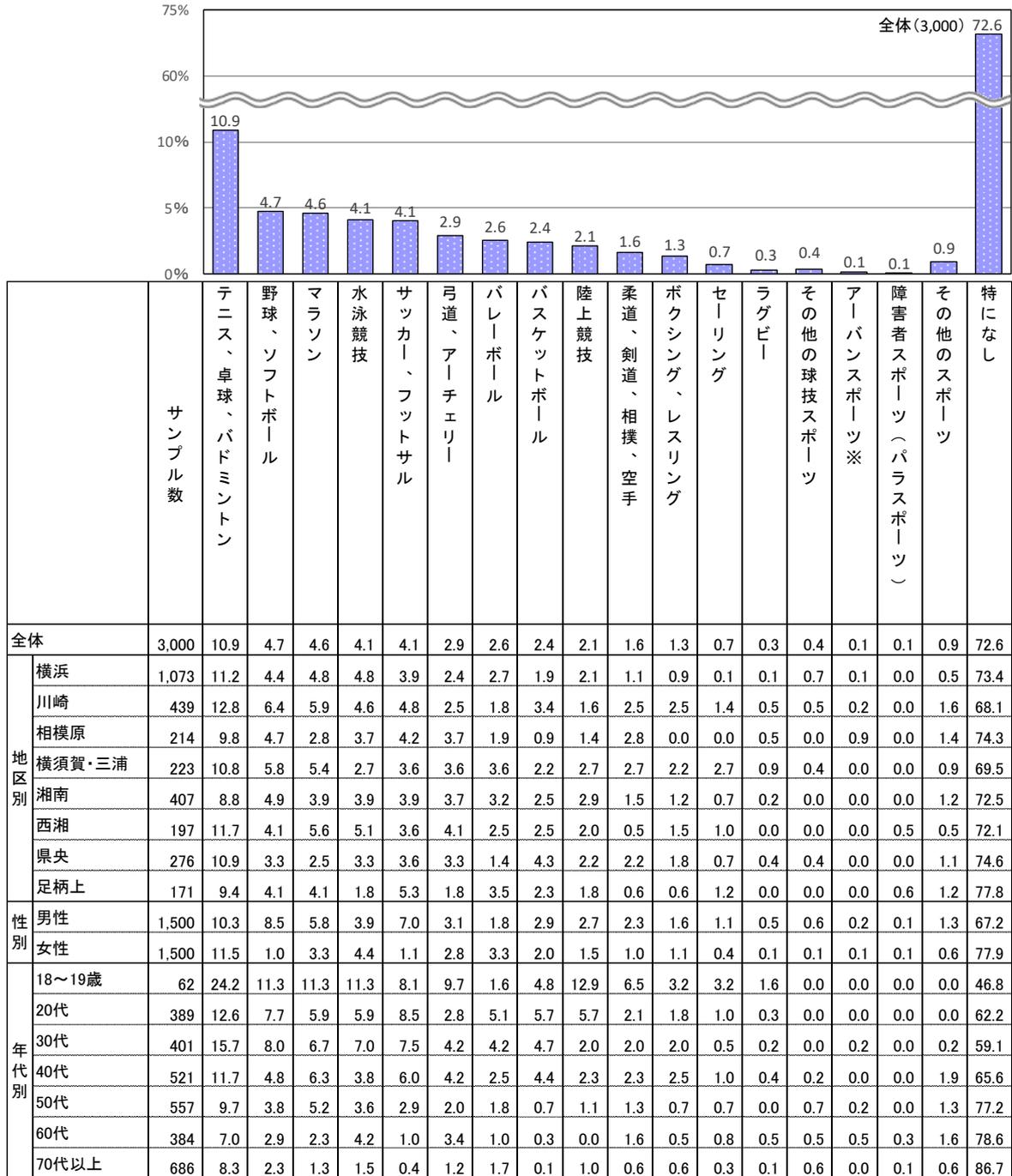
地区別でみると、「特になし」は、足柄上地区(77.8%)、横浜地区(73.4%)が川崎地区(68.1%)に比べて高かった。

性別でみると、「野球、ソフトボール」は、男性(8.5%)が女性(1.0%)に比べて高かった。「サッカー、フットサル」は、男性(7.0%)が女性(1.1%)に比べて高かった。また、「特になし」は、女性(77.9%)が男性(67.2%)に比べて高かった。

年代別でみると、18～19歳が複数項目(「テニス、卓球、バドミントン」(24.2%)、「陸上競技」(12.9%)等)で他の年代に比べて高かった。また、「特になし」は、70代以上(86.7%)が最も高く、他の年代を大きく上回った。

【図表2-11：「競技として行いたいスポーツ」の実施意向／複数回答（3つまで）】

(%)



なお、「その他の球技スポーツ（種目名）」、「アーバンスポーツ※（種目名）」、「その他のスポーツ（種目名）」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

「その他の球技スポーツ（種目名）」

- ・ ゴルフ

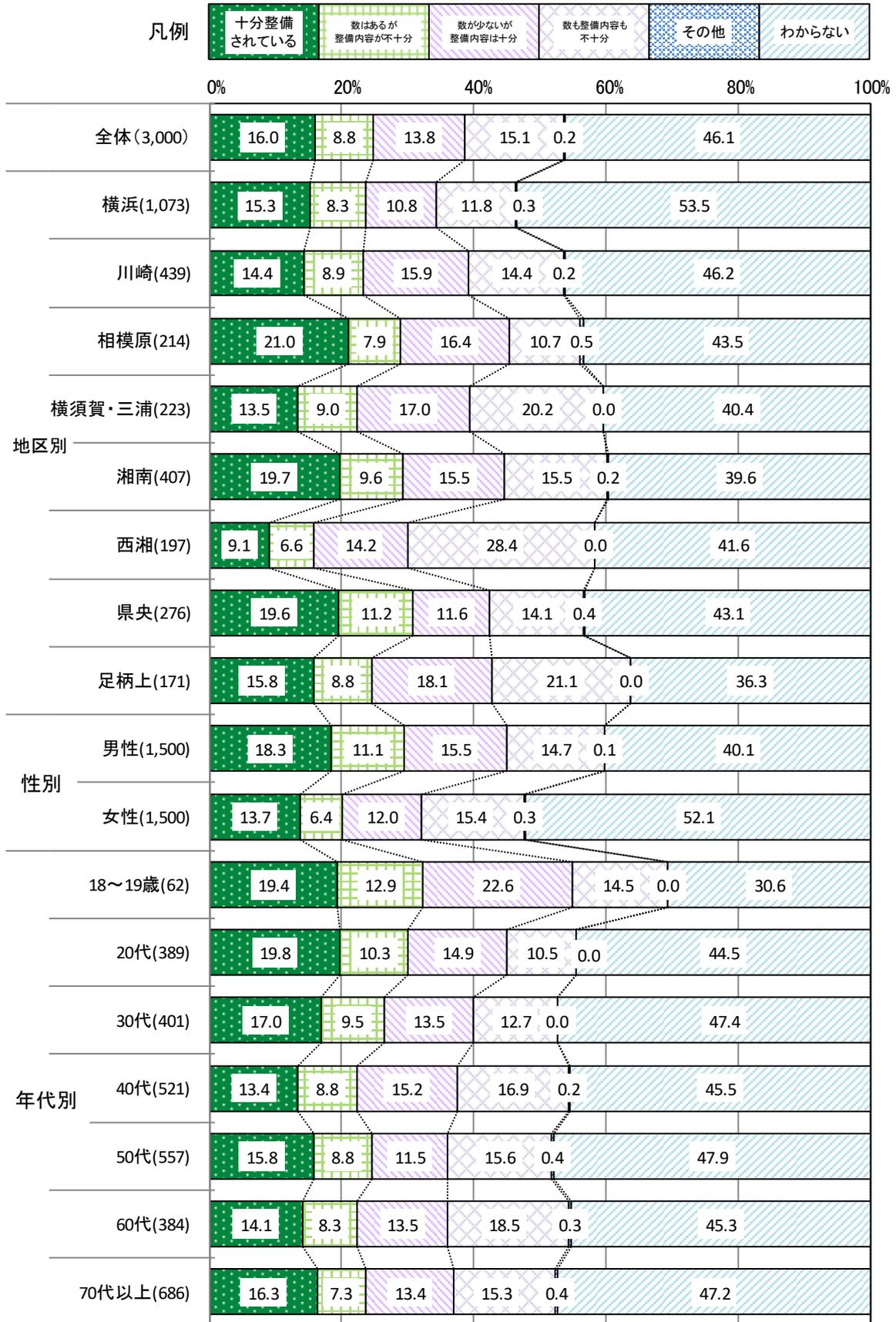
「アーバンスポーツ※（種目名）」

- ・ スケートボード

「その他のスポーツ（種目名）」

- ・ モータースポーツ
- ・ ブラジリアン柔術

【図表3-1：公立スポーツ施設設置状況／単一回答】



(2) 公立スポーツ施設への要望

問6 (2) 公立スポーツ施設(体育館、グラウンド、プール、テニスコートなど) に対しての要望などを教えてください。3つまで選んでください。

- ア 施設数の増加
- イ 指導者の配置
- ウ 専門的なスタッフの配置
- エ 初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実
- オ 利用手続き、料金支払い方法の簡略化
- カ 利用時間帯の拡大(早朝、夜間など)
- キ 利用案内など広報の充実
- ク 運動やスポーツ後に利用する施設(レストランなど)の充実
- ケ 高齢者や障害のある方が利用しやすい施設・設備の整備
- コ 健康やスポーツに関する情報の充実
- サ 託児施設の充実
- シ 駐車場の整備
- ス その他()
- セ わからない

《全体集計結果》

全員に、公立スポーツ施設への要望をたずねた(3つまで回答可)ところ、「施設数の増加」(22.5%)が最も高く、次いで「利用手続き、料金支払い方法の簡略化」(20.9%)、「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」(16.8%)となった。なお、「わからない」は、40.8%であった。

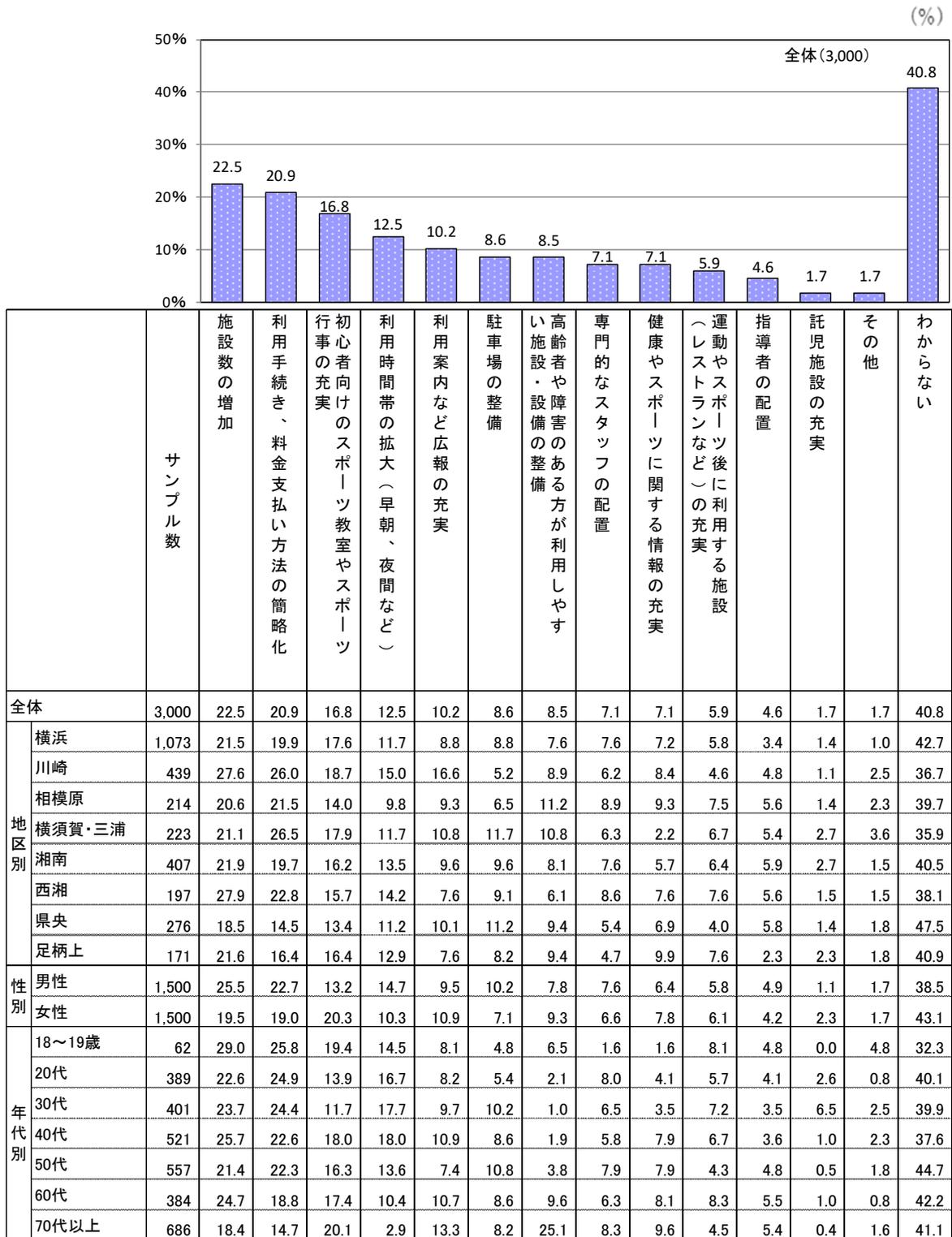
《属性別集計結果》

地区別でみると、「施設数の増加」は、西湘地区(27.9%)、川崎地区(27.6%)が県央地区(18.5%)、横浜地区(21.5%)に比べて高かった。また、「利用手続き、料金支払い方法の簡略化」は、横須賀・三浦地区(26.5%)、川崎地区(26.0%)が県央地区(14.5%)、足柄上地区(16.4%)、湘南地区(19.7%)、横浜地区(19.9%)に比べて高かった。

性別でみると、「施設数の増加」は、男性(25.5%)が女性(19.5%)に比べて高かった。また、「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」は、女性(20.3%)が男性(13.2%)に比べて高かった。

年代別でみると、「施設数の増加」は、18~19歳(29.0%)、40代(25.7%)、60代(24.7%)、30代(23.7%)が70代以上(18.4%)に比べて高かった。また、「利用時間帯の拡大(早朝、夜間など)」は、70代以上(2.9%)が他の年代に比べて低かった。

【図表3-2：公立スポーツ施設への要望／複数回答（3つまで）】



なお、「その他」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

- ・ 施設設備の改善
- ・ 料金の改定
- ・ 道具の整備
- ・ アクセスの良さ

(3) 学校の体育施設利用状況

問6 (3) この1年間で学校の体育施設（運動場、体育館、プールなど）を、運動やスポーツの目的のために利用しましたか。（学校主催による運動会など学校行事への参加は除きます）

- ア 利用した → 問6 (5) へ進む
- イ 利用しなかった

《全体集計結果》

全員に、この1年間の学校の体育施設利用状況をたずねたところ、「利用した」は7.2%、「利用しなかった」は92.8%であった。

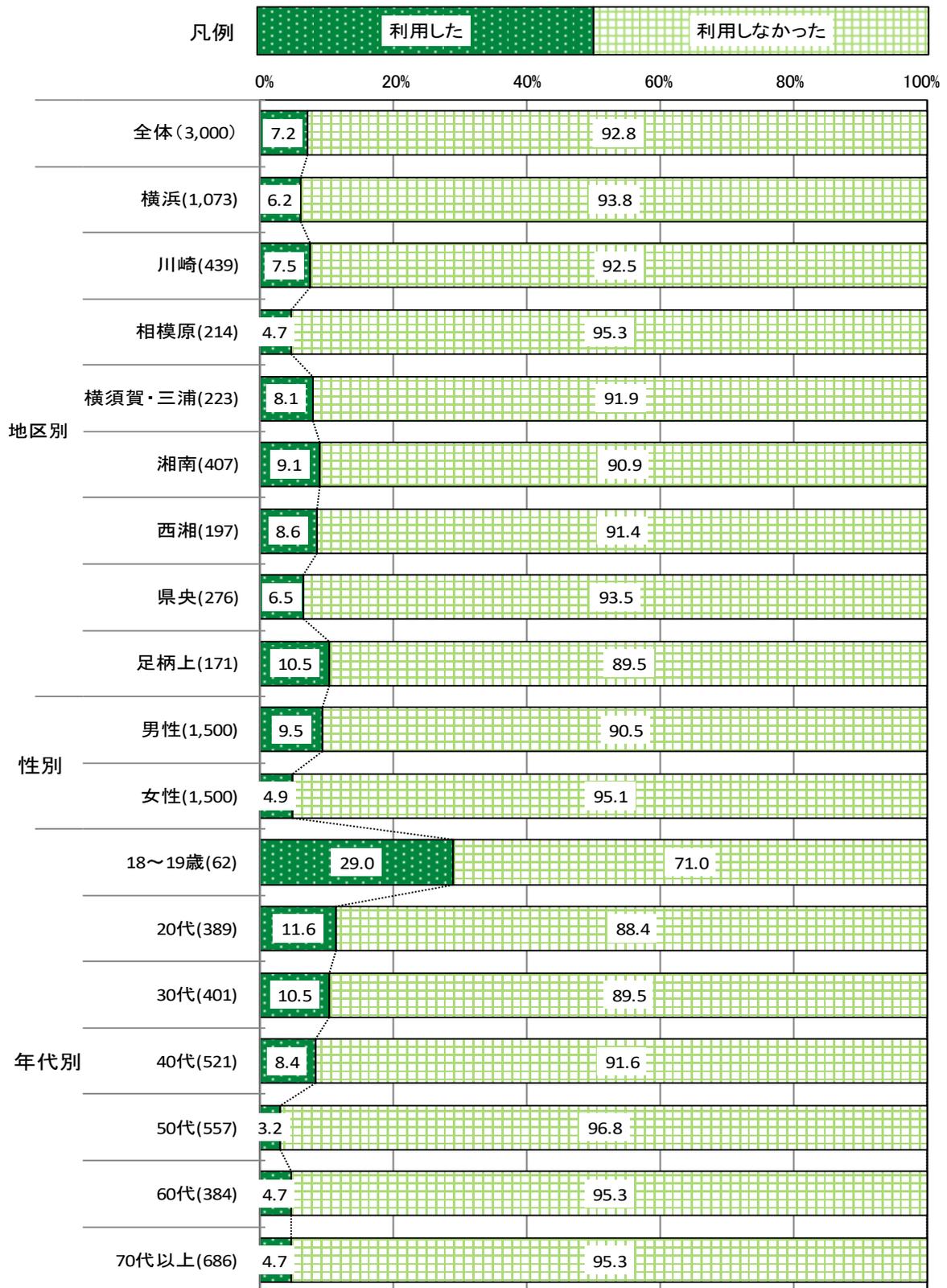
《属性別集計結果》

地区別で見ると、「利用した」は足柄上地区（10.5%）、湘南地区（9.1%）が相模原地区（4.7%）、横浜地区（6.2%）に比べて高かった。

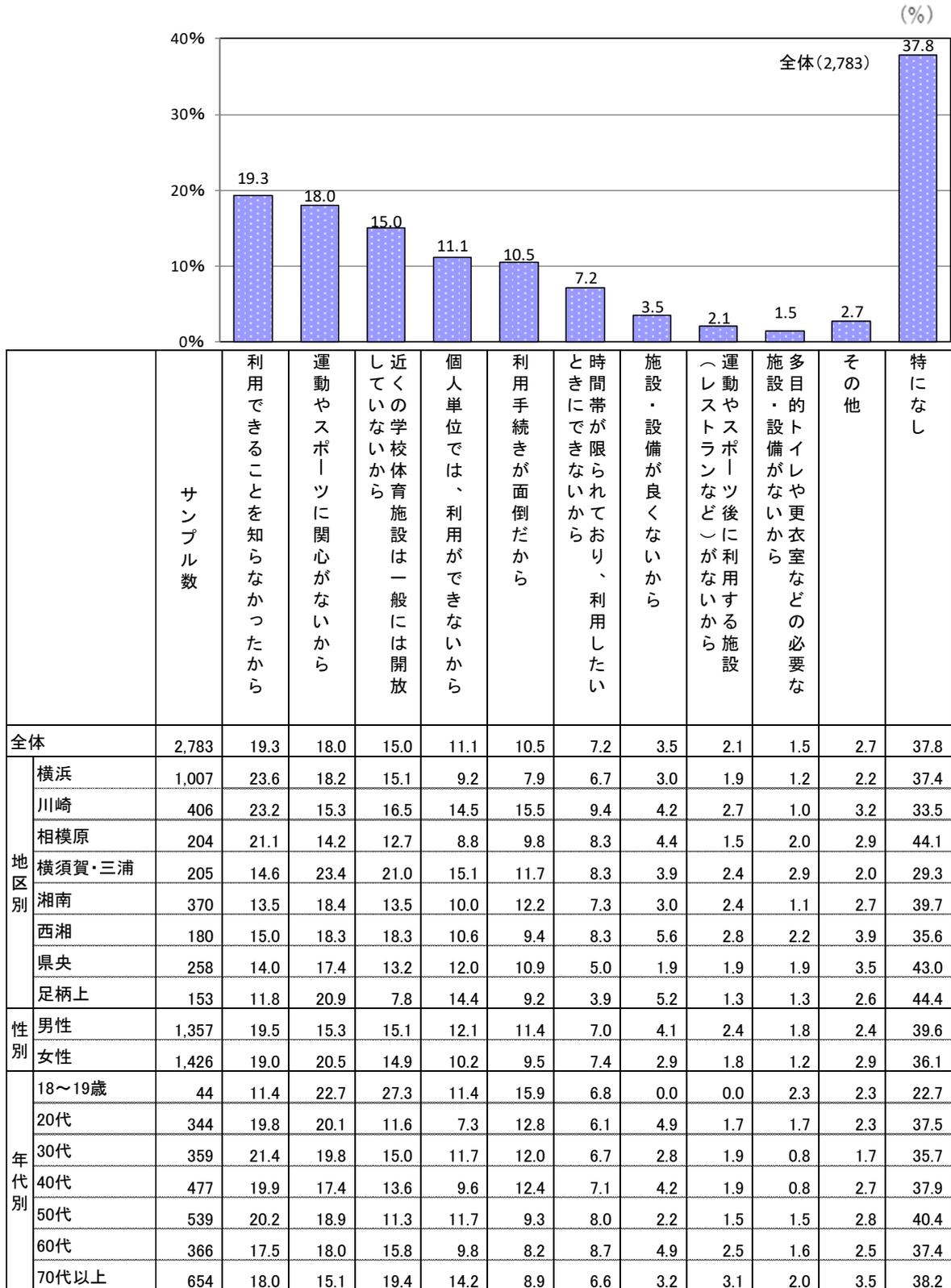
性別で見ると、「利用した」は、男性（9.5%）が女性（4.9%）に比べて高かった。

年代別で見ると、「利用した」は、18～19歳（29.0%）が他の年代に比べて高かった。

【図表3-3：学校の体育施設利用状況／単一回答】



【図表3-4：学校の体育施設を利用しなかった理由／複数回答（3つまで）】



なお、「その他」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

- ・ スポーツジムに行っているから
- ・ 駐車場がないから
- ・ 時間がない

(5) 今後設置を希望するスポーツ施設

問6 (5) 今後、設置を希望するスポーツ施設は何ですか。3つまで選んでください。

ア 屋内プール	シ 弓道場
イ 屋外プール	ス 漕艇場・カヌー場
ウ 体育館	セ 射撃場
エ 多目的運動広場	ソ 卓球場
オ 陸上競技場	タ スケート場
カ 野球場（ソフトボール場）	チ キャンプ場
キ テニスコート	ツ フットサル場
ク トレーニング場	テ アーバンスポーツ施設
ケ サッカー・ラグビー場	ト その他（ ）
コ ゴルフ場	ナ 特になし
サ 柔・剣道場	

《全体集計結果》

全員に、今後設置を希望するスポーツ施設についてたずねたところ、「屋内プール」(26.0%)が最も高く、次いで「体育館」(12.5%)、「多目的運動広場」(11.7%)となった。なお、「特になし」は、45.0%であった。

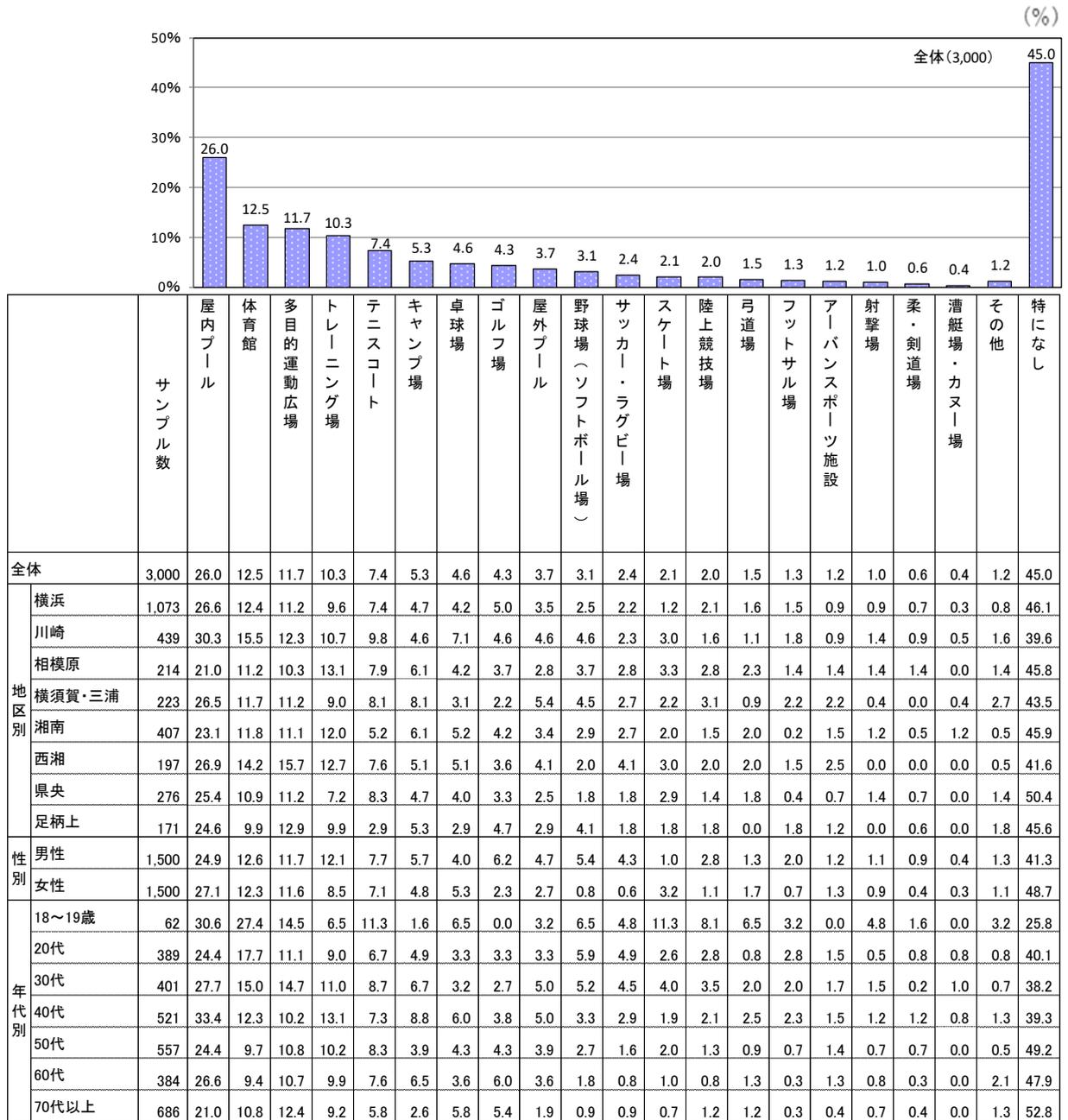
《属性別集計結果》

地区別でみると、「屋内プール」は、川崎地区(30.3%)が相模原地区(21.0%)、湘南地区(23.1%)に比べて高かった。

性別でみると、男性が複数項目（「トレーニング場」(12.1%)、「ゴルフ場」(6.2%)、「野球場（ソフトボール場）」(5.4%)等）で女性（「トレーニング場」(8.5%)、「ゴルフ場」(2.3%)、「野球場（ソフトボール場）」(0.8%)等）に比べて高かった。

年代別でみると、「体育館」は、18～19歳(27.4%)が30代以上に比べて高かった。また、「屋内プール」は、40代(33.4%)が70代以上(21.0%)、50代と20代（いずれも24.4%）、60代(26.6%)に比べて高かった。

【図表3-5：今後設置を希望するスポーツ施設／複数回答（3つまで）】



なお、「その他」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

- ・ バスケットボールコート
- ・ ランニングコース
- ・ サイクリングロード

4 県・市町村のスポーツ施策

※平成22年度調査より実施

(1) 「総合型地域スポーツクラブ」の認知

問7 (1) 「総合型地域スポーツクラブ」※について知っていますか。1つだけ選んでください。

※ 「総合型地域スポーツクラブ」とは、地域住民が主体となって運営する多種目・多世代・多志向型のスポーツクラブのことを指します。

- ア 県内に総合型地域スポーツクラブがあることや仕組みや特徴も含め、よく知っている
- イ 県内に総合型地域スポーツクラブがあることは知っている
- ウ 総合型地域スポーツクラブという言葉聞いたことがある
- エ 知らない

《全体集計結果》

全員に、「総合型地域スポーツクラブ」を知っているかたずねたところ、「知らない」(69.8%)が最も高く、次いで「総合型地域スポーツクラブという言葉聞いたことがある」(15.3%)となった。また、《認知群(「県内に総合型地域スポーツクラブがあることや仕組みや特徴も含め、よく知っている」+「県内に総合型地域スポーツクラブがあることは知っている」+「総合型地域スポーツクラブという言葉聞いたことがある」)》は、全体の30.2%であった。

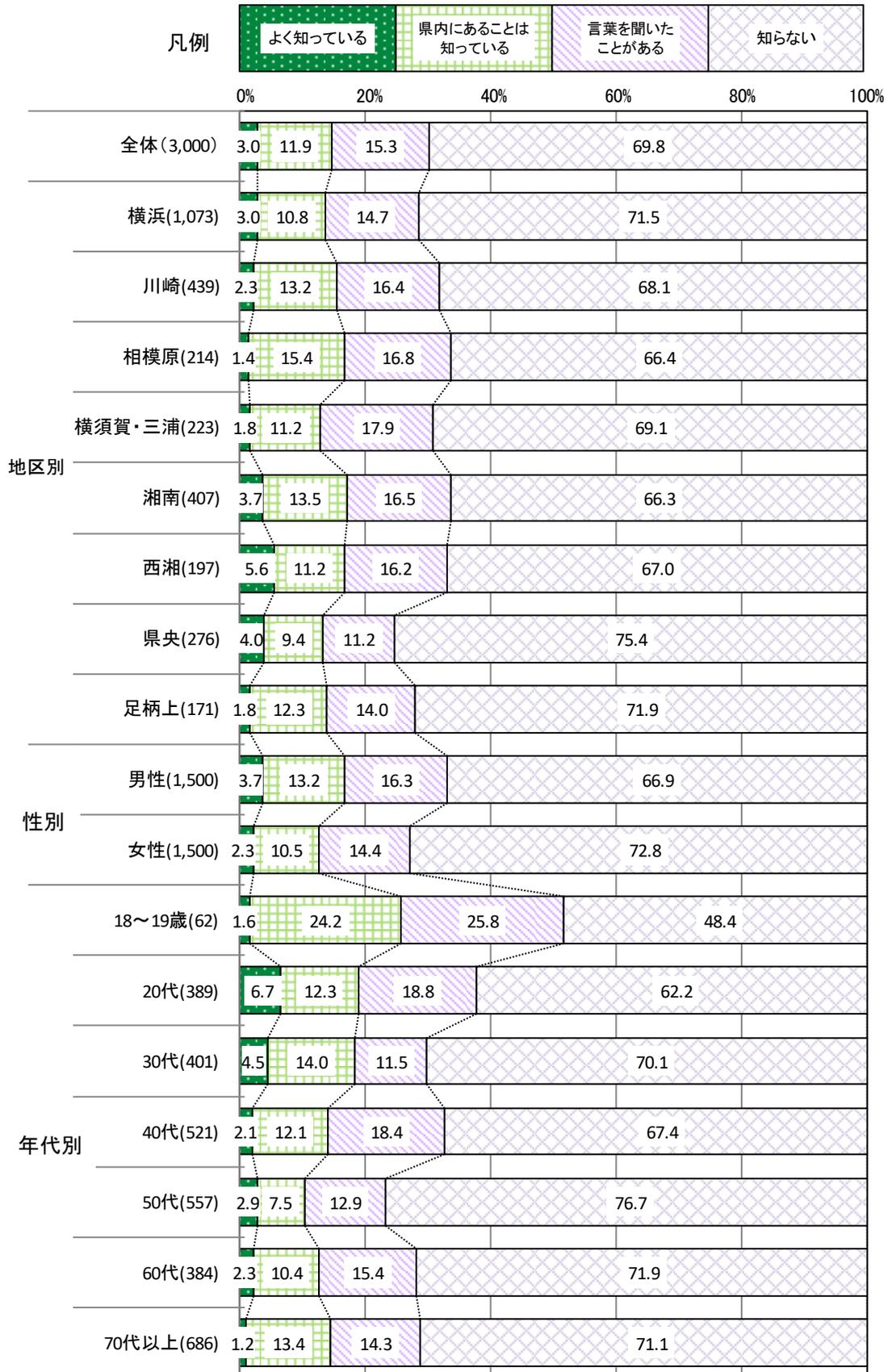
《属性別集計結果》

地区別でみると、「県内に総合型地域スポーツクラブがあることや仕組みや特徴も含め、よく知っている」は、西湘地区(5.6%)が相模原地区(1.4%)、横須賀・三浦地区(1.8%)、川崎地区(2.3%)に比べて高かった。

性別でみると、《認知群》は、男性(33.2%)が女性(27.2%)に比べて高かった。

年代別でみると、《認知群》は、18～19歳(51.6%)が他の年代に比べて最も高かった。

【図表４－１：「総合型地域スポーツクラブ」の認知／単一回答】



(2) 「総合型地域スポーツクラブ」の参加状況

問7(2) 「総合型地域スポーツクラブ」の活動などに参加したことがありますか。

- ア 参加したことがある
- イ 参加したことがない

《全体集計結果》

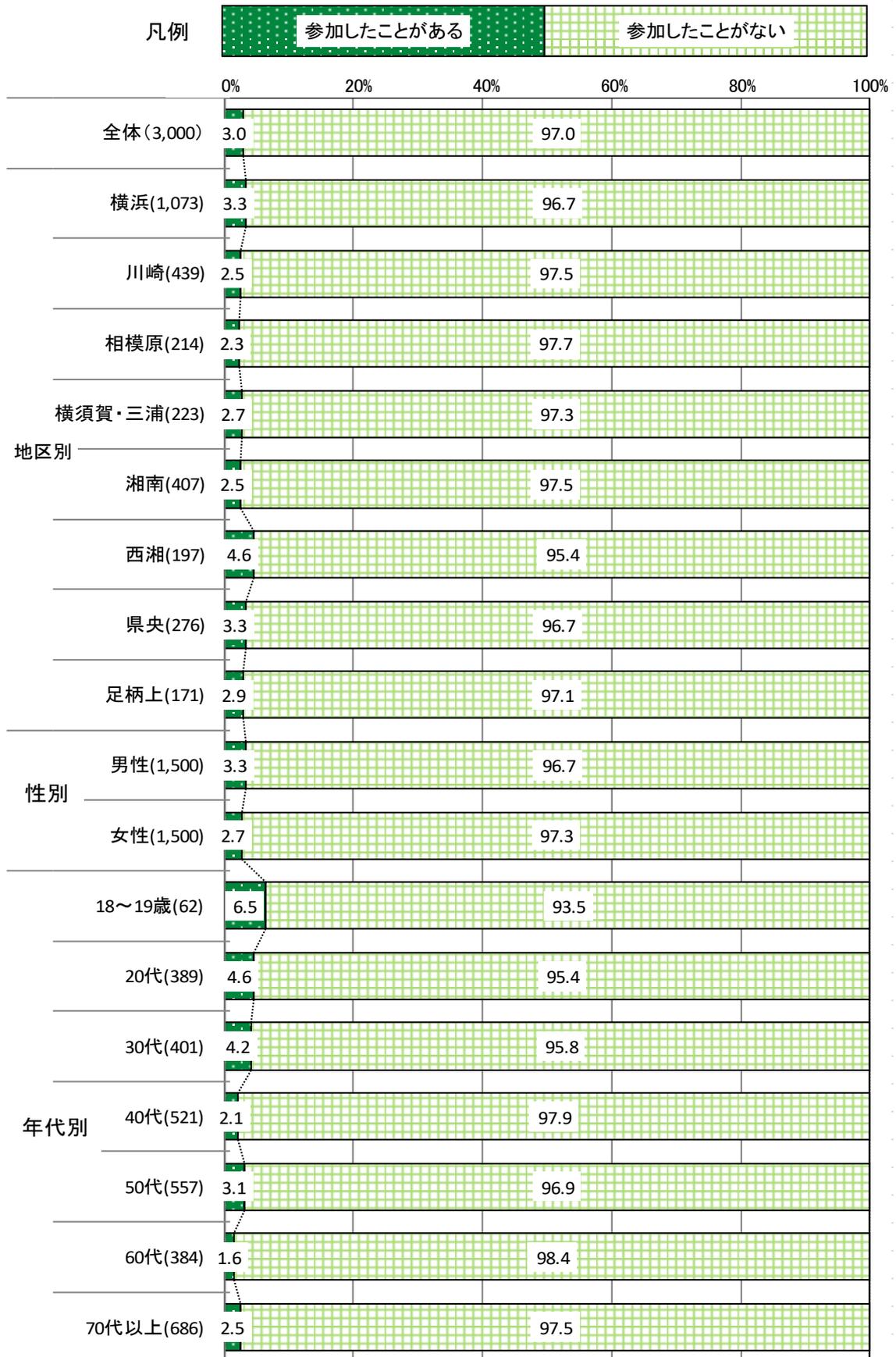
全員に、「総合型地域スポーツクラブ」に参加したことがあるかたずねたところ、「参加したことがない」は97.0%、「参加したことがある」は3.0%であった。

《属性別集計結果》

地区別及び性別においては、統計的に有意な差はなかった。

年代別でみると、「参加したことがある」は、18～19歳(6.5%)、20代(4.6%)が60代(1.6%)、40代(2.1%)に比べて高かった。

【図表４－２：「総合型地域スポーツクラブ」の参加状況／単一回答】



(3) 「3033 (サンマルサンサン) 運動」の認知

問8 (1) 「3033 (サンマルサンサン) 運動」※について知っていますか。1つだけ選んでください。

※ 1日30分、週3回、3ヶ月間継続して運動やスポーツを行い、運動やスポーツをくらしの一部として習慣化することを、「3033 (サンマルサンサン) 運動」といいます。

- ア 「3033運動」という言葉の意味、内容、効果について、よく知っている
- イ 「3033運動」という言葉の意味を知っている
- ウ 「3033運動」という言葉は聞いたことはある
- エ 知らない → 問9へ進む

《全体集計結果》

全員に、「3033運動」を知っているかたずねたところ、「知らない」(87.4%)が最も高く、次いで「「3033運動」という言葉は聞いたことはある」(8.2%)、「「3033運動」という言葉の意味を知っている」(3.0%)となった。また、《認知群(「3033運動」という言葉の意味、内容、効果について、よく知っている) + 「3033運動」という言葉の意味を知っている + 「3033運動」という言葉は聞いたことはある)》は、全体の12.6%であった。

《属性別集計結果》

地区別でみると、《認知群》は、湘南地区(19.7%)が川崎地区(8.7%)、相模原地区(10.3%)、県央地区(10.9%)、横須賀・三浦地区(11.2%)、横浜地区(11.4%)に比べて高かった。

性別でみると、《認知群》は、男性(13.9%)が女性(11.4%)に比べて高かった。

年代別でみると、《認知群》は、18～19歳(32.3%)が他の年代に比べて最も高かった。

【図表4-3：「3033（サンマルサンサン）運動」の認知／単一回答】



(4) 「3033 (サンマルサンサン) 運動」の実践

問8 (2) 「3033 (サンマルサンサン) 運動」*を実践していますか。1つだけ選んでください。

※ 1日30分、週3回、3ヶ月間継続して運動やスポーツを行い、運動やスポーツをくらしの一部として習慣化することを、「3033 (サンマルサンサン) 運動」といいます。

- ア 実践している
- イ 実践していないが、これから実践したい
- ウ 実践していないし、これからも実践するつもりはない

《全体集計結果》

「3033運動」について「言葉の意味、内容、効果について、よく知っている」または「言葉の意味を知っている」または「言葉は聞いたことはある」と答えた人(378人)に、「3033運動」を実践しているかたずねたところ、「実践している」は、19.6%となった。なお、「実践していないが、これから実践したい」が53.7%と最も高かった。

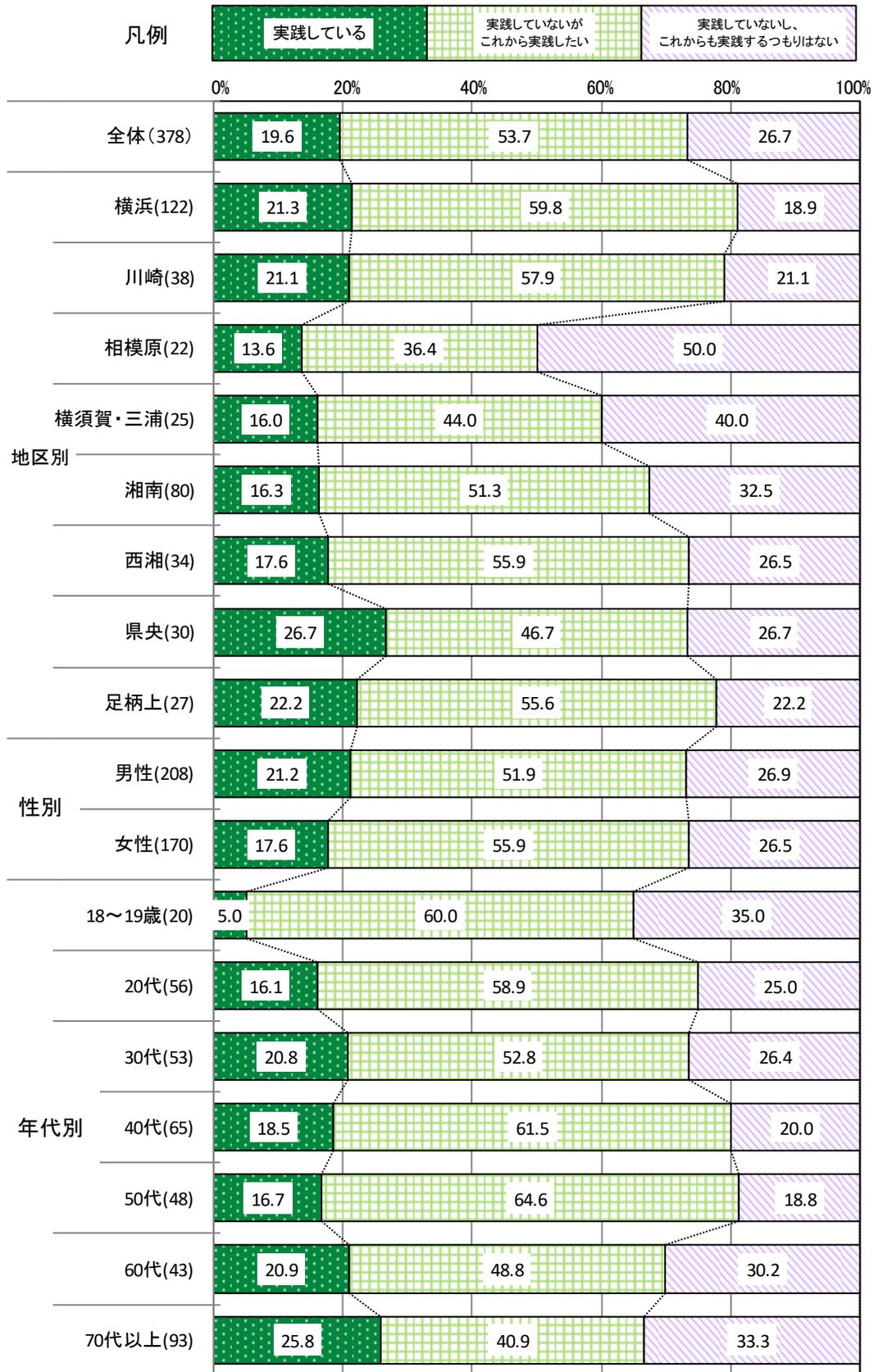
《属性別集計結果》

地区別でみると、「実践していないが、これから実践したい」は、横浜地区(59.8%)が相模原地区(36.4%)に比べて高かった。

性別でみると、統計的に有意な差はなかった。

年代別でみると、「実践していないが、これから実践したい」は、50代(64.6%)が70代以上(40.9%)に比べて高かった。

【図表4-4：「3033（サンマルサンサン）運動」の実践／単一回答】



(5) 「県民スポーツ月間」の認知

問9 「県民スポーツ月間」※について知っていますか。1つだけ選んでください。

※ スポーツの日がある10月を「県民スポーツ月間」として設定し、スポーツに親しむきっかけづくりとして全県的に定着・充実・発展するよう様々な取組をしています。

- ア 「県民スポーツ月間」という言葉、時期、内容について、よく知っている
- イ 「県民スポーツ月間」という言葉は知っている（聞いたことはある）
- ウ 知らない

《全体集計結果》

全員に、「県民スポーツ月間」を知っているかたずねたところ、「「県民スポーツ月間」という言葉は知っている（聞いたことはある）」は10.0%、「知らない」は88.6%であった。また、《認知群（「県民スポーツ月間」という言葉、時期、内容について、よく知っている）＋「「県民スポーツ月間」という言葉は知っている（聞いたことはある）」》は、全体の11.4%であった。

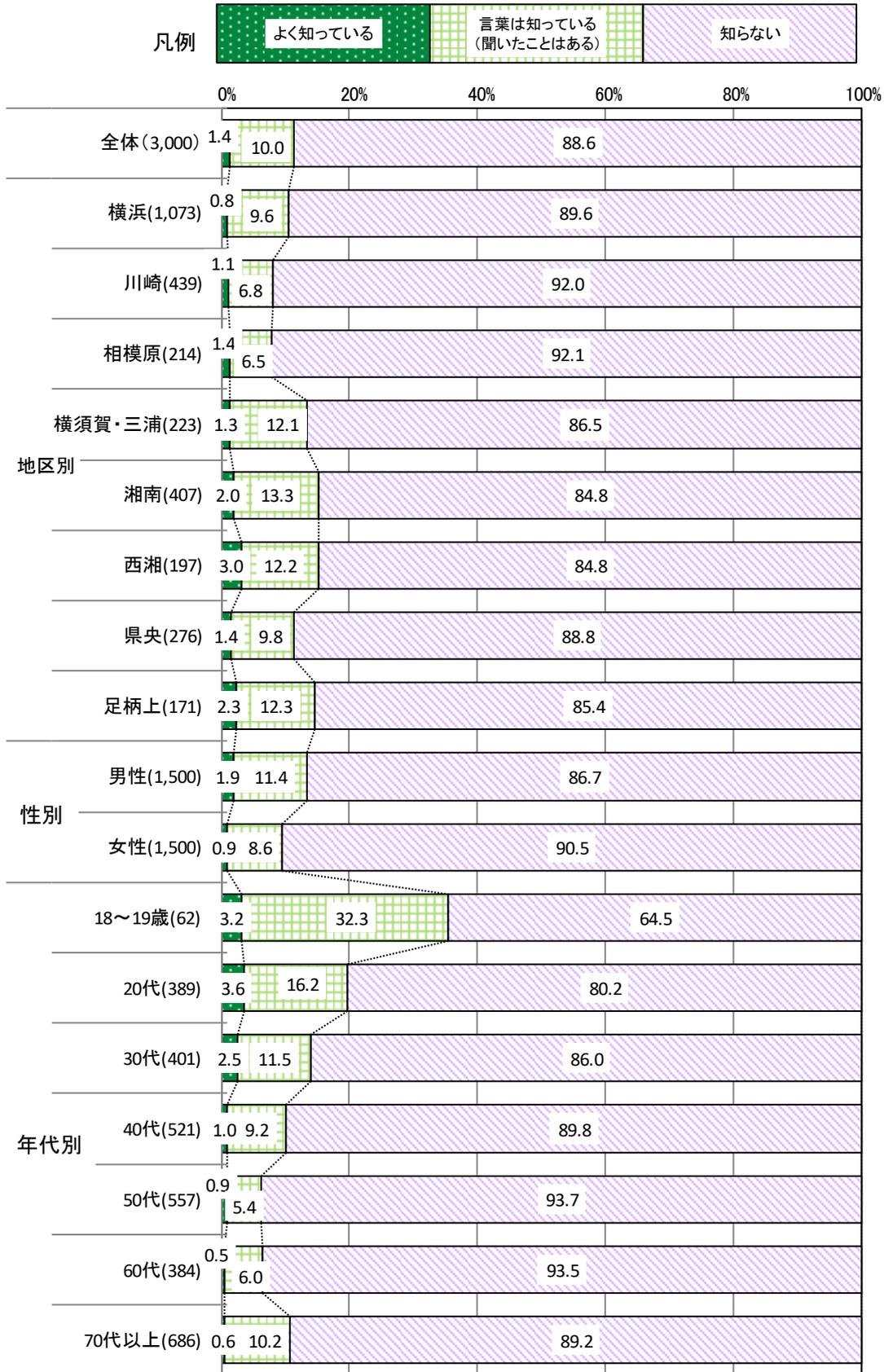
《属性別集計結果》

地区別で見ると、「「県民スポーツ月間」という言葉、時期、内容について、よく知っている」は、西湘地区（3.0%）が横浜地区（0.8%）に比べて高かった。

性別で見ると、《認知群》は、男性（13.3%）が女性（9.5%）に比べて高かった。

年代別で見ると、《認知群》は、18～19歳（35.5%）、20代（19.8%）が30代以上に比べて高かった。

【図表4-5：「県民スポーツ月間」の認知／単一回答】



(6) 運動・スポーツ行事・教室について

ア 県・市町村主催のスポーツ行事参加状況

問10 (1) この1年間に県や市町村が主催するスポーツ行事に参加したことがありますか。
1つだけ選んでください。(行事名または内容を記入してください)

- | | |
|-----------|----------------------|
| ア 参加した | (参加した行事名または内容_____) |
| イ 見に行った | (見に行った行事名または内容_____) |
| ウ 参加しなかった | |

《全体集計結果》

全員に、この1年間の県や市町村が主催するスポーツ行事への参加状況をたずねたところ、《参加・見学群(「参加した」+「見に行った」)》は、2.0%であった。

《属性別集計結果》

地区別でみると、《参加・見学群》は、相模原地区(3.3%)、西湘地区(3.0%)が川崎地区(0.9%)に比べて高かった。

性別でみると、統計的に有意な差はなかった。

年代別でみると、《参加・見学群》は、70代以上(2.7%)が40代(1.0%)に比べて高かった。

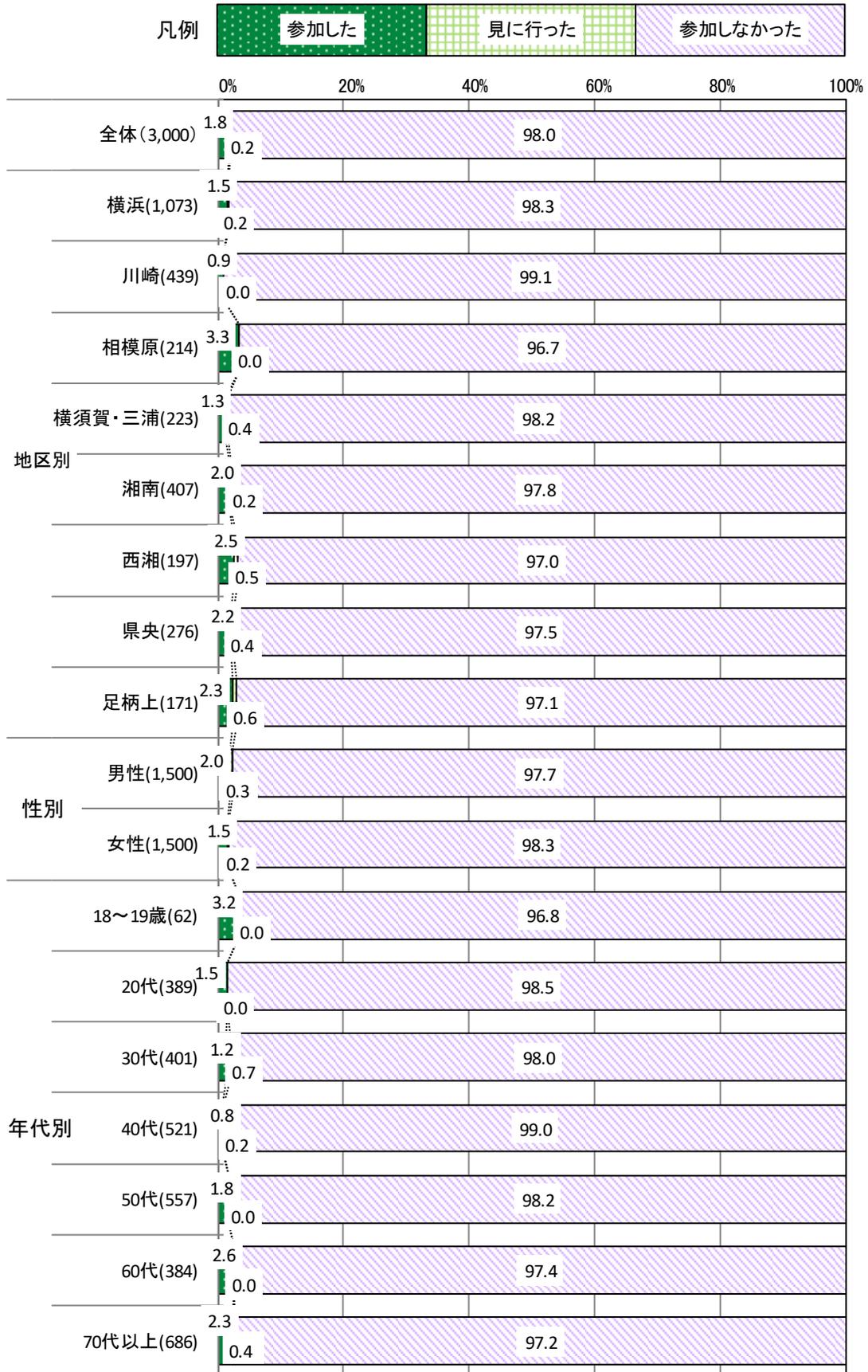
なお、「参加した行事」への回答は、次のとおりであった。(代表的回答例)

- ・ マラソン大会
- ・ 健民祭
- ・ 町内会の運動会
- ・ テニス市民大会
- ・ グランドゴルフ大会

なお、「見に行った行事」への回答は、次のとおりであった。(代表的回答例)

- ・ 箱根駅伝
- ・ スポーツまつり
- ・ 駅伝大会

【図表４－６：県・市町村主催のスポーツ行事参加状況／単一回答】



イ 県・市町村主催のスポーツ教室参加状況

問10（2） この1年間に県や市町村が主催するスポーツ教室に参加したことがありますか。
(参加したスポーツ種目を記入してください)

ア 参加した (参加した種目 _____)
イ 参加しなかった

《全体集計結果》

全員に、この1年間の県や市町村が主催するスポーツ教室への参加状況をたずねたところ、「参加した」は1.5%、「参加しなかった」が98.5%であった。

《属性別集計結果》

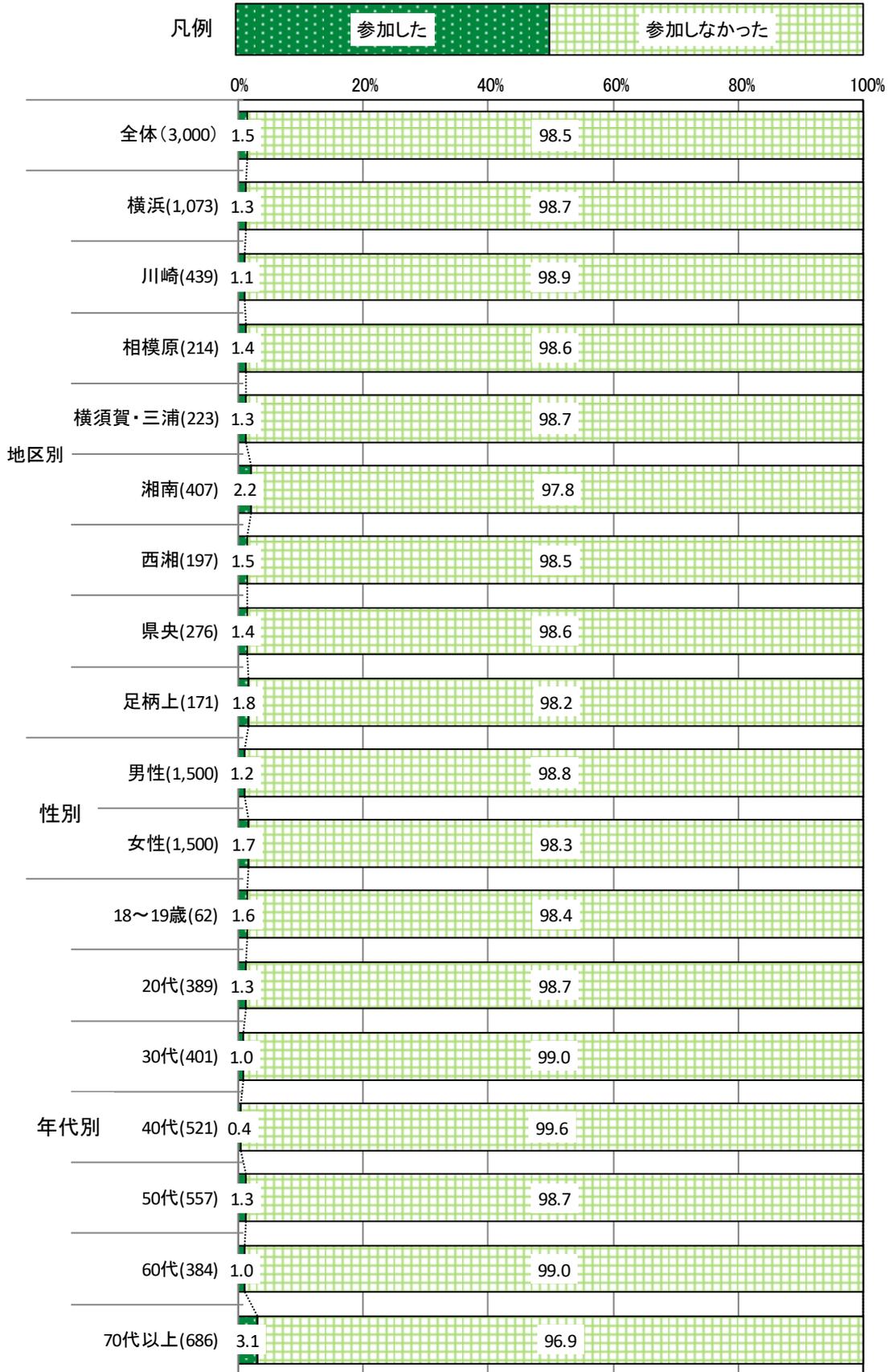
地区別及び性別においては、統計的に有意な差はなかった。

年齢別でみると、「参加した」は、70代以上（3.1%）が30代から60代に比べて高かった。

なお、「参加した種目」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

- ・ 体操
- ・ ヨガ
- ・ 水泳
- ・ ウォーキング
- ・ 陸上

【図表４－７：県・市町村主催のスポーツ教室参加状況／単一回答】



ウ 県・市町村主催のスポーツ行事・教室参加意向

問10（3） スポーツ行事やスポーツ教室に参加したいと思いますか。1つだけ選んでください。（ア、イを選んだ場合はどのようなスポーツ行事や教室に参加したいか記入してください）

- ア ぜひ参加したい →（参加したいスポーツ行事や教室)
- イ できれば参加したい
- ウ あまり参加したくない
- エ 参加するつもりはない

《全体集計結果》

全員に、今後の県や市町村が主催するスポーツ行事やスポーツ教室への参加意向をたずねたところ、《参加したい群（「ぜひ参加したい」+「できれば参加したい」）》が12.9%、《参加したくない群（「あまり参加したくない」+「参加するつもりはない」）》が87.1%であった。

《属性別集計結果》

地区別でみると、「できれば参加したい」は、横浜地区（10.1%）が県央地区（6.2%）に比べて高かった。なお、《参加したい群》と《参加したくない群》には、いずれも統計的に有意な差はなかった。

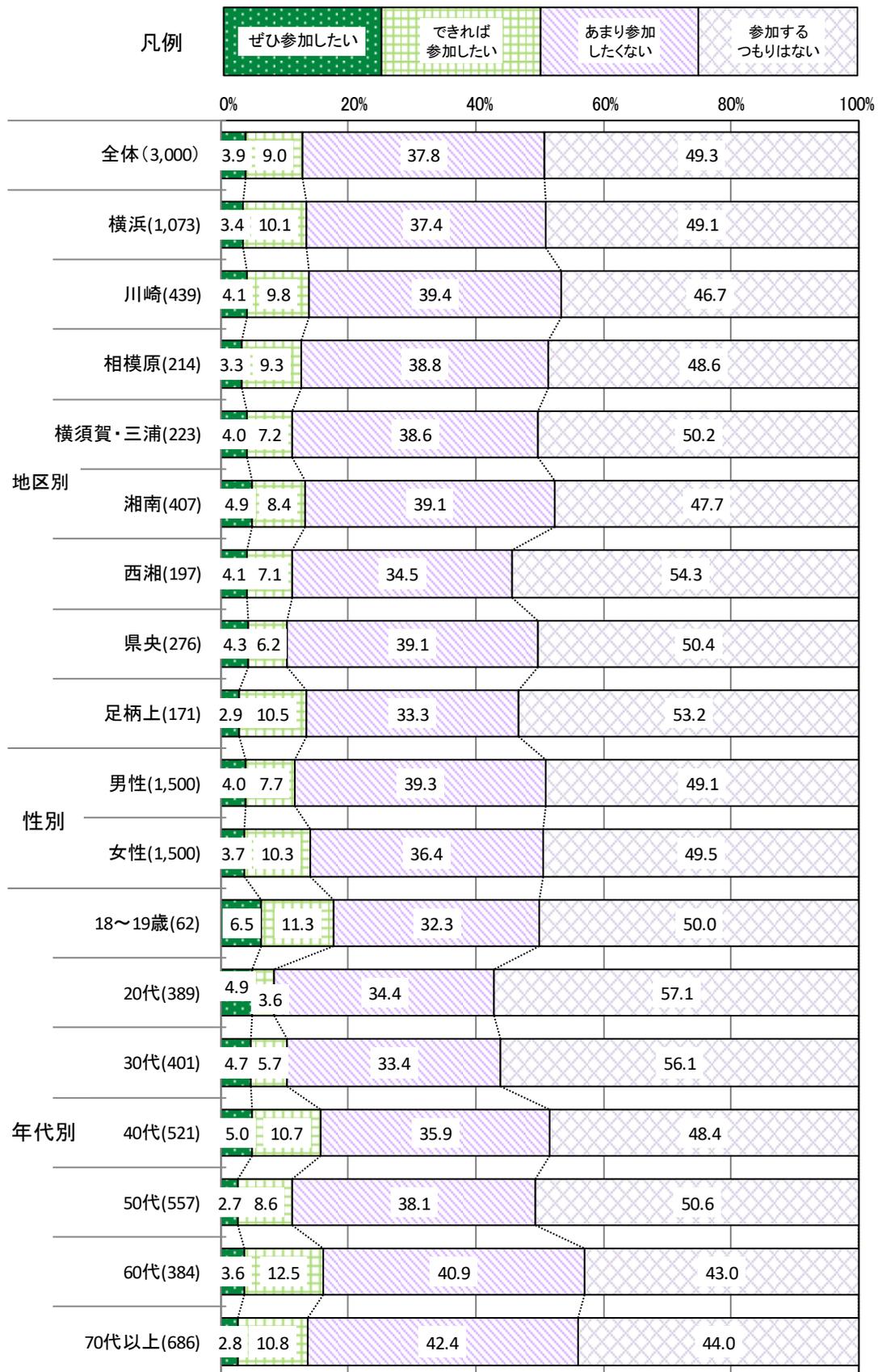
性別でみると、《参加したい群》は、女性（14.1%）が男性（11.7%）に比べて高かった。

年代別でみると、「できれば参加したい」は、60代（12.5%）、70代以上（10.8%）、40代（10.7%）が20代（3.6%）、30代（5.7%）に比べて高かった。

なお、「参加したいスポーツ行事や教室」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

- ・ ヨガ
- ・ ピラティス
- ・ ゴルフ
- ・ バドミントン
- ・ 水泳
- ・ サッカー
- ・ バスケットボール
- ・ 太極拳
- ・ テニス
- ・ 卓球

【図表4-8：県・市町村主催のスポーツ行事・教室参加意向／単一回答】



(7) 神奈川県スポーツ推進にかかる取組について

ア 「神奈川県スポーツ推進条例」の認知

問11 (1) 「神奈川県スポーツ推進条例」について知っていますか。 1つだけ選んでください。

- ア 内容を詳しく知っている
- イ 知っている（聞いたことはある）
- ウ 知らない

《全体集計結果》

全員に、「神奈川県スポーツ推進条例」について知っているかたずねたところ、《知っている群（「内容を詳しく知っている」+「知っている（聞いたことはある）」）》が8.6%、「知らない」が91.4%であった。

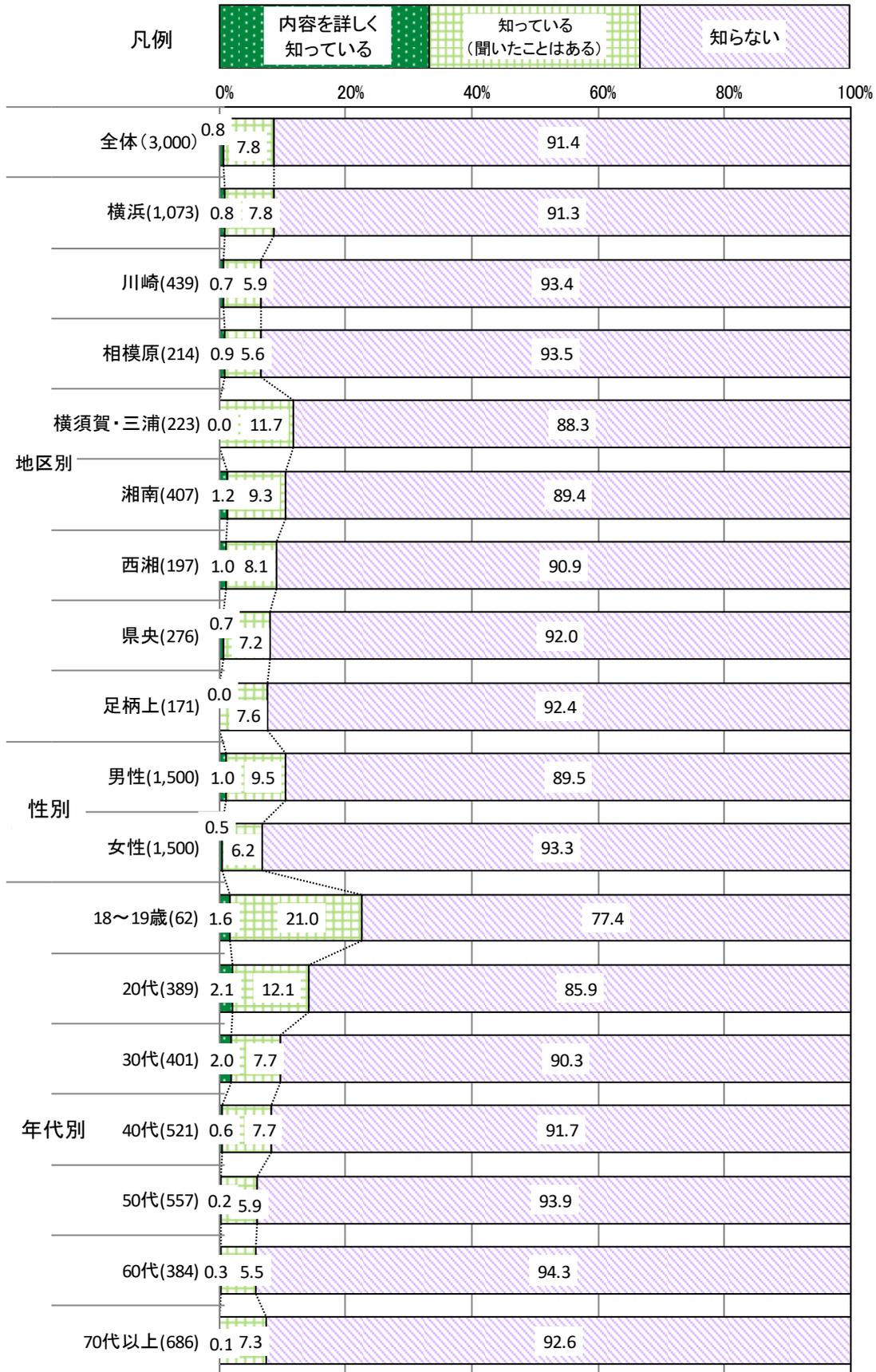
《属性別集計結果》

地区別でみると、《知っている群》は、横須賀・三浦地区（11.7%）、湘南地区（10.5%）が川崎地区（6.6%）に比べて高かった。

性別でみると、《知っている群》は、男性（10.5%）が女性（6.7%）に比べて高かった。

年代別でみると、《知っている群》は、18～19歳（22.6%）が30代以上に比べて高かった。

【図表４－９：「神奈川県スポーツ推進条例」の認知／単一回答】



イ 「神奈川県スポーツ推進計画」の認知

問11 (2) 「神奈川県スポーツ推進計画」について知っていますか。 1つだけ選んでください。

- ア 内容を詳しく知っている
- イ 知っている（聞いたことはある）
- ウ 知らない

《全体集計結果》

全員に、「神奈川県スポーツ推進計画」について知っているかたずねたところ、《知っている群（「内容を詳しく知っている」+「知っている（聞いたことはある）」）》が7.4%、「知らない」が92.6%であった。

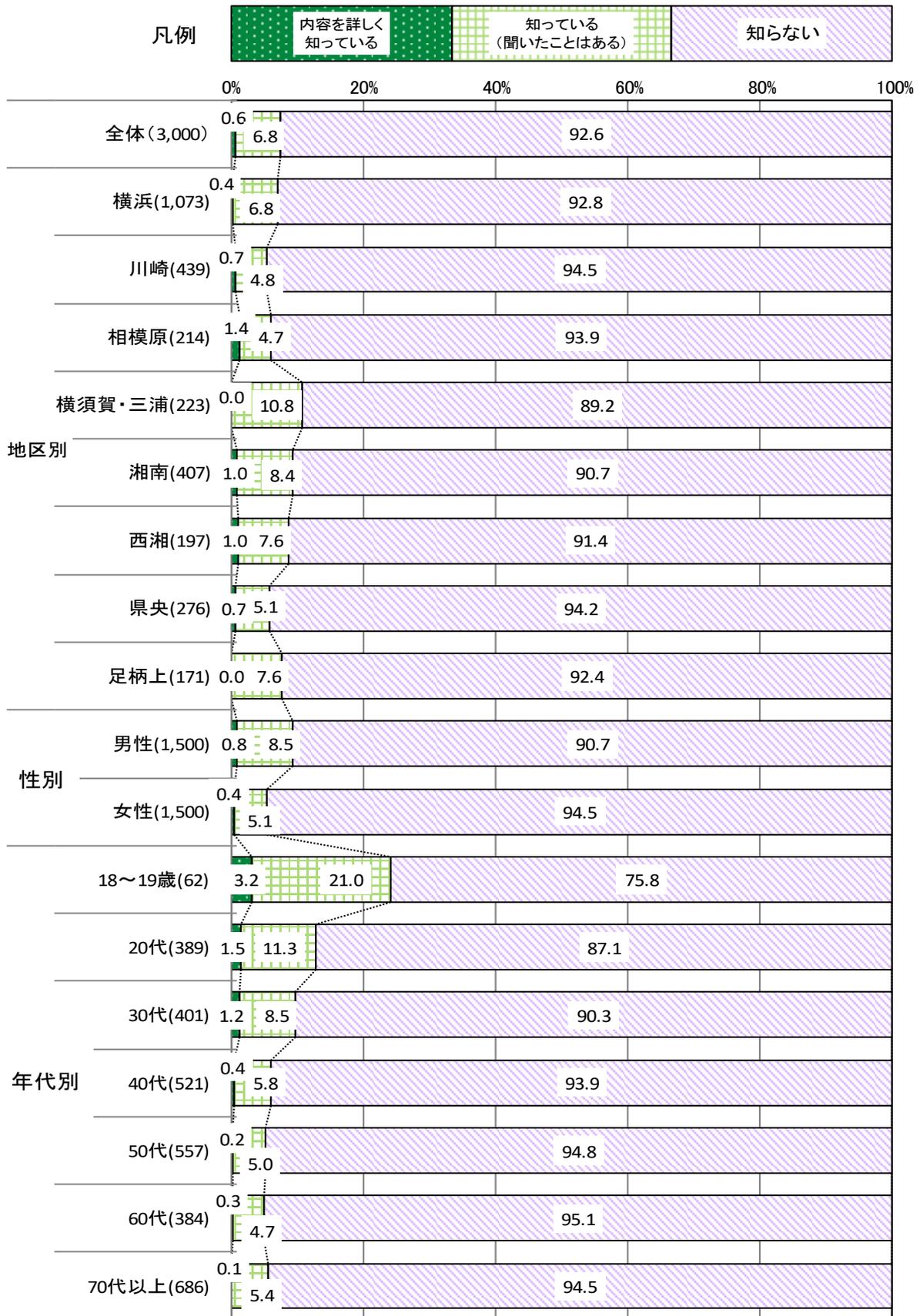
《属性別集計結果》

地区別でみると、《知っている群》は、横須賀・三浦地区（10.8%）が川崎地区（5.5%）、県央地区（5.8%）に比べて高かった。

性別でみると、《知っている群》は、男性（9.3%）が女性（5.5%）に比べて高かった。

年代別でみると、《知っている群》は、18～19歳（24.2%）が最も高く、他の年代を大きく上回った。

【図表4-10：「神奈川県スポーツ推進計画」の認知／単一回答】



ウ 「かながわパラスポーツ」の認知

問11（3） 「かながわパラスポーツ」について知っていますか。 1つだけ選んでください。

※ 「かながわパラスポーツ」とは、関心、目的、体力、年齢、運動機能及び健康状態に応じて県民が生涯にわたり楽しみながらスポーツをする、観る及び支えることをいいます。

- ア 内容を詳しく知っている
- イ 知っている（聞いたことはある）
- ウ 知らない

《全体集計結果》

全員に、「かながわパラスポーツ」について知っているかたずねたところ、《知っている群（「内容を詳しく知っている」+「知っている（聞いたことはある）」）》が10.5%、「知らない」が89.5%であった。

《属性別集計結果》

地区別でみると、《知っている群》は、湘南地区（13.3%）が川崎地区（8.9%）に比べて高かった。

性別でみると、統計的に有意な差はなかった。

年代別でみると、《知っている群》は、18～19歳（19.3%）が50代（6.7%）、60代（8.4%）、40代（10.2%）に比べて高かった。

【図表4-11：「かながわパラスポーツ」の認知／単一回答】



5 スポーツ全般についての意見

(1) 運動・スポーツ関連情報ニーズ

問12 運動やスポーツに関してどのような情報が欲しいですか。3つまで選んでください。

- ア スポーツ行事やスポーツイベントの情報
- イ 自分が参加できるスポーツ競技会の情報
- ウ 高齢者や障害のある方が参加しやすいイベントや教室の情報
- エ 各種スポーツ教室の案内
- オ スポーツ施設の案内
- カ 各種スポーツ指導者の紹介
- キ 新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報
- ク クラブ・同好会などの活動案内
- ケ 健康・体力づくり情報
- コ スポーツに関する医学的・科学的情報
- サ その他 ()
- シ 特になし

《全体集計結果》

全員に、運動やスポーツに関する欲しい情報についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「健康・体力づくり情報」（22.9%）が最も高く、次いで「スポーツ施設の案内」（19.2%）、「スポーツ行事やスポーツイベントの情報」（13.3%）となった。なお、「特になし」は46.9%であった。

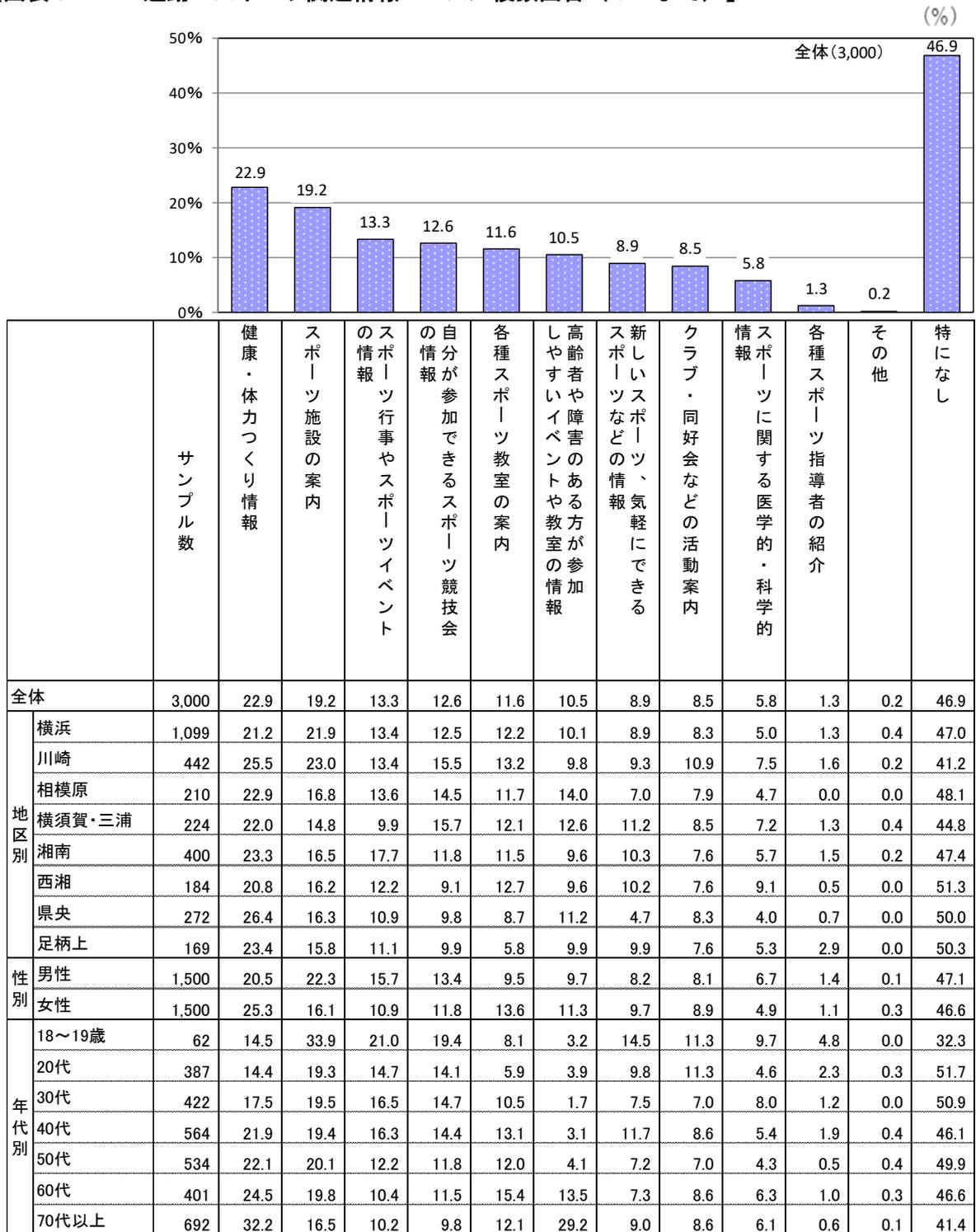
《属性別集計結果》

地区別でみると、「スポーツ行事やスポーツイベントの情報」は、湘南地区（17.7%）が横須賀・三浦地区（9.9%）、県央地区（10.9%）、足柄上地区（11.1%）、横浜地区（13.4%）に比べて高かった。また、「自分が参加できるスポーツ競技会の情報」は、横須賀・三浦地区（15.7%）、川崎地区（15.5%）が西湘地区（9.1%）、県央地区（9.8%）に比べて高かった。

性別でみると、「スポーツ施設の案内」は、男性（22.3%）が女性（16.1%）に比べて高かった。また、「健康・体力づくり情報」は、女性（25.3%）が男性（20.5%）に比べて高かった。

年代別でみると、「スポーツ施設の案内」は、18～19歳（33.9%）が最も高く、他の年代を大きく上回った。また、「高齢者や障害のある方が参加しやすいイベントや教室の情報」は、70代以上（29.2%）が他の年代を大きく上回った。「健康・体力づくり情報」は、70代以上（32.2%）が他の年代に比べて高かった。

【図表5-1：運動・スポーツ関連情報ニーズ／複数回答（3つまで）】



なお、「その他」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

- ・ 子供と一緒に楽しめるスポーツ体験
- ・ 膝と腰に負担がかからない運動の情報
- ・ ストレッチ教室

(2) 運動やスポーツのクラブ・同好会・サークルなどについて

運動やスポーツのクラブ・同好会・サークルなど（以下、「クラブなど」という）についてお答えください。

ア クラブなどへの加入状況

問13(1) クラブなどに加入していますか。

- ア 加入している
- イ 加入していない → 問13(5)へ進む

《全体集計結果》

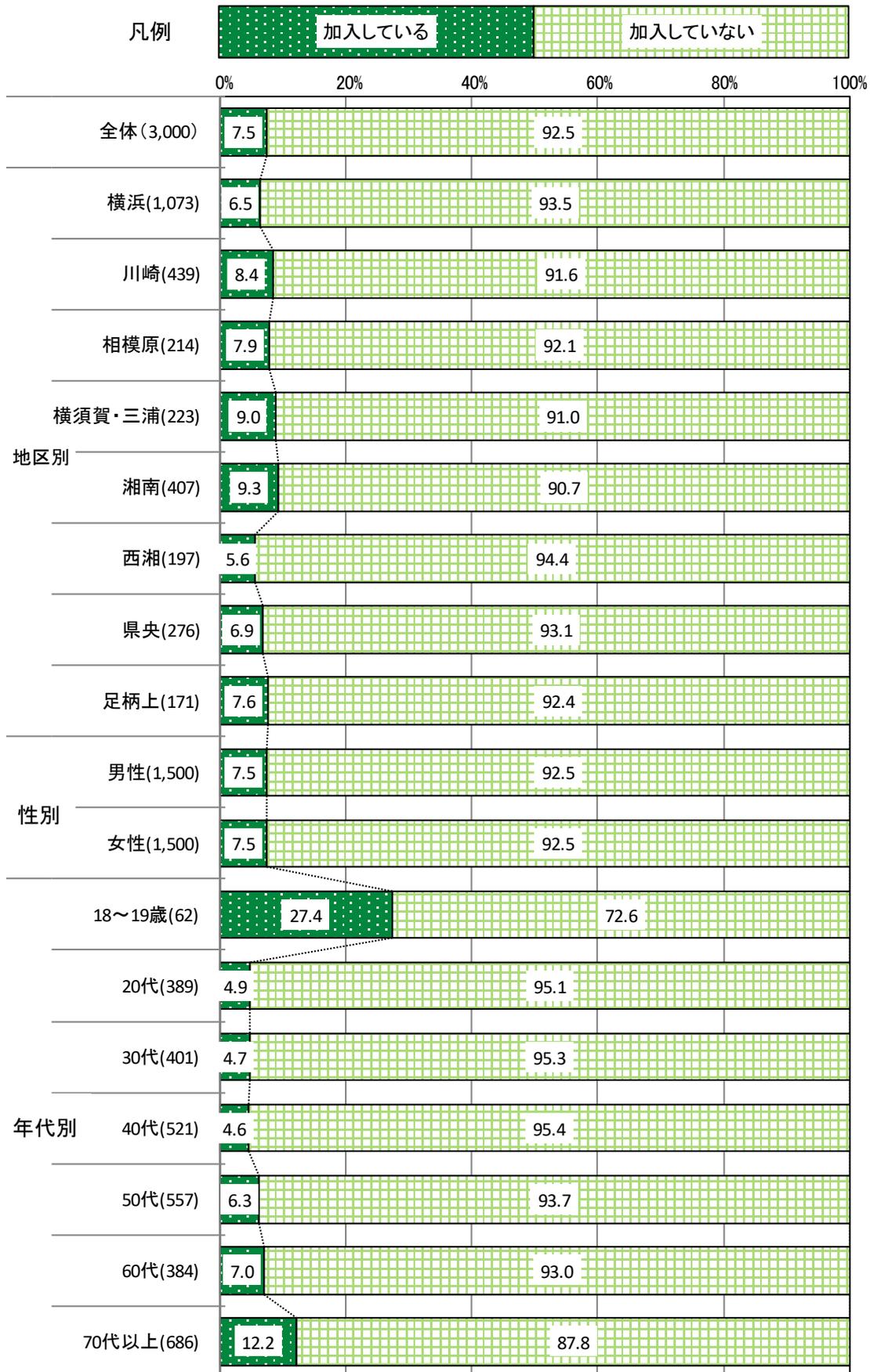
全員に、クラブなどへの加入状況をたずねたところ、「加入している」が7.5%、「加入していない」が92.5%であった。

《属性別集計結果》

地区別及び性別においては、統計的に有意な差はなかった。

年代別でみると、「加入している」は、18～19歳（27.4%）が最も高く、他の年代を大きく上回った。

【図表5-2：クラブなどへの加入状況／単一回答】



イ 加入しているクラブなどの種類

問13（2） 加入しているクラブなどは、どのようなものですか。当てはまるものすべてを選んでください。

- ア 職場のクラブ・同好会
- イ 学校のクラブ・同好会
- ウ 仲間や友達と活動するクラブ・同好会（学校OBやOGなども含む）
- エ 県内の人を対象とした地域クラブ・同好会
- オ 市町村内の人を対象とした地域クラブ・同好会
- カ 総合型地域スポーツクラブ
- キ 民間スポーツ施設の会員制のクラブ
- ク その他

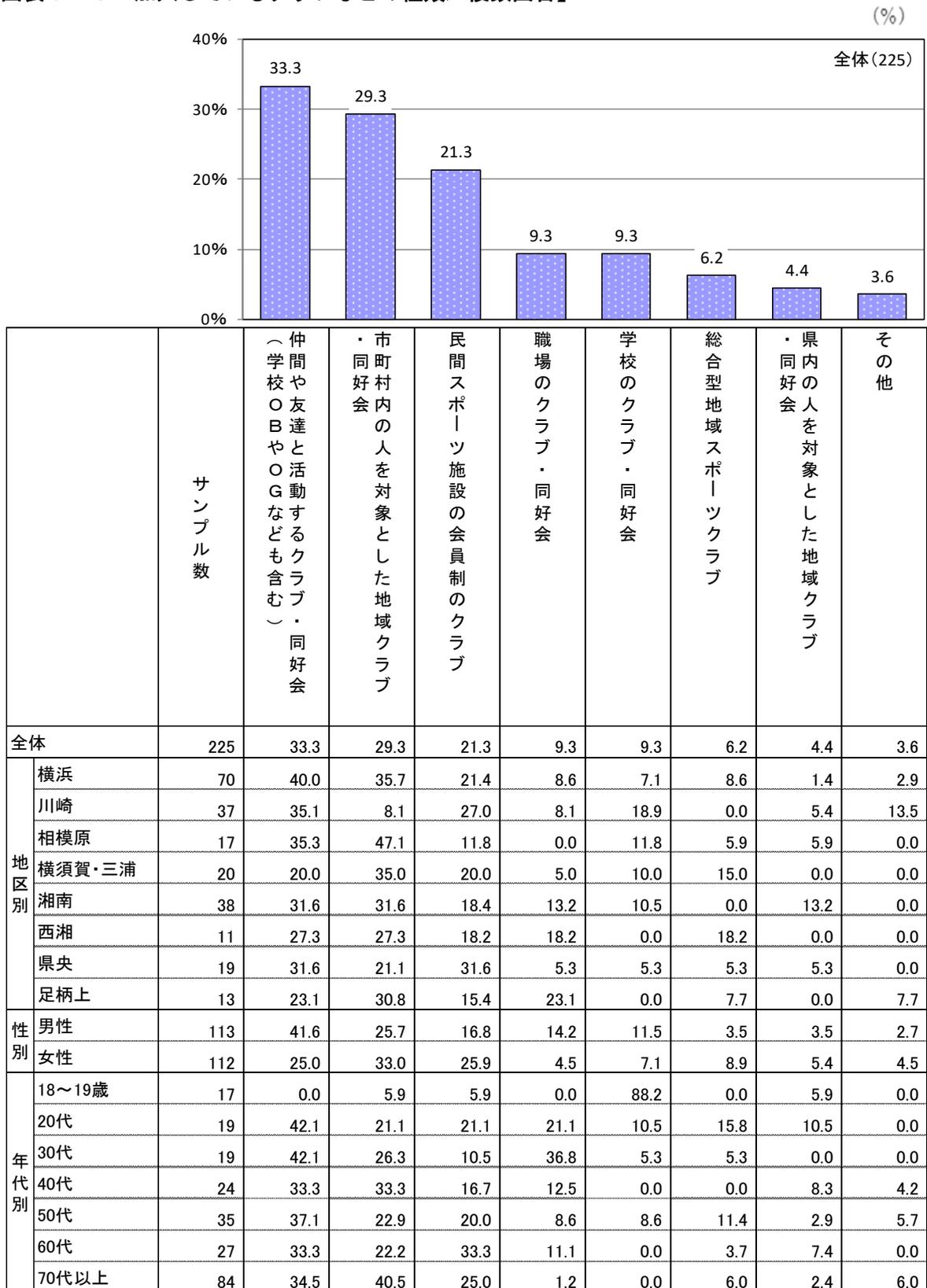
《全体集計結果》

運動やスポーツのクラブなどへ加入していると答えた人（225人）に、加入しているクラブなどの種類についてたずねた（複数回答可）ところ、「仲間や友達と活動するクラブ・同好会（学校OBやOGなども含む）」（33.3%）が最も高く、次いで「市町村内の人を対象とした地域クラブ・同好会」（29.3%）、「民間スポーツ施設の会員制のクラブ」（21.3%）となった。

《属性別集計結果》 回答者数が少ないため、性別のみ記載

性別で見ると、「仲間や友達と活動するクラブ・同好会（学校OBやOGなども含む）」は、男性（41.6%）が女性（25.0%）に比べて高かった。

【図表5-3：加入しているクラブなどの種類／複数回答】



なお、「その他」への回答は、次のとおりであった。(代表的回答例)

- ・ 自治会スポーツクラブ
- ・ 個人的な体操教室
- ・ ママさんバレーボールチーム

ウ クラブなどが行っているスポーツ（種目）

問13（3） クラブなどが行っているスポーツ（種目）は何ですか。（3つまで記入してください。）

《全体集計結果》

運動やスポーツのクラブなどへ加入していると答えた人（225人）に、クラブなどが行っているスポーツ（種目）についてたずねた（3つまで回答可）ところ、「テニス」（22件）が最も多く、次いで「サッカー」（14件）、「ゴルフ」、「バドミントン」、「野球」（いずれも11件）となった。

【参考図表3：クラブなどが行っているスポーツ（種目）／複数回答】

全体(225)

No.	回答内容	件数
1	テニス	22
2	サッカー	14
3	水泳	12
4	ゴルフ	11
5	バドミントン	11
6	野球	11
7	筋肉トレーニング	10
8	バレーボール	9
9	ヨガ	9
10	卓球	9
11	ストレッチ	8
12	ウォーキング	7
13	エアロビクス	7
14	フットサル	7
15	ダンス	6
16	ピラティス	6
17	体操	6
18	ソフトボール	5

なお、その他の主な回答は、次のとおりであった。

- ・ 空手道
- ・ 弓道
- ・ フラダンス
- ・ アーチェリー
- ・ ラグビー

エ クラブなどへの加入動機及び目的

問 13 (4) クラブなどに加入した動機や目的は何ですか。3つまで選んでください。

- | | |
|-------------------|---------------|
| ア 継続してできるから | カ 健康・体力づくりのため |
| イ 場所が優先的に利用できるから | キ スポーツが好きだから |
| ウ 施設用具などが完備しているから | ク 技術を習得できるから |
| エ 指導者がいるから | ケ その他 () |
| オ 親睦のため (仲間との交流) | |

《全体集計結果》

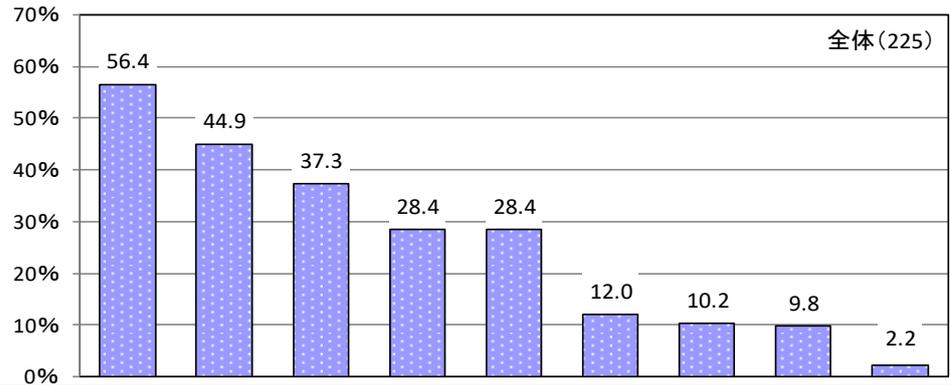
運動やスポーツのクラブなどへ加入していると答えた人 (225人) に、そのクラブなどに加入した動機や目的についてたずねた (3つまで回答可) ところ、「健康・体力づくりのため」 (56.4%) が最も高く、次いで「継続してできるから」 (44.9%)、「親睦のため (仲間との交流)」 (37.3%) となった。

《属性別集計結果》 回答者数が少ないため、性別のみ記載

性別でみると、「継続してできるから」は、男性 (54.9%) が女性 (34.8%) に比べて高かった。「場所が優先的に利用できるから」は、男性 (18.6%) が女性 (5.4%) に比べて高かった。また「健康・体力づくりのため」は、女性 (64.3%) が男性 (48.7%) に比べて高かった。「指導者がいるから」は、女性 (40.2%) が男性 (16.8%) に比べて高かった。

【図表5-4：クラブなどへの加入動機及び目的／複数回答（3つまで）】

(%)



	サンプル数	健康・体力づくりのため	継続してできるから	親睦のため（仲間との交流）	スポーツが好きだから	指導者がいるから	場所が優先的に利用できるから	技術を習得できるから	施設用具などが完備しているから	その他	
全体	225	56.4	44.9	37.3	28.4	28.4	12.0	10.2	9.8	2.2	
地区別	横浜	70	42.9	47.1	35.7	32.9	22.9	17.1	11.4	7.1	1.4
	川崎	37	45.9	45.9	37.8	43.2	29.7	18.9	10.8	10.8	2.7
	相模原	17	64.7	41.2	52.9	11.8	23.5	11.8	11.8	0.0	0.0
	横須賀・三浦	20	60.0	50.0	30.0	30.0	35.0	15.0	10.0	10.0	0.0
	湘南	38	68.4	36.8	39.5	21.1	36.8	5.3	7.9	15.8	5.3
	西湘	11	72.7	45.5	27.3	9.1	36.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	県央	19	73.7	47.4	42.1	26.3	31.6	0.0	10.5	26.3	5.3
	足柄上	13	69.2	46.2	30.8	23.1	15.4	7.7	15.4	0.0	0.0
性別	男性	113	48.7	54.9	36.3	32.7	16.8	18.6	11.5	11.5	2.7
	女性	112	64.3	34.8	38.4	24.1	40.2	5.4	8.9	8.0	1.8
年代別	18～19歳	17	29.4	35.3	52.9	29.4	5.9	17.6	11.8	11.8	5.9
	20代	19	31.6	42.1	42.1	26.3	21.1	10.5	0.0	10.5	0.0
	30代	19	42.1	52.6	21.1	31.6	5.3	21.1	0.0	21.1	5.3
	40代	24	45.8	29.2	37.5	29.2	20.8	8.3	20.8	4.2	4.2
	50代	35	45.7	42.9	42.9	28.6	17.1	17.1	5.7	11.4	2.9
	60代	27	55.6	51.9	40.7	37.0	29.6	7.4	11.1	7.4	0.0
	70代以上	84	78.6	48.8	33.3	25.0	46.4	9.5	13.1	8.3	1.2

なお、「その他」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

- ・ 近いから
- ・ 家族との交流
- ・ 環境が良いため

オ 現非加入者の今後の加入意向

問13（5）好きなクラブなどがあれば加入したいと思いますか。1つだけ選んでください。

- ア ぜひ加入したい
イ できれば加入したい
ウ あまり加入したくない → 問14（1）へ進む
エ 加入するつもりはない

《全体集計結果》

運動やスポーツのクラブなどに「加入していない」と答えた人（2,775人）に、好きな運動やスポーツのクラブなどへの加入意向をたずねたところ、《加入したい群（「ぜひ加入したい」＋「できれば加入したい」）》が19.2%、《加入したくない群（「あまり加入したくない」＋「加入するつもりはない」）》が80.9%であった。

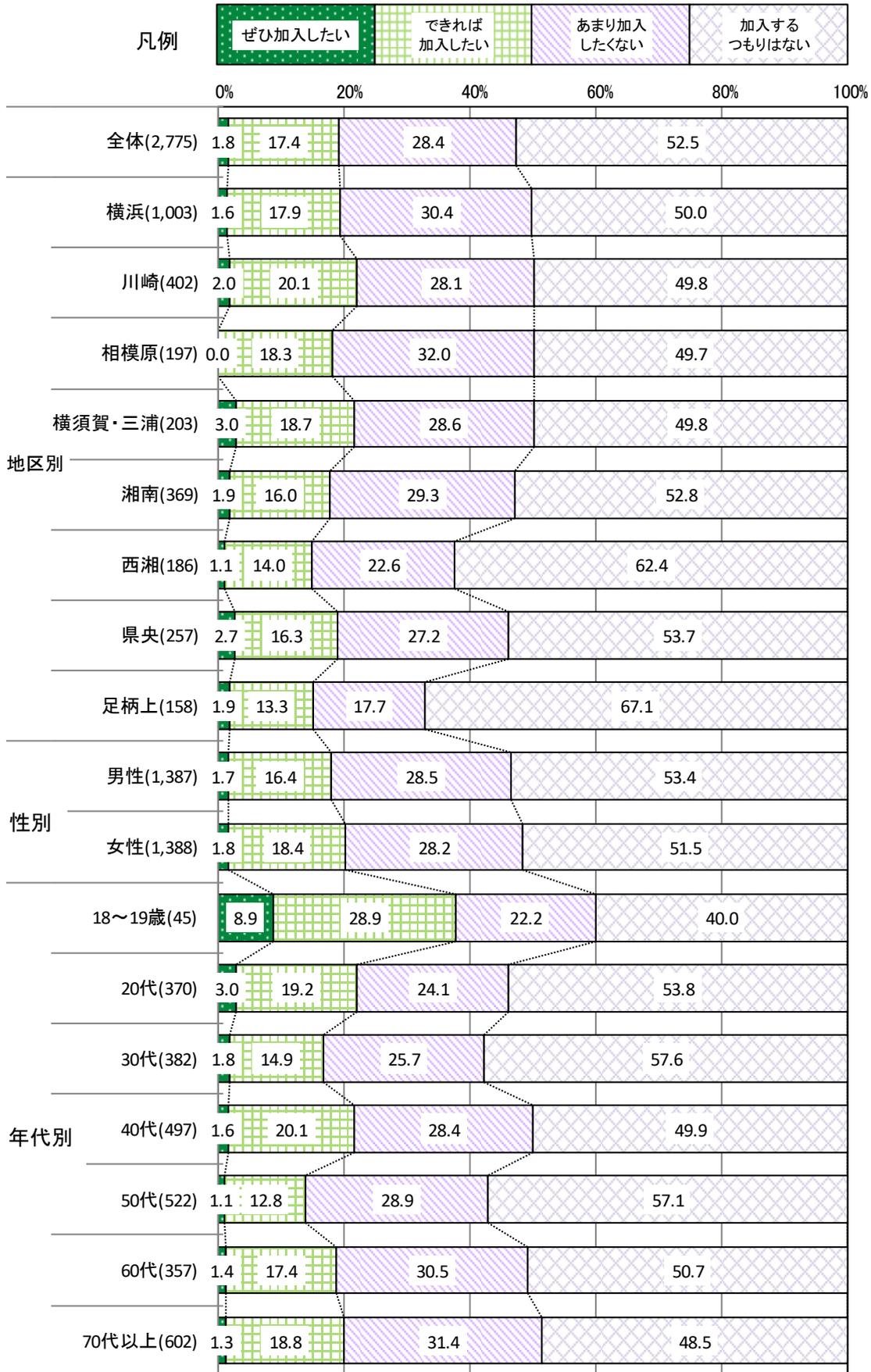
《属性別集計結果》

地区別でみると、《加入したい群》は、川崎地区（22.1%）が西湘地区（15.1%）に比べて高かった。

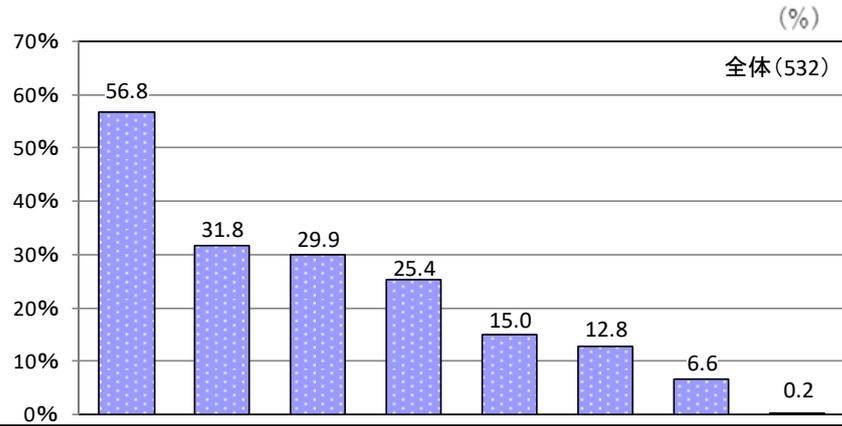
性別でみると、統計的に有意な差はなかった。

年代別でみると、《加入したい群》は、18～19歳（37.8%）が最も高く、他の年代を大きく上回った。

【図表5-5：現非加入者の今後の加入意向／単一回答】



【図表5-6：加入したいクラブなど／複数回答（3つまで）】



	サンプル数	地域・町内の人を対象としたクラブ・同好会	仲間や友達と活動するクラブ (学校OBやOGなども含む)	総合型地域スポーツクラブ	クラブ・人を対象とした地域	クラス・スポーツ施設の会員制のクラブ	職場のクラブ・同好会	学校のクラブ・同好会	その他	
全体	532	56.8	31.8	29.9	25.4	15.0	12.8	6.6	0.2	
地区別	横浜	196	53.1	31.1	30.6	24.5	15.8	11.2	6.1	0.5
	川崎	89	58.4	33.7	29.2	27.0	11.2	18.0	6.7	0.0
	相模原	36	52.8	25.0	36.1	27.8	13.9	13.9	0.0	0.0
	横須賀・三浦	44	65.9	36.4	25.0	22.7	15.9	11.4	11.4	0.0
	湘南	66	57.6	33.3	30.3	24.2	13.6	15.2	6.1	0.0
	西湘	28	57.1	17.9	42.9	32.1	17.9	7.1	10.7	0.0
	県央	49	59.2	34.7	22.4	28.6	16.3	10.2	4.1	0.0
	足柄上	24	62.5	37.5	25.0	16.7	20.8	12.5	12.5	0.0
性別	男性	251	55.8	37.1	26.3	28.3	12.7	17.9	7.6	0.4
	女性	281	57.7	27.0	33.1	22.8	17.1	8.2	5.7	0.0
年代別	18～19歳	17	23.5	35.3	23.5	17.6	5.9	11.8	52.9	0.0
	20代	82	34.1	41.5	20.7	32.9	7.3	28.0	14.6	1.2
	30代	64	43.8	34.4	28.1	29.7	23.4	25.0	6.3	0.0
	40代	108	57.4	38.0	30.6	25.9	13.9	18.5	7.4	0.0
	50代	73	63.0	27.4	31.5	24.7	20.5	8.2	2.7	0.0
	60代	67	67.2	20.9	31.3	16.4	20.9	0.0	0.0	0.0
	70代以上	121	73.6	26.4	35.5	24.0	11.6	0.8	0.0	0.0

なお、「その他」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

- ・ 県外関係なく、オンライン等々で参加できるもの

(3) スポーツ観戦について

ア スポーツ観戦への関心

問14 (1) スポーツ観戦について関心がありますか。

- ア ある
- イ ない

《全体集計結果》

全員に、スポーツ観戦への関心についてたずねたところ、「ある」が54.4%、「ない」は45.6%であった。

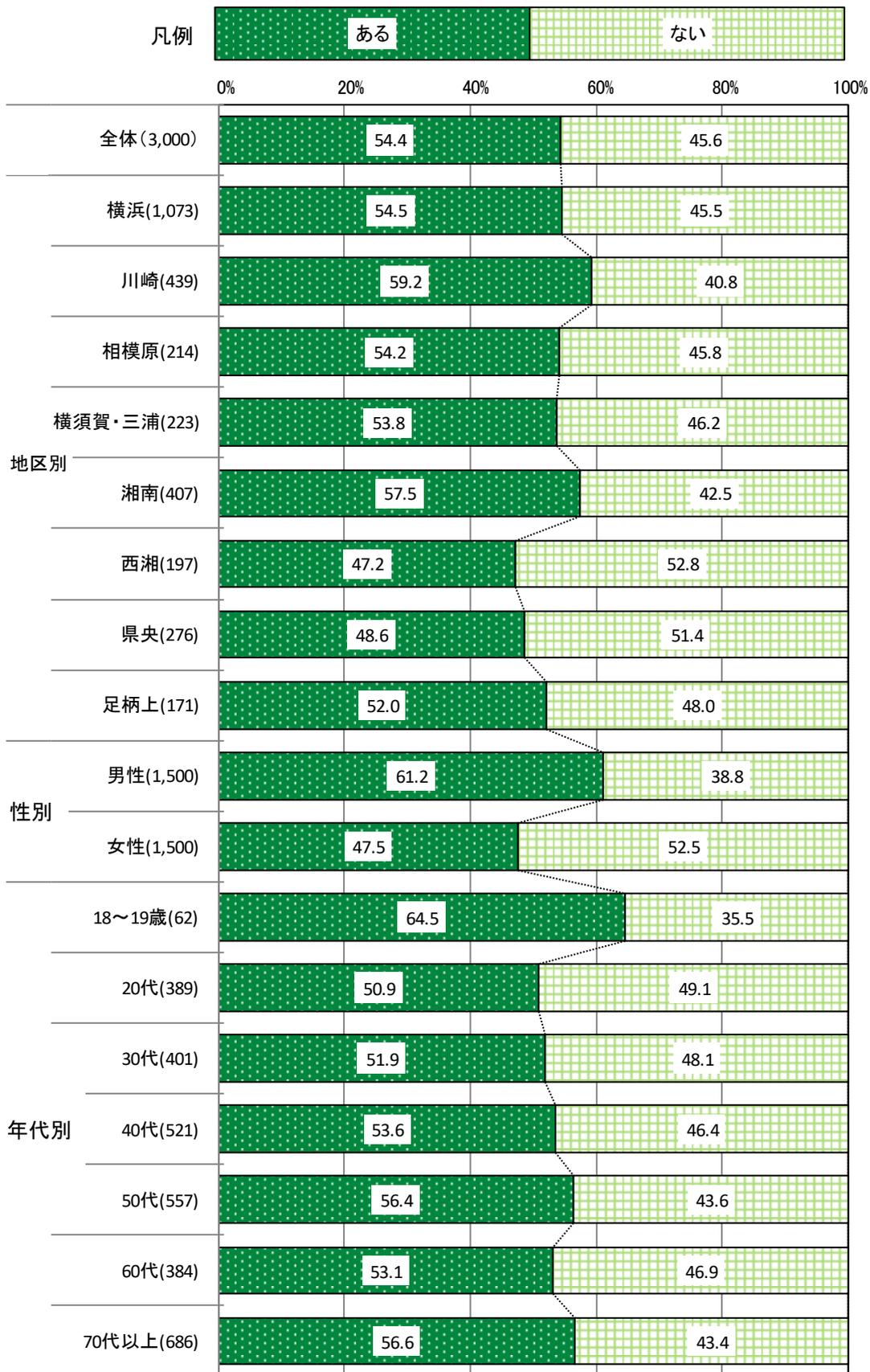
《属性別集計結果》

地区別でみると、「ある」は、川崎地区(59.2%)、湘南地区(57.5%)が西湘地区(47.2%)、県央地区(48.6%)に比べて高かった。

性別でみると、「ある」は、男性(61.2%)が女性(47.5%)に比べて高かった。

年代別でみると、「ある」は、18～19歳(64.5%)が、20代(50.9%)に比べて高かった。

【図表5-7：スポーツ観戦への関心／単一回答】



イ スポーツ観戦経験

問14（2） この1年間で直接会場へ行ってスポーツ観戦をしましたか。

- ア した
- イ していない

《全体集計結果》

スポーツ観戦について関心があると答えた人（1,631人）に、この1年間、直接会場でのスポーツ観戦の経験をたずねたところ、「した」は38.1%、「していない」は61.9%であった。

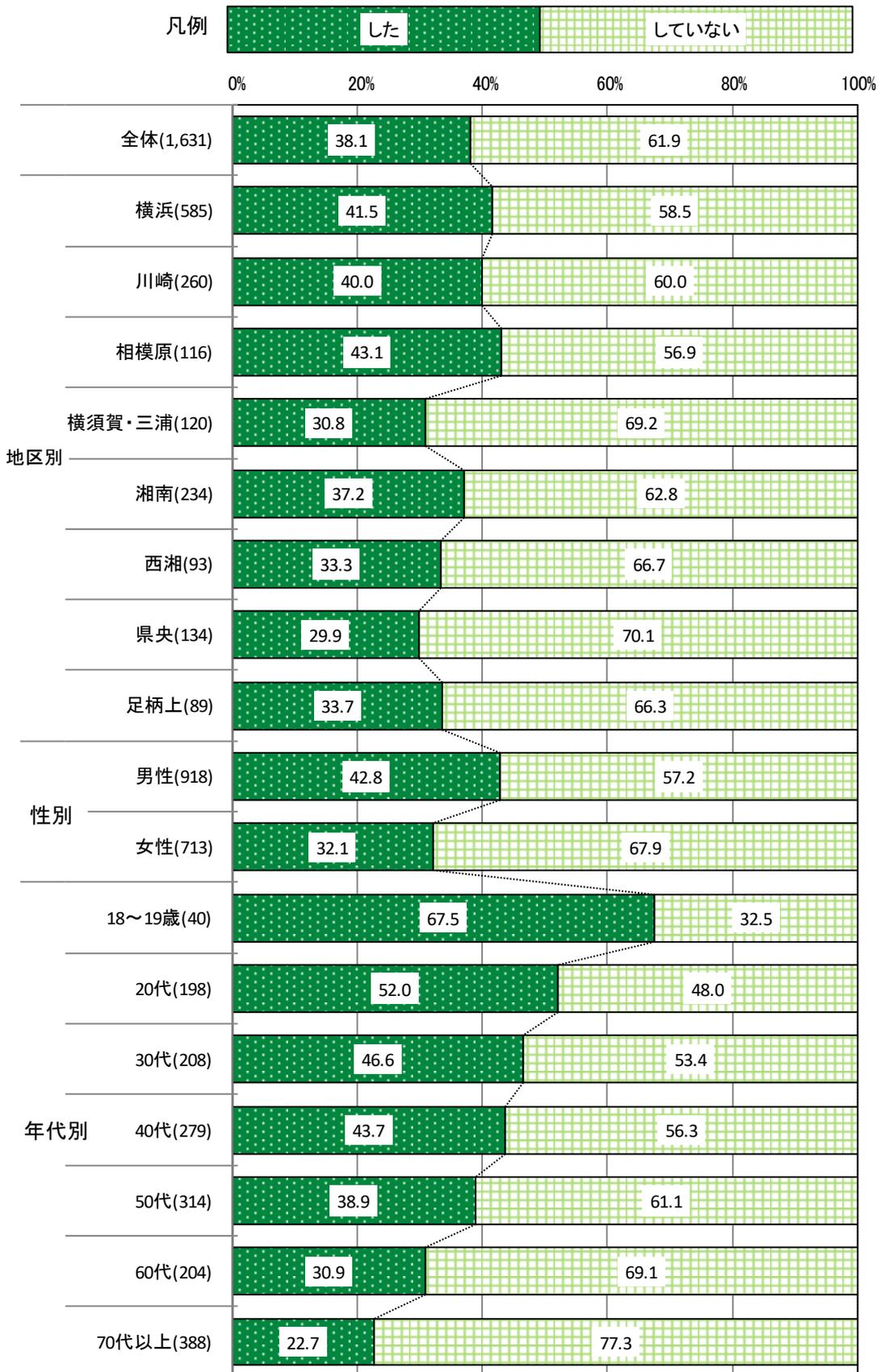
《属性別集計結果》

地区別でみると、「した」は、横浜地区（41.5%）が県央地区（29.9%）、横須賀・三浦地区（30.8%）に比べて高かった。

性別でみると、「した」は、男性（42.8%）が女性（32.1%）に比べて高かった。

年代別でみると、「した」は、18～19歳（67.5%）が最も高く、他の年代を大きく上回った。

【図表5-8：スポーツ観戦経験／単一回答】



ウ 会場で直接観戦をしたいスポーツの規模

問14 (3) 直接会場へ行ってスポーツ観戦をしたら、どのような規模のスポーツ観戦をしたいですか。2つまで選んでください。

- ア オリンピックやパラリンピックなど国際大会
- イ 国内のプロスポーツ
- ウ 全国レベルの大会
- エ 県レベルの大会
- オ その他 ()
- カ 特になし

《全体集計結果》

スポーツ観戦について関心が「ある」と答えた人(1,631人)に、会場で直接観戦をしたいスポーツの規模についてたずねた(2つまで回答可)ところ、「国内のプロスポーツ」(66.6%)が最も高く、次いで「オリンピックやパラリンピックなど国際大会」(36.9%)となった。

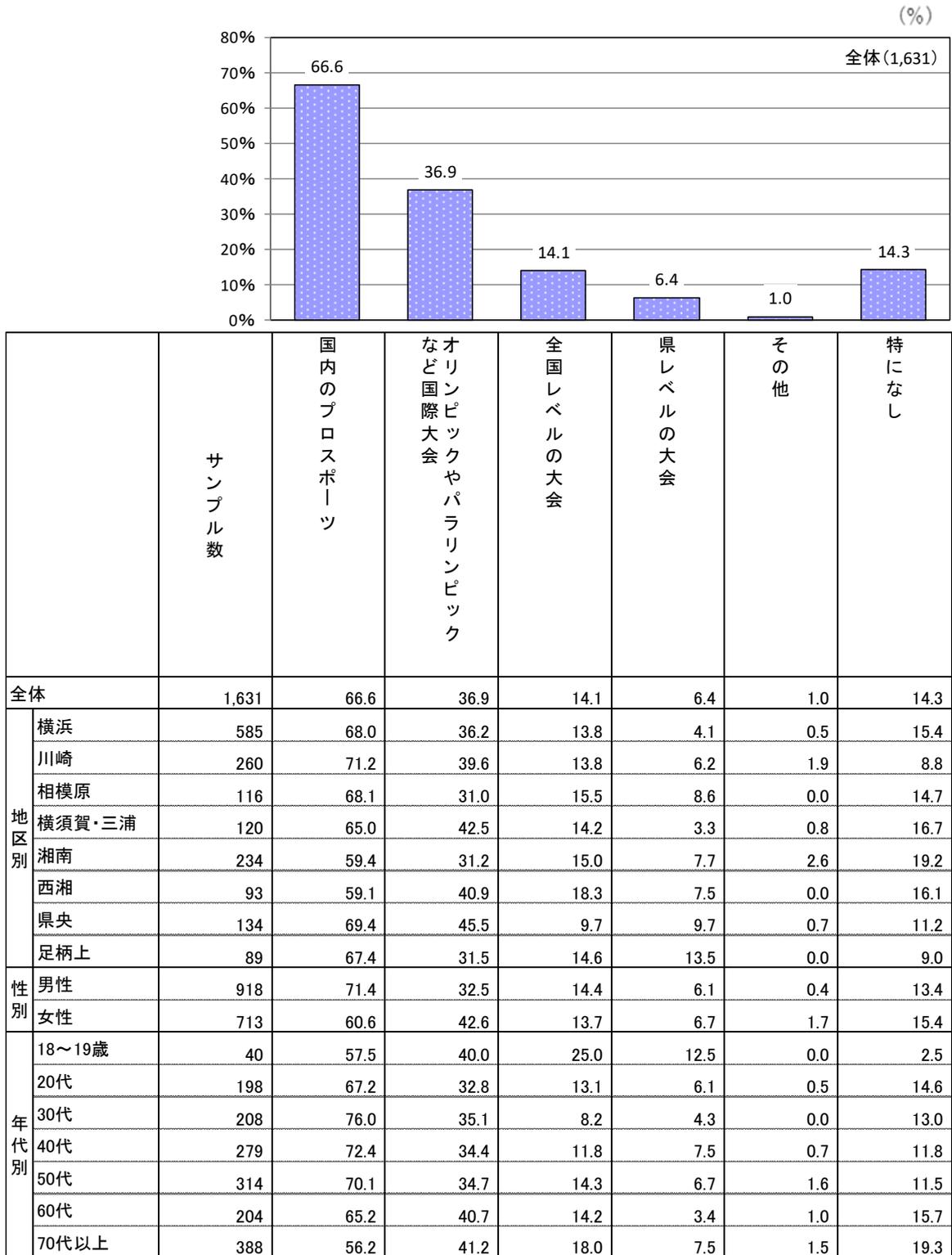
《属性別集計結果》

地区別で見ると、「国内のプロスポーツ」は、川崎地区(71.2%)が西湘地区(59.1%)、湘南地区(59.4%)に比べて高かった。

性別で見ると、「国内のプロスポーツ」は、男性(71.4%)が女性(60.6%)に比べて高く、「オリンピックやパラリンピックなど国際大会」は、女性(42.6%)が男性(32.5%)に比べて高かった。

年代別で見ると、「国内のプロスポーツ」は、30代(76.0%)が70代以上(56.2%)、18~19歳(57.5%)、60代(65.2%)、20代(67.2%)に比べて高かった。

【図表5-9：会場で直接観戦をしたいスポーツの規模／複数回答（2つまで）】



なお、「その他」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

- ・ プロ野球観戦
- ・ 身内の出場するもの
- ・ スノーボードの大会

エ 会場で直接観戦をしたいスポーツの競技

問14(4) 直接会場へ行ってスポーツ観戦をしたら、どのような競技を観戦したいですか。3つまで選んでください。(ア～スの選択数とセ～チの種目名の合計が3つまでになるようにしてください)

ア 陸上競技	シ バasketボール
イ マラソン	ス ラグビー
ウ 水泳競技	セ その他の球技スポーツ (種目名)
エ 柔道、剣道、相撲、空手	ソ アーバンスポーツ※ (種目名)
オ ボクシング、レスリング	タ 障害者スポーツ (パラスポーツ)
カ 弓道、アーチェリー	(種目名)
キ セーリング	チ その他のスポーツ (種目名)
ク 野球、ソフトボール	ツ 特になし
ケ サッカー、フットサル	
コ バレーボール	
サ テニス、卓球、バドミントン	

※ 「アーバンスポーツ」とは、スケートボード、スポーツクライミング、自転車BMX、3×3バスケットボール、ブレイキンなど、広い場所を必要としないなど都市住民が参加しやすい都市型スポーツです。

《全体集計結果》

全員に、会場で直接観戦をしたいスポーツの競技についてたずねた(3つまで回答可)ところ、「野球、ソフトボール」(34.1%)が最も高く、次いで「サッカー、フットサル」(23.4%)、「バレーボール」(12.0%)となった。

《属性別集計結果》

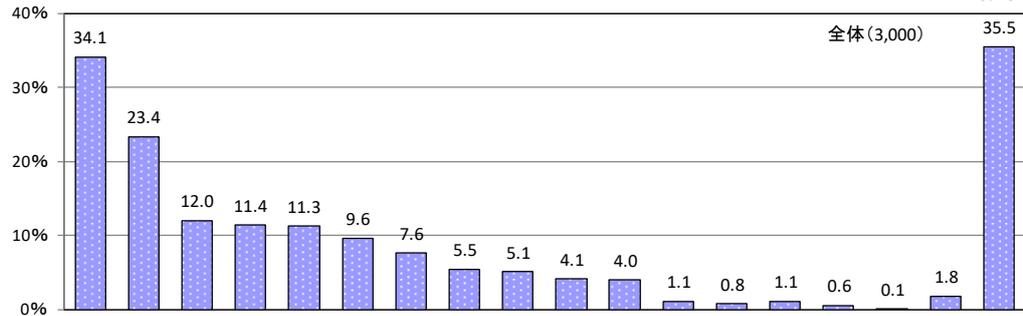
地区別でみると、「サッカー、フットサル」は、川崎地区(29.4%)が横須賀・三浦地区(17.0%)、県央地区、西湘地区(いずれも20.3%)、横浜地区(22.7%)に比べて高かった。

性別でみると、「野球、ソフトボール」は、男性(41.6%)が女性(26.7%)に比べて高かった。「サッカー、フットサル」は、男性(28.5%)が女性(18.2%)に比べて高かった。また、「バレーボール」は、女性(17.1%)が男性(7.0%)に比べて高かった。「テニス、卓球、バドミントン」は、女性(13.1%)が男性(9.6%)に比べて高かった。

年代別でみると、「野球、ソフトボール」は、18～19歳(51.6%)が最も高く、他の年代を大きく上回った。また、「陸上競技」は、70代以上(16.2%)が他の年代に比べて高かった。

【図表5-10：会場で直接観戦をしたいスポーツの競技／複数回答（3つまで）】

(%)



	サンプル数	野球、ソフトボール	サッカー、フットサル	バレーボール	テニス、卓球、バドミントン	バスケットボール	陸上競技	ラグビー	水泳競技	柔道、剣道、相撲、空手	マラソン	ボクシング、レスリング	弓道、アーチェリー	セーリング	その他の球技スポーツ	アーバンスポーツ※	障害者スポーツ（パラスポーツ）	その他のスポーツ	特になし	
全体	3,000	34.1	23.4	12.0	11.4	11.3	9.6	7.6	5.5	5.1	4.1	4.0	1.1	0.8	1.1	0.6	0.1	1.8	35.5	
地区別	横浜	1,073	36.2	22.7	11.6	11.5	10.1	8.8	7.6	5.2	4.8	3.7	4.0	1.0	0.7	1.3	0.4	0.2	1.5	36.5
	川崎	439	37.8	29.4	13.9	12.3	15.9	10.0	8.4	6.6	4.8	3.4	5.0	0.5	0.5	1.1	0.7	0.0	1.4	29.4
	相模原	214	34.1	25.2	11.2	10.7	8.9	11.2	8.9	4.2	7.0	4.7	4.2	1.4	0.5	1.4	0.5	0.0	1.4	34.6
	横須賀・三浦	223	35.4	17.0	11.7	10.8	10.3	8.1	8.1	7.2	6.3	6.3	4.5	1.8	1.8	0.0	0.9	0.0	2.2	35.4
	湘南	407	31.2	23.8	12.5	11.1	10.8	10.3	7.4	5.7	5.2	3.9	4.7	2.2	1.0	1.0	1.5	0.0	2.9	34.4
	西湘	197	31.0	20.3	12.2	10.7	8.6	9.1	6.1	4.1	5.6	3.6	3.0	1.5	2.0	0.5	0.5	0.0	2.5	39.1
	県央	276	28.6	20.3	9.4	13.8	14.1	11.2	7.6	7.6	3.6	4.7	2.9	0.0	0.4	1.1	0.0	0.0	2.5	37.7
	足柄上	171	29.8	25.1	14.0	7.6	11.1	10.5	5.8	1.2	4.7	5.3	2.3	1.2	0.0	2.3	0.0	0.6	0.0	41.5
性別	男性	1,500	41.6	28.5	7.0	9.6	11.3	9.1	10.7	4.3	5.3	4.4	5.7	1.4	0.8	1.7	0.5	0.0	2.0	29.9
	女性	1,500	26.7	18.2	17.1	13.1	11.3	10.2	4.6	6.7	4.8	3.9	2.3	0.9	0.7	0.5	0.6	0.2	1.6	41.1
年代別	18～19歳	62	51.6	24.2	11.3	11.3	8.1	9.7	3.2	6.5	8.1	4.8	3.2	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	21.0
	20代	389	30.3	20.8	12.1	9.8	10.3	7.5	1.8	4.1	3.6	3.1	3.1	2.1	0.5	0.5	0.8	0.5	0.5	39.1
	30代	401	37.7	27.2	12.2	12.0	18.7	5.5	3.2	4.5	3.5	3.2	3.7	1.5	0.7	0.5	0.7	0.0	1.0	32.4
	40代	521	29.0	26.3	10.4	8.4	15.0	7.5	7.3	5.2	5.2	3.8	5.8	1.5	1.5	0.6	0.2	0.0	1.9	36.9
	50代	557	40.9	25.1	11.8	8.4	9.5	7.4	9.9	3.2	4.7	3.8	5.7	0.2	0.5	1.8	0.7	0.2	3.2	33.9
	60代	384	36.2	20.6	11.7	11.7	9.4	10.7	9.9	4.7	5.5	3.4	3.6	0.5	1.0	2.3	1.0	0.0	3.4	36.5
	70代以上	686	29.9	20.4	13.6	16.3	7.6	16.2	11.1	9.2	6.6	6.1	2.3	0.9	0.4	1.2	0.3	0.0	0.9	36.4

なお、「その他の球技スポーツ（種目名）」、「その他のスポーツ（種目名）」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

「その他の球技スポーツ（種目名）」

- ・ ゴルフ
- ・ アメリカンフットボール
- ・ ホッケー

「その他のスポーツ（種目名）」

- ・ ブレイキン
- ・ スケートボード
- ・ サーフィン

オ テレビやインターネットなどでのスポーツ観戦経験

問14（5） この1年間でテレビやインターネットなどでスポーツ観戦をしましたか。

- ア した
- イ していない

《全体集計結果》

全員に、この1年間でテレビやインターネットなどでスポーツ観戦をしたかどうかたずねたところ、「した」が65.6%、「していない」が34.4%であった。

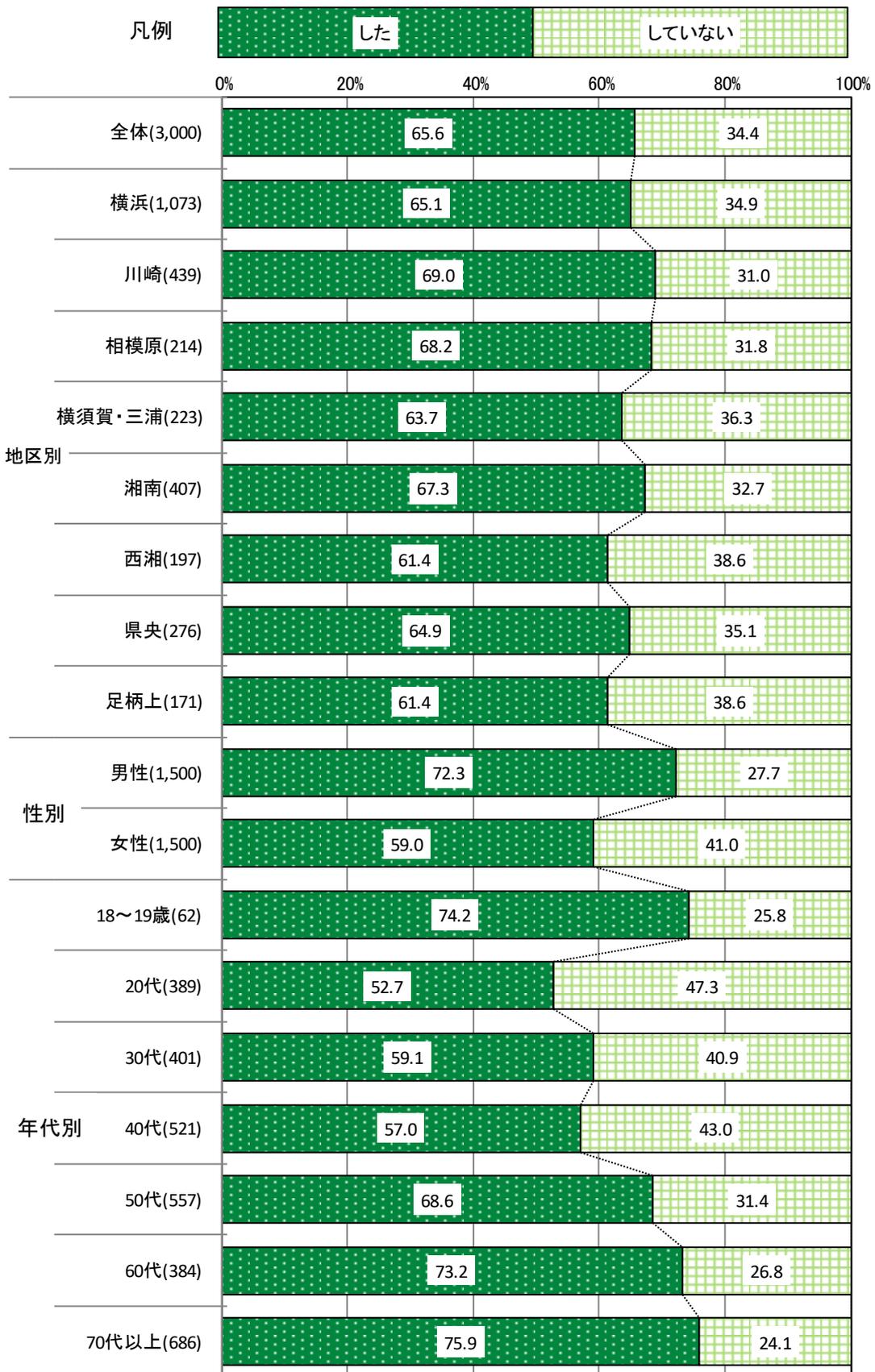
《属性別集計結果》

地区別で見ると、統計的に有意な差はなかった。

性別で見ると、「した」は、男性（72.3%）が女性（59.0%）に比べて高かった。

年代別で見ると、「した」は、70代以上（75.9%）が20代から50代に比べて高かった。

【図表5-11：テレビやインターネットなどでのスポーツ観戦経験／単一回答】



カ テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの規模

問14 (6) テレビやインターネットなどでスポーツ観戦をしたら、どのような規模のスポーツ観戦をしたいですか。2つまで選んでください。

- ア オリンピックやパラリンピックなど国際大会
- イ 国内のプロスポーツ
- ウ 全国レベルの大会
- エ 県レベルの大会
- オ その他 ()
- カ 特になし

《全体集計結果》

全員に、テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの規模についてたずねた（2つまで回答可）ところ、「オリンピックやパラリンピックなど国際大会」（53.0%）が最も高く、次いで「国内のプロスポーツ」（48.3%）となった。

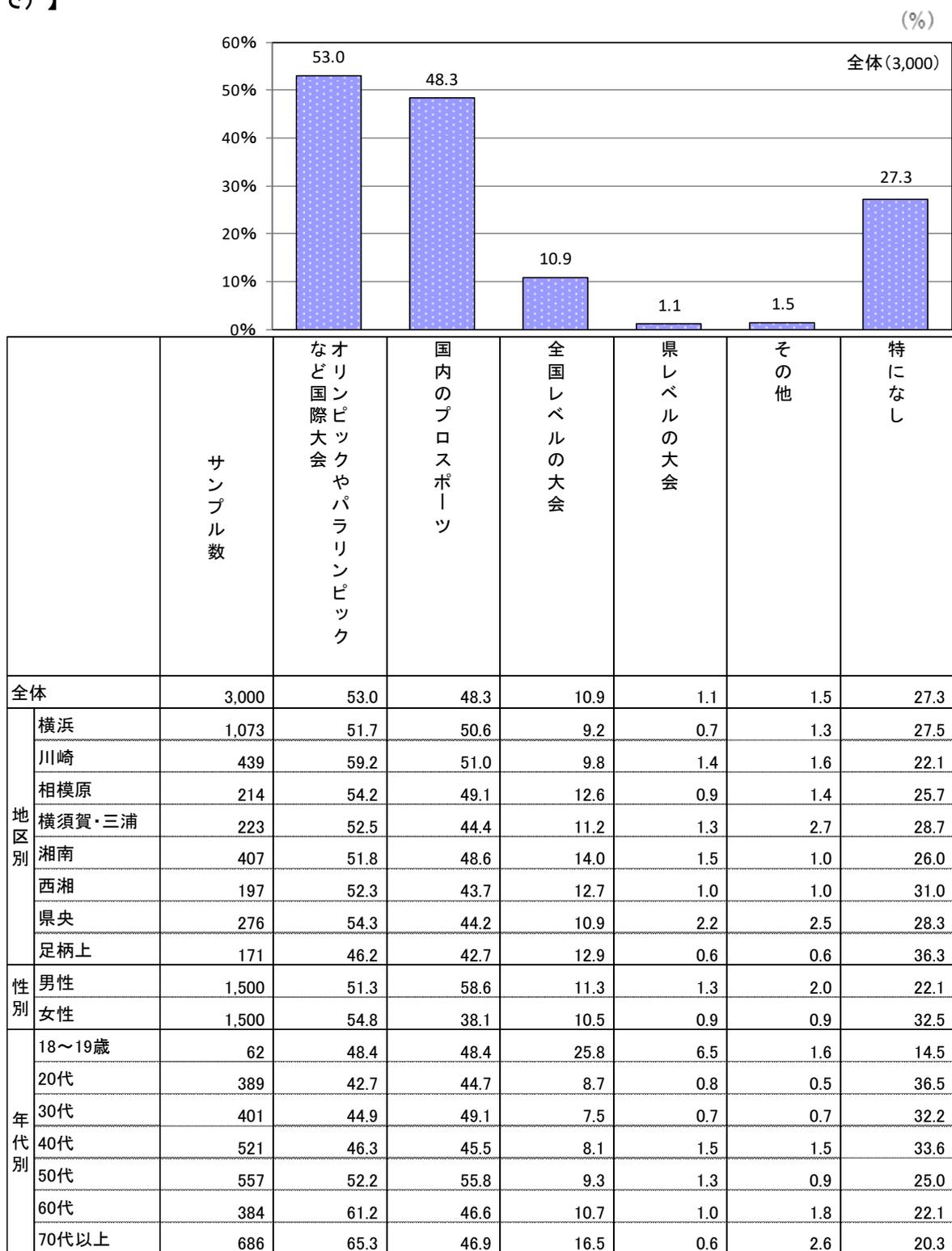
《属性別集計結果》

地区別でみると、「オリンピックやパラリンピックなど国際大会」は、川崎地区（59.2%）が足柄上地区（46.2%）、横浜地区（51.7%）、湘南地区（51.8%）に比べて高かった。また、「全国レベルの大会」は、湘南地区（14.0%）が横浜地区（9.2%）に比べて高かった。

性別でみると、「国内のプロスポーツ」は、男性（58.6%）が女性（38.1%）に比べて高かった。

年代別でみると、「オリンピックやパラリンピックなど国際大会」は、70代以上（65.3%）が50代以下に比べて高かった。また、「全国レベルの大会」では、18～19歳（25.8%）、70代以上（16.5%）が20代から60代に比べて高かった。

【図表5-12：テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの規模/複数回答（2つまで）】



なお、「その他」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

- ・ メジャーリーグ
- ・ ワールドカップ

キ テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの競技

問14 (7) テレビやインターネットなどでスポーツ観戦をしたら、どのような競技を観戦したいですか。3つまで選んでください。(ア～スの選択数とセ～チの種目名の合計が3つまでになるようにしてください)

ア 陸上競技	シ バスケットボール
イ マラソン	ス ラグビー
ウ 水泳競技	セ その他の球技スポーツ (種目名)
エ 柔道、剣道、相撲、空手	ソ アーバンスポーツ※ (種目名)
オ ボクシング、レスリング	タ 障害者スポーツ (パラスポーツ) (種目名)
カ 弓道、アーチェリー	チ その他のスポーツ (種目名)
キ セーリング	ツ 特になし
ク 野球、ソフトボール	
ケ サッカー、フットサル	
コ バレーボール	
サ テニス、卓球、バドミントン	

※ 「アーバンスポーツ」とは、スケートボード、スポーツクライミング、自転車BMX、3×3バスケットボール、ブレイキンなど、広い場所を必要としないなど都市住民が参加しやすい都市型スポーツです。

《全体集計結果》

全員に、テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの競技についてたずねた(3つまで回答可)ところ、「野球、ソフトボール」(38.7%)が最も高く、次いで「サッカー、フットサル」(28.9%)、「陸上競技」(15.7%)となった。

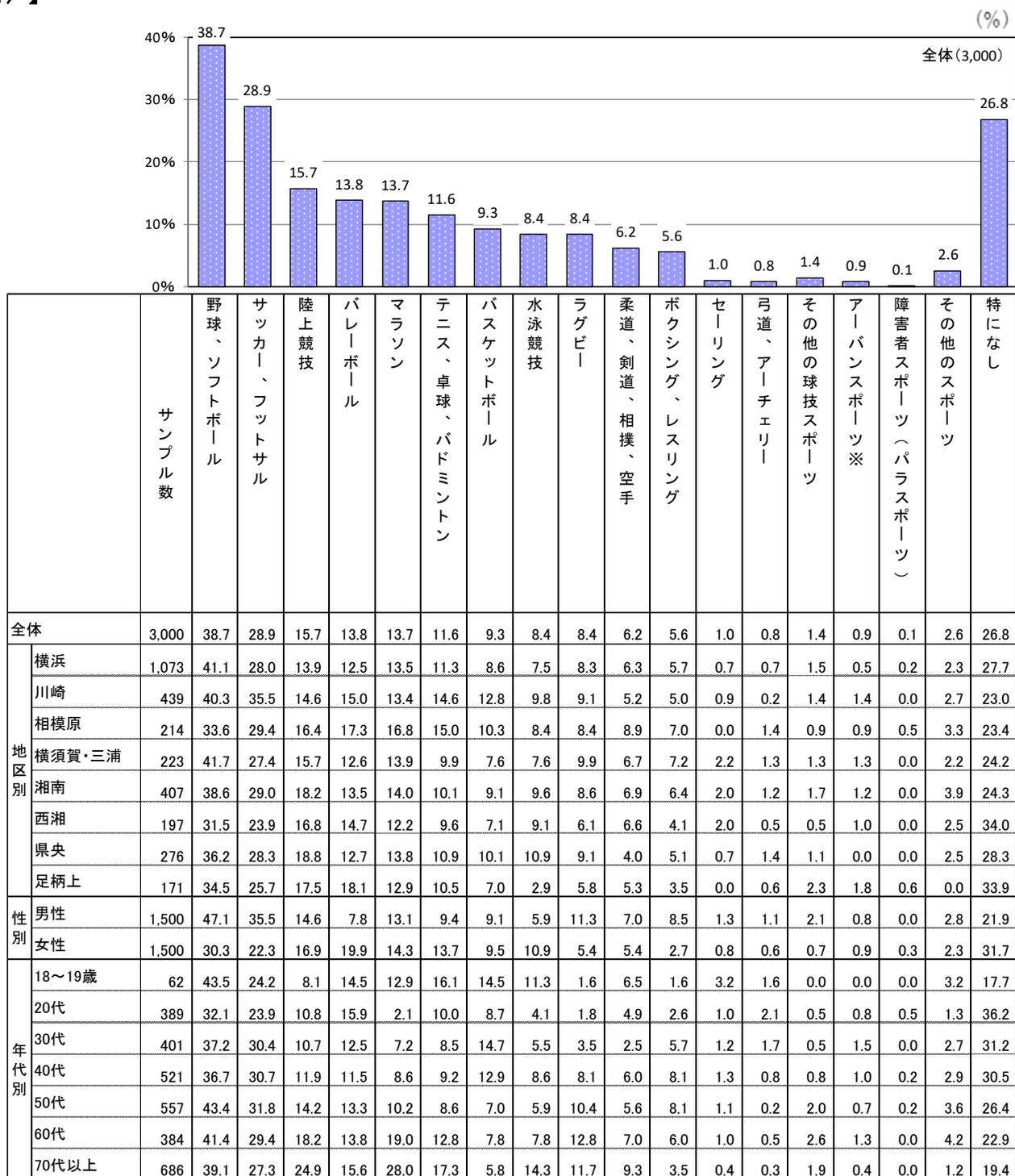
《属性別集計結果》

地区別で見ると、「野球、ソフトボール」は、横浜地区(41.1%)が西湘地区(31.5%)、相模原地区(33.6%)に比べて高かった。また、「サッカー、フットサル」は、川崎地区(35.5%)が相模原地区を除く各地区に比べて高かった。

性別で見ると、「野球、ソフトボール」は、男性(47.1%)が女性(30.3%)に比べて高かった。「サッカー、フットサル」は、男性(35.5%)が女性(22.3%)に比べて高かった。また、「バレーボール」は、女性(19.9%)が男性(7.8%)に比べて高かった。

年代別で見ると、「マラソン」(28.0%)、「陸上競技」(24.9%)は、70代以上が他の年代に比べて高かった。

【図表5-13：テレビやインターネットなどで観戦をしたいスポーツの競技／複数回答（3つまで）】



なお、「その他」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

- ・ ゴルフ
- ・ カーリング
- ・ アメリカンフットボール

(4) スポーツに関するボランティア活動について

ア スポーツに関するボランティア活動への関心

問15 (1) スポーツの指導や、イベントへの協力などスポーツに関するボランティア活動について関心がありますか。

- ア 関心がある
- イ 関心がない

《全体集計結果》

全員に、スポーツに関するボランティア活動についての関心をたずねたところ、「関心がある」は18.6%、「関心がない」は81.4%であった。

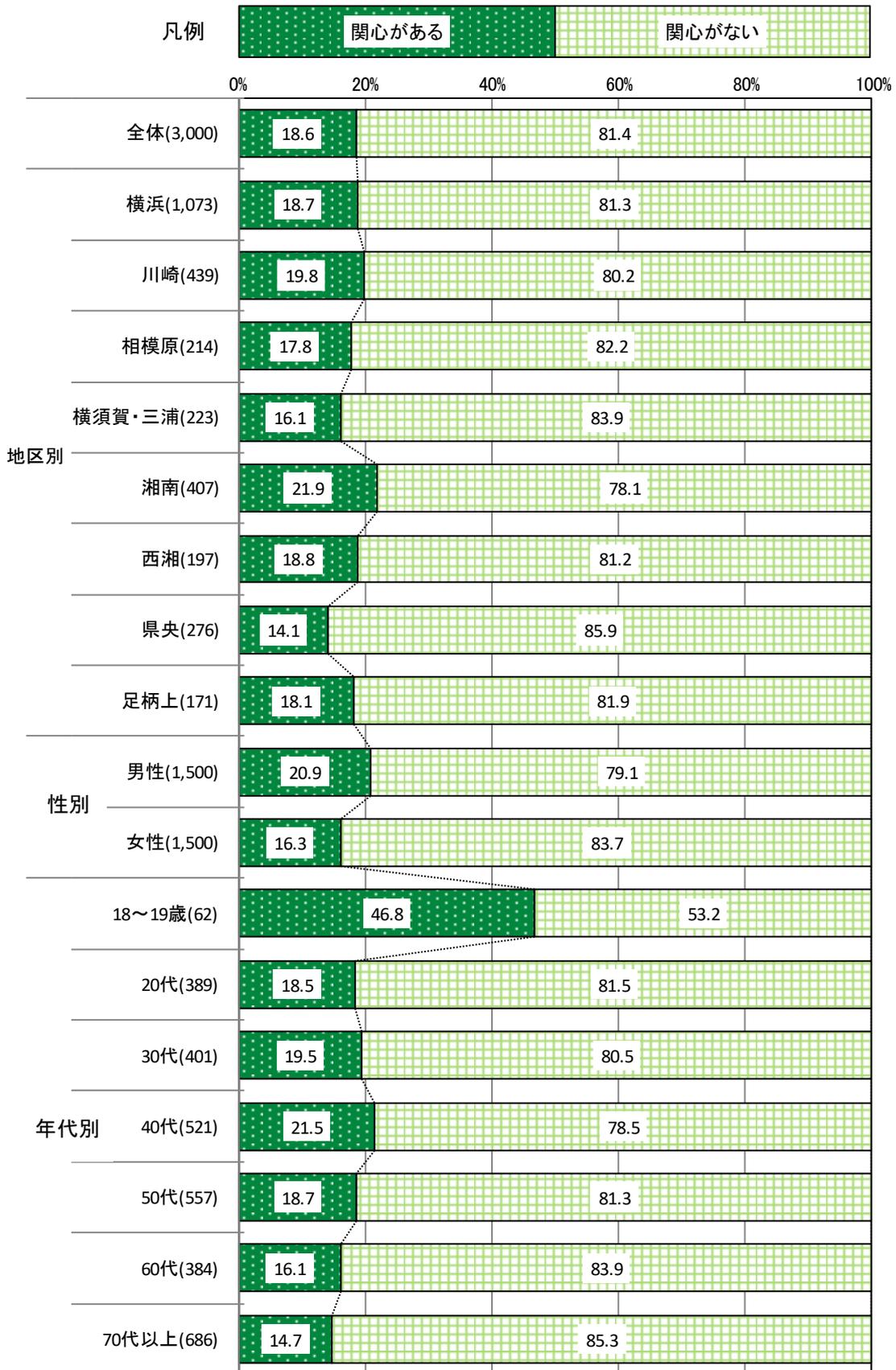
《属性別集計結果》

地区別でみると、「関心がある」は、湘南地区(21.9%)が県央地区(14.1%)に比べて高かった。

性別でみると、「関心がある」は、男性(20.9%)が女性(16.3%)に比べて高かった。

年代別でみると、「関心がある」は、18～19歳(46.8%)が20代以上に比べて高かった。

【図表5-14：スポーツに関するボランティア活動への関心／単一回答】



イ スポーツに関するボランティア活動経験

問15（2） この1年間でスポーツの指導や、イベントへの協力などスポーツに関するボランティア活動を行いましたか。

ア 行った

イ 行わなかった → 問15（4）へ進む

《全体集計結果》

全員に、この1年間のスポーツに関するボランティア活動についての経験をたずねたところ、「行った」は2.9%で、「行わなかった」は97.1%であった。

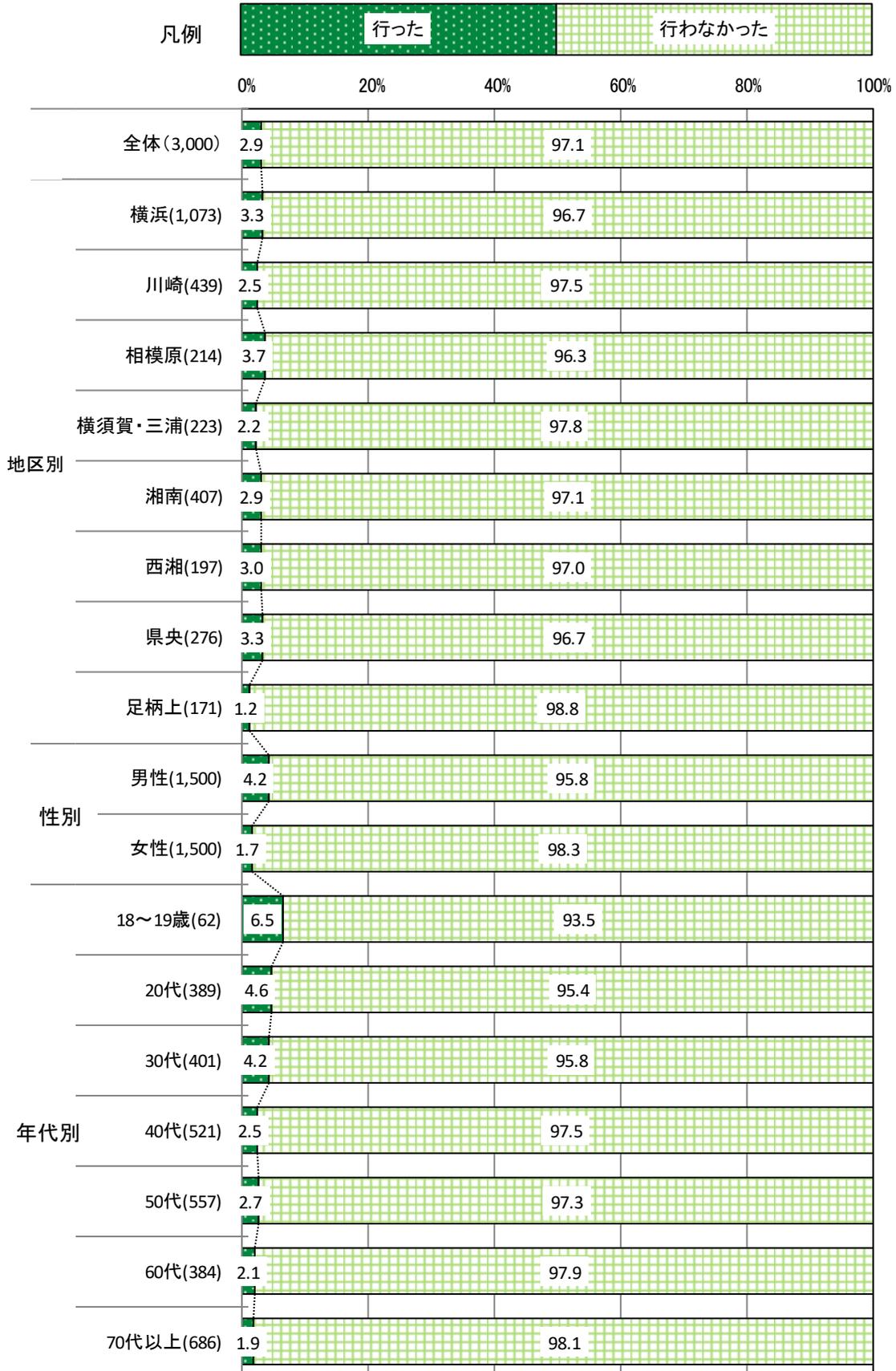
《属性別集計結果》

地区別で見ると、統計的に有意な差はなかった。

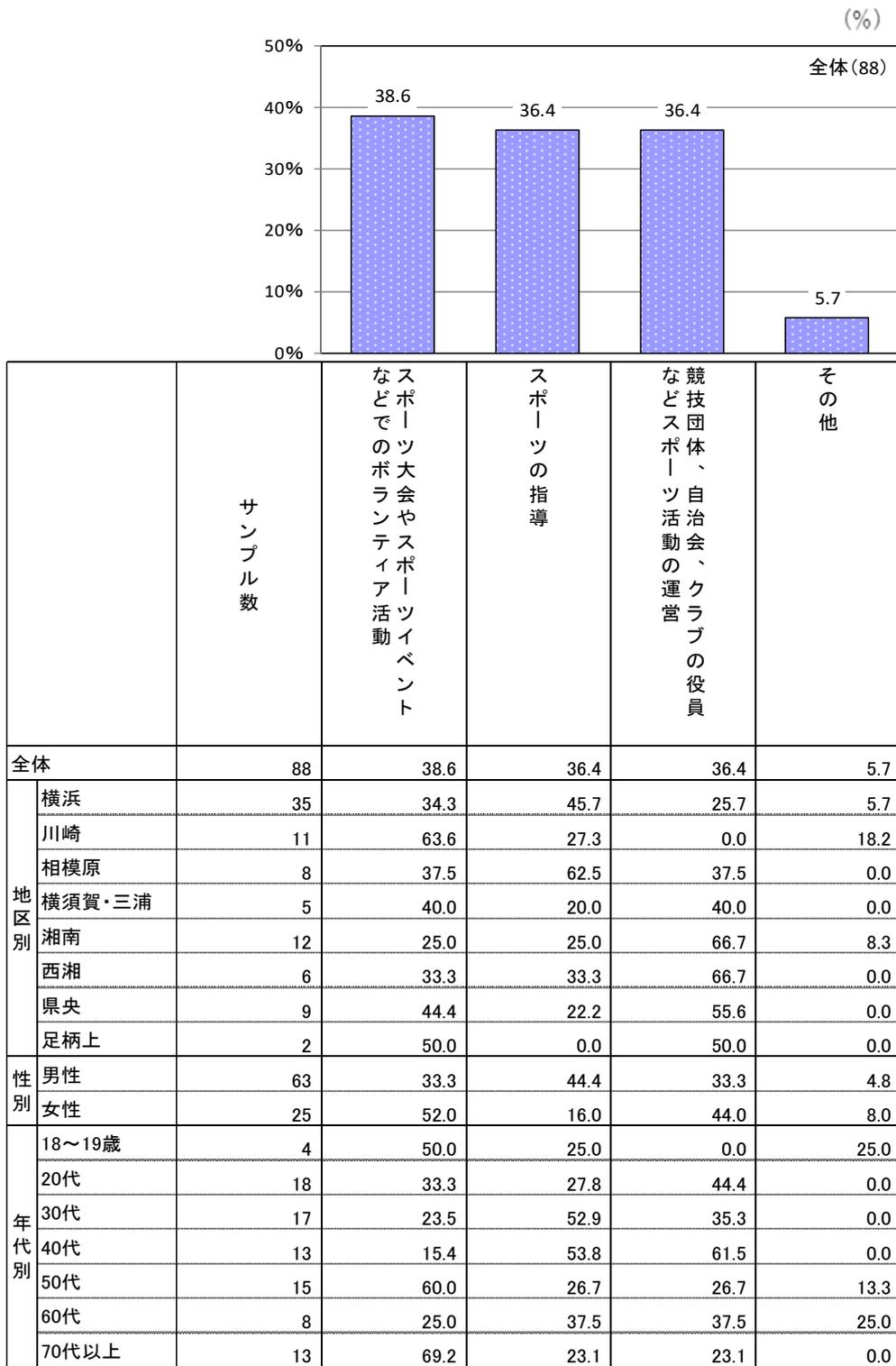
性別で見ると、「行った」は、男性（4.2%）が女性（1.7%）に比べて高かった。

年代別で見ると、「行った」は、18～19歳（6.5%）、20代（4.6%）が60代以上に比べて高かった。

【図表5-15：スポーツに関するボランティア活動経験／単一回答】



【図表5-16：スポーツに関するボランティア活動の内容／複数回答】



なお、「その他」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

- ・ 審判
- ・ スポーツ施設の維持

エ スポーツに関するボランティア活動への今後の参加意向

問15（4） 今後、スポーツに関するボランティア活動を行いたいと思いますか。 1つだけ選んでください。

- ア ぜひ行いたい
- イ できれば行いたい
- ウ あまり行いたくない
- エ 行うつもりはない
- オ わからない

《全体集計結果》

全員に、今後のスポーツに関するボランティア活動への参加意向をたずねたところ、《行いたい群（「ぜひ行いたい」＋「できれば行いたい」）》が17.7%、《行いたくない群（「あまり行いたくない」＋「行うつもりはない」）》は60.7%であった。

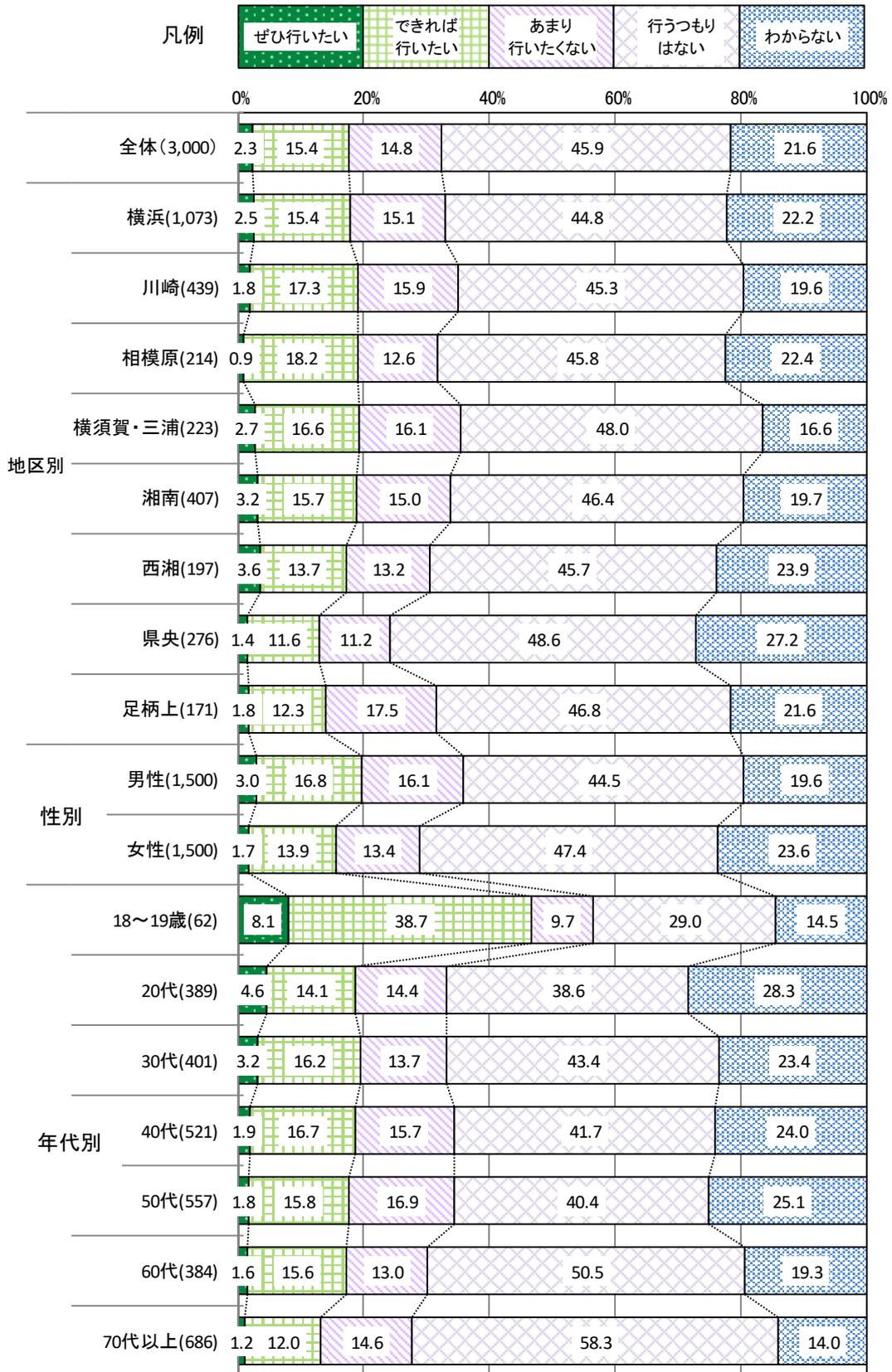
《属性別集計結果》

地区別でみると、《行いたい群》は、川崎地区（19.1%）、湘南地区（18.9%）が県央地区（13.0%）に比べて高かった。

性別でみると、《行いたい群》は、男性（19.8%）が女性（15.6%）に比べて高かった。

年代別でみると、《行いたい群》は、18～19歳（46.8%）が最も高く、他の年代を大きく上回った。

【図表5-17：スポーツに関するボランティア活動への今後の参加意向／単一回答】



(5) 地域のスポーツ振興について

ア 地域のスポーツ振興に期待する効果

問16 (1) 自治会や町内会で行う地域のスポーツ振興にどのような効果を期待しますか。3つまで選んでください。

- | | |
|----------------|---------------|
| ア 親子や家族の交流 | キ 地域の健康水準の改善 |
| イ 自由時間の有効活用 | ク スポーツ施設の有効利用 |
| ウ 地域のコミュニティの形成 | ケ その他 () |
| エ 世代間交流の促進 | コ 特になし |
| オ 青少年の健全育成 | サ わからない |
| カ 生きがいづくり | |

《全体集計結果》

全員に、地域のスポーツ振興に期待する効果をたずねた（3つまで回答可）ところ、「地域のコミュニティの形成」（27.5%）が最も高く、次いで「生きがいづくり」（18.7%）、「世代間交流の促進」（13.8%）、「親子や家族の交流」（13.7%）となった。

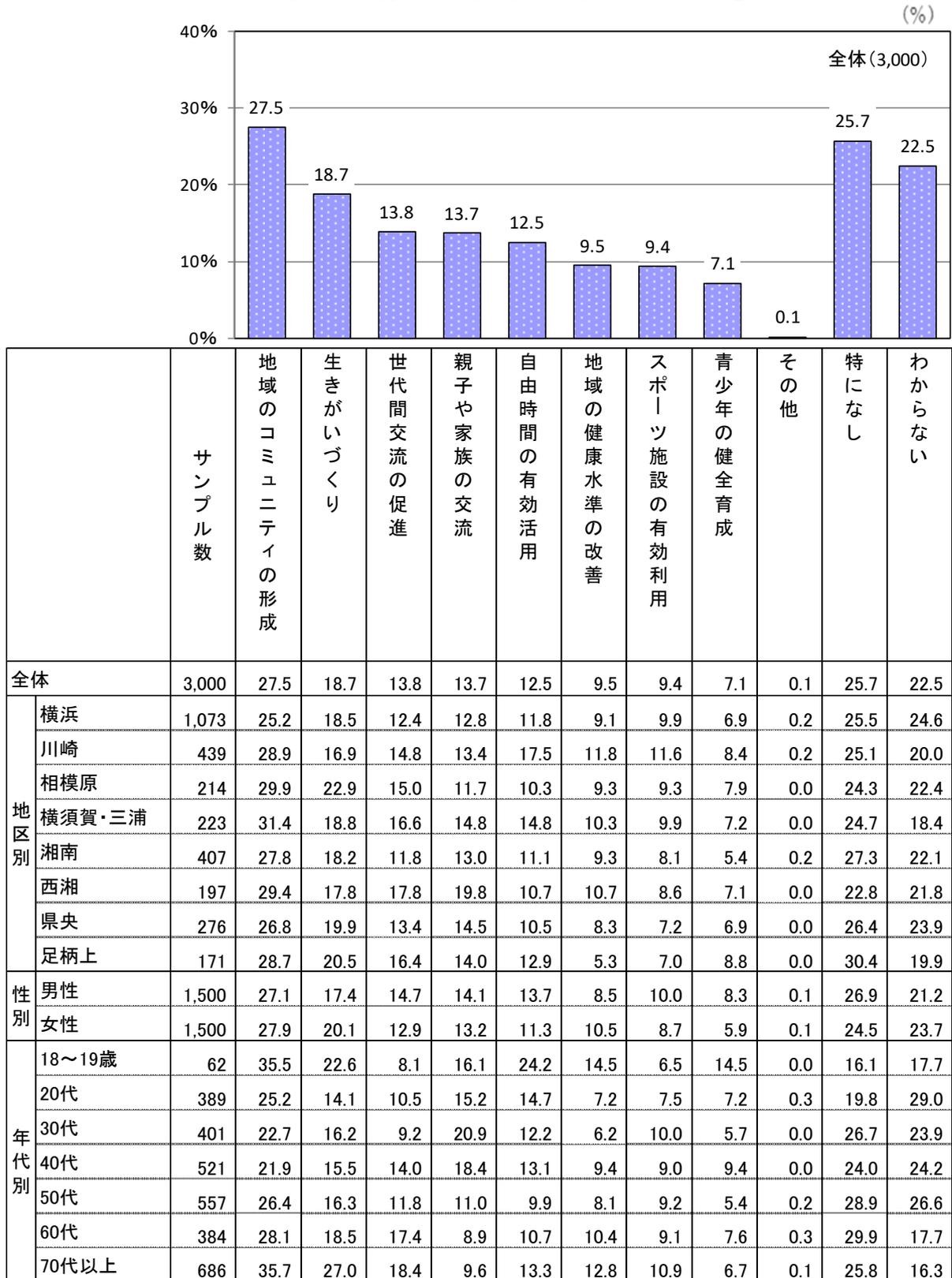
《属性別集計結果》

地区別でみると、「親子や家族の交流」は、西湘地区（19.8%）が相模原地区（11.7%）、横浜地区（12.8%）、湘南地区（1）に比べて高かった。

性別でみると、「自由時間の有効活用」は、男性（13.7%）が女性（11.3%）に比べて高かった。3.0%）、川崎地区（13.4%）

年代別でみると、「地域のコミュニティの形成」（35.7%）、「生きがいづくり」（27.0%）は、70代以上がいずれも20代以上と比べて高かった。

【図表5-18：地域のスポーツ振興に期待する効果／複数回答（3つまで）】



なお、「その他」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

- ・ 体力健康づくり
- ・ 競技スポーツの試合の開催
- ・ 障害者などのマイノリティが参加しやすい環境

イ 県の取組への要望

問16(2) スポーツ振興を図るために、県は今後どのような取組をすべきだと思いますか。3つまで選んでください。

- ア 各種スポーツ行事・大会・教室の開催
- イ 地域のクラブやサークルの育成
- ウ 総合型地域スポーツクラブの育成・支援
- エ スポーツ指導者の養成
- オ スポーツに関する広報活動
- カ 学校体育施設の開放・整備
- キ 各種スポーツ施設の整備
- ク スポーツボランティアの支援
- ケ 障害の種類や程度に応じたスポーツの普及・推進
- コ 公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備
- サ ジョギングなどができる道路整備
- シ 気軽にスポーツができる公園整備
- ス ジュニアアスリートの発掘・育成
- セ トップアスリートの育成
- ソ 子どもの体力向上のための取組
- タ 中高齢者の健康増進のための取組
- チ 未病*を改善するための取組
- ツ その他
- テ 特になし
- ト わからない

※ 「未病」とは、心身の状態を「健康」と「病気」の間を連続的に変化するものと捉え、このすべての変化の過程を表す概念のことをいいます。

《全体集計結果》

全員に、スポーツ振興を図るために、県が今後どのような取組をすべきかたずねた（3つまで回答可）ところ、「気軽にスポーツができる公園整備」（17.5%）が最も高く、次いで「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」（13.4%）、「各種スポーツ施設の整備」、「中高齢者の健康増進のための取組」（いずれも13.3%）となった。

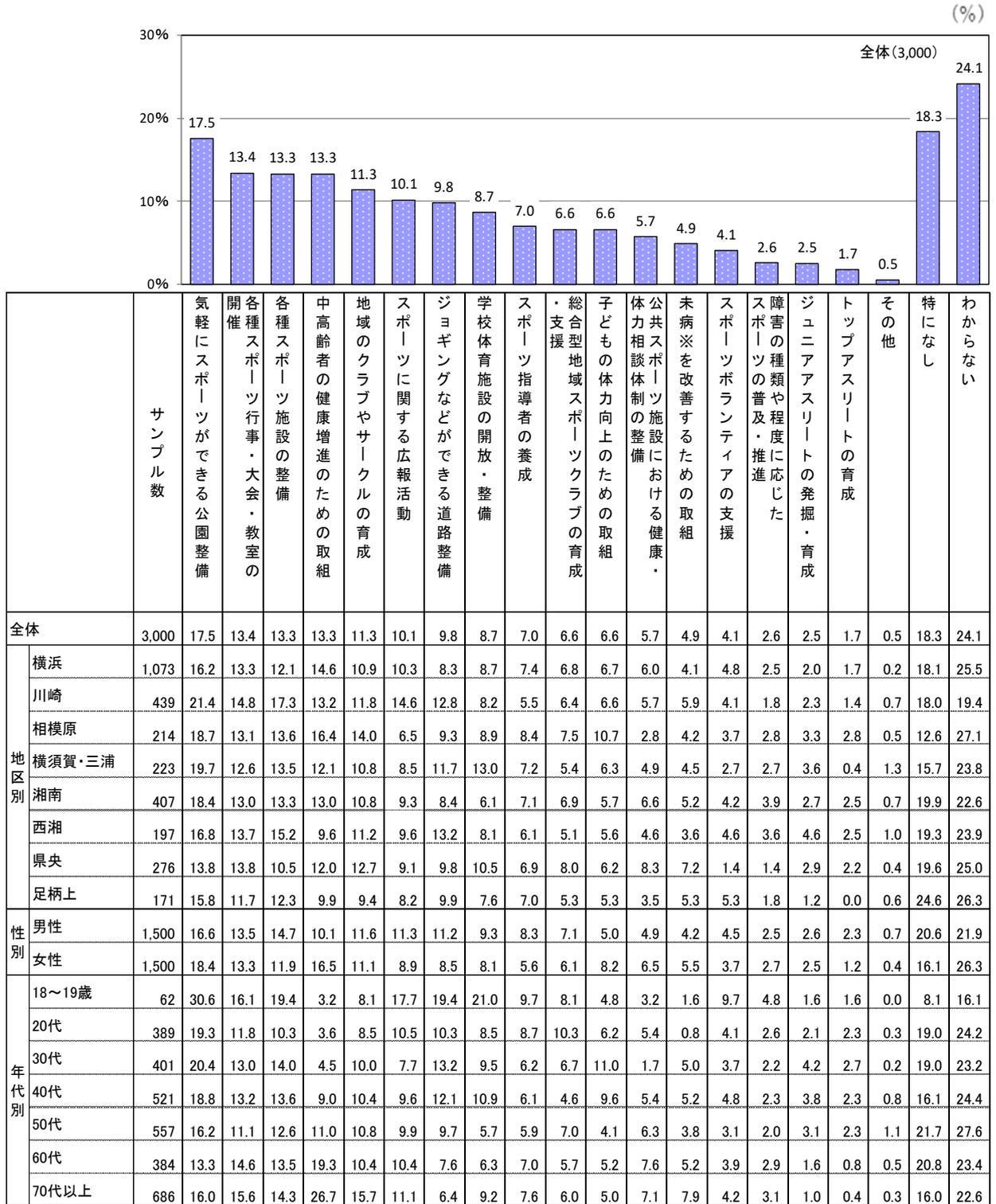
《属性別集計結果》

地区別でみると、「各種スポーツ施設の整備」は、川崎地区（17.3%）が県央地区（10.5%）、横浜地区（12.1%）に比べて高かった。

性別でみると、「各種スポーツ施設の整備」は、男性（14.7%）が女性（11.9%）に比べて高く、「ジョギングなどができる道路整備」は、男性（11.2%）が女性（8.5%）に比べて高かった。また、「子どもの体力向上のための取組」は、女性（8.2%）が男性（5.0%）に比べて高く、「中高齢者の健康増進のための取組」は、女性（16.5%）が男性（10.1%）に比べて高かった。

年代別でみると、「気軽にスポーツができる公園整備」（30.6%）、「学校体育施設の開放・整備」（21.0%）及び「各種スポーツ施設の整備」（19.4%）は、18歳～19歳が最も高かった。

【図表5-19：県の取組への要望／複数回答（3つまで）】

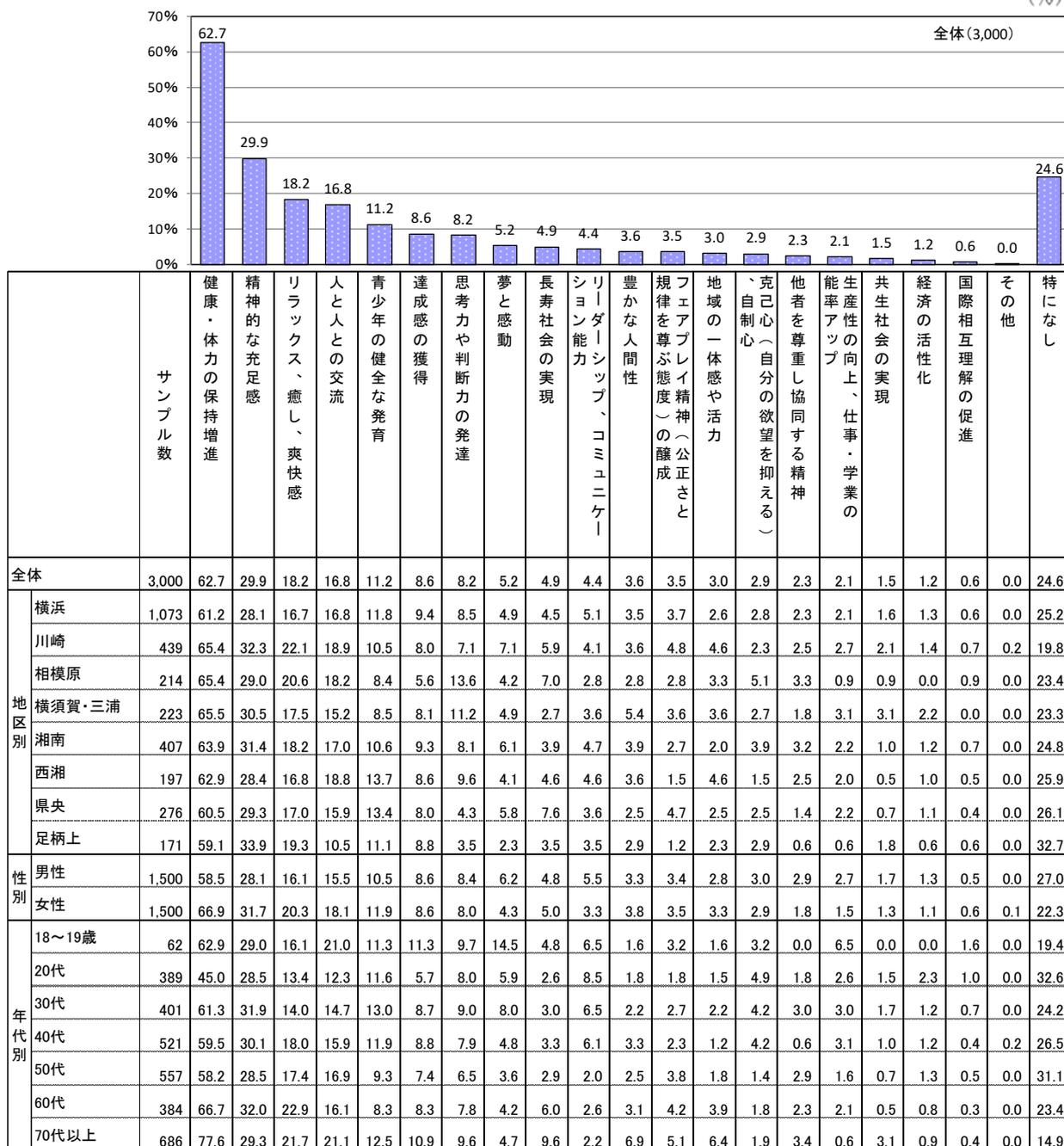


なお、「その他」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

- ・ 資金援助
- ・ サイクリングロードの整備
- ・ モータースポーツ用サーキットの開設

【図表6-1：運動・スポーツがもたらす価値／複数回答（3つまで）】

(%)



なお、「その他」への回答は、次のとおりであった。（代表的回答例）

- ・ 健康寿命を維持する
- ・ ストレス解消

IV 資 料

アンケート調査票

令和6年度県民の体力・スポーツに関する調査

< 調査へのご協力のお願い >

神奈川県では、誰もがスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指しています。

そこで、広く皆様の運動・スポーツを実践している状況などを把握し、今後のスポーツ事業の展開等の参考にさせていただくことを目的に本調査を実施することとしました。趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

なお、皆様のご回答は全て統計的に処理し、調査票にご記入いただいた内容を統計の目的以外には使用せず、個別に公表することはありません。

< ご記入にあたってのお願い >

- 回答は、当てはまる項目の記号を選んで囲んでください。
なお、該当するものを複数選ぶ場合、「3つまで」、「すべて」など、選択数が指定されているものがありますので、ご注意ください。
- 回答が「その他」になった場合には、() 内に具体的な内容をご記入ください。
- 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きにご注意ください。
- 令和5年4月から令和6年3月までの1年間についてお答えください。
- 調査票は、令和6年6月20日(木)までに、回答、送信くださるようお願いいたします。

< 記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは、次までお願いいたします。 >

神奈川県立スポーツセンター 事業推進部スポーツ活動支援課スポーツ相談・情報班

住所：藤沢市善行7-1-2

電話：0466 (82) 6395

お問い合わせフォーム：<https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/userLoginDispNon.action?tempSeq=6116&accessFrom=>

担当：岩田、柏木

Ⅲ あなたの運動・スポーツの実施状況についておたずねします。

問3 この1年間で1日30分*以上行った運動・スポーツについて、次の質問にお答えください。

※1日30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません

- (1) 気軽に楽しんでいるスポーツや比較的軽い運動として行っているスポーツはありますか。3つまで選んでください。(ア～コの選択数とサ～スの種目名の合計が3つまでになるようにしてください)

ア 軽い球技(キャッチボールなど)

イ 体操(縄跳びを含む)

ウ 軽いエアロビックダンス、ヨガ

エ ウォーキング(散歩などを含む)

オ フォークダンス(社交ダンス、民踊、車いすダンスなどを含む)

カ ボウリング

キ ゲートボール、グラウンド・ゴルフ

ク ジョギング

ケ 軽い水泳(水中ウォーキングなどを含む)

コ 室内運動器具(ダンベル、チューブなど)を使って行う軽い運動

サ アーバンスポーツ*

(種目名) (種目名) (種目名)

シ 障害者スポーツ(パラスポーツ)

(種目名) (種目名) (種目名)

ス その他の運動やスポーツ

(種目名) (種目名) (種目名)

セ 特になし

※「アーバンスポーツ」とは、スケートボード、スポーツクライミング、自転車BMX、3×3バスケットボール、ブレイキンなど、広い場所を必要としないなど都市住民が参加しやすい都市型スポーツです。

問3 この1年間で1日30分*以上行った運動・スポーツについて、次の質問にお答えください。

※1日30分とは、1日10分程度の運動を合計して30分でも構いません

- (2) 野外活動として行っているスポーツはありますか。3つまで選んでください。(ア～コの選択数とサ、シの種目名の合計が3つまでになるようにしてください)

ア スキー、スノーボード

イ 海水浴(遊泳)

ウ スケート

エ 登山、ハイキング

オ キャンプ

カ ヨット、サーフィンなどのマリンスポーツ

キ ゴルフ

ク ハンググライダーなどのスカイスポーツ

ケ サイクリング

コ 釣り

サ 障害者スポーツ(パラスポーツ)

(種目名) (種目名) (種目名)

シ その他の野外活動

(種目名) (種目名) (種目名)

ス 特になし

問3 この1年間で1日30分*以上行った運動・スポーツについて、次の質問にお答えください。

※1日30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません

(3) 競技として行っているスポーツはありますか。3つまで選んでください。(ア～スの選択数とセ～チの種目名の合計が3つまでになるようにしてください)

ア 陸上競技

イ マラソン

ウ 水泳競技

エ 柔道、剣道、相撲、空手

オ ボクシング、レスリング

カ 弓道、アーチェリー

キ セーリング

ク 野球、ソフトボール

ケ サッカー、フットサル

コ バレーボール

サ テニス、卓球、バドミントン

シ バスケットボール

ス ラグビー

セ その他の球技スポーツ

(種目名) (種目名) (種目名)

ソ アーバンスポーツ*

(種目名) (種目名) (種目名)

タ 障害者スポーツ (パラスポーツ)

(種目名) (種目名) (種目名)

チ その他のスポーツ

(種目名) (種目名) (種目名)

ツ 特になし

※「アーバンスポーツ」とは、スケートボード、スポーツクライミング、自転車BMX、3×3バスケットボール、ブレイキンなど、広い場所を必要としないなど都市住民が参加しやすい都市型スポーツです。

★問3 (1)(2)(3)で、すべてに「特になし」と答えた方 → 問3(7)へ進む

問3 この1年間で1日30分*以上行った運動・スポーツについて、次の質問にお答えください。

※1日30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません

(4) この1年間で運動・スポーツをどの程度行いましたか。1つだけ選んでください。

※1日30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません。

ア 週に3日以上(151日以上)

イ 週に2日程度(101日～150日)

ウ 週に1日程度(51日～100日)

エ 月に1～3日程度(12日～50日)

オ 3ヶ月に1～2日程度(4～11日)

カ 年に1～3日程度

問3 この1年間で1日30分*以上行った運動・スポーツについて、次の質問にお答えください。

※1日30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません

(5) この1年間で運動・スポーツを行った理由を選んでください。3つまで選んでください。

ア 健康・体力づくりのため

イ 楽しみ、気晴らしのため

ウ 運動不足の解消のため

エ 精神の修養や訓練のため

オ 自己の記録や能力を向上させるため

カ 家族の触れ合いのため

キ 友人、仲間との交流のため

- ク 美容や肥満解消のため
- ケ その他 ()

問3 この1年間で1日30分*以上行った運動・スポーツについて、次の質問にお答えください。
※1日30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません

(6) 運動・スポーツを行ってどんな効果がありましたか。3つまで選んでください。

- ア 健康・体力づくり
- イ 楽しみ、気晴らし
- ウ 運動不足の解消
- エ 精神の修養や訓練
- オ 自己の記録や能力の向上
- カ 家族の触れ合い
- キ 友人、仲間との交流
- ク 美容や肥満解消
- ケ その他 ()
- コ 特に効果はなかった

★→ 問4へ進む

問3 この1年間で1日30分*以上行った運動・スポーツについて、次の質問にお答えください。
※1日30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません

(7) ★この質問は運動・スポーツを行わなかった方(問3(1)(2)(3)ですべてに「特になし」と答えた方)のみ回答してください。

この1年間で運動・スポーツを行わなかった理由を選んでください。3つまで選んでください。

- ア 仕事(家事・育児を含む)が忙しくて時間がないから
- イ 体調が整わなかったから
- ウ 年をとったから
- エ 場所や施設がないから
- オ 施設が利用しづらいから
- カ 仲間がいないから
- キ 指導者がいないから
- ク 補助者・介助者がいないから
- ケ 費用がかかるから
- コ 運動・スポーツは嫌いだから
- サ 機会がなかったから
- シ その他 ()
- ス わからない

問4 運動・スポーツを行うことについて、どのようにお考えですか。1つだけ選んでください。

- ア 運動・スポーツを十分に行っており、満足している
- イ 運動・スポーツを行ってはいるが、もっと行いたい
- ウ 運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない
- エ 運動・スポーツに関心はないが、行っている
- オ 運動・スポーツに関心がなく、行っていない

問5 今後(も)行いたい(行ってみたい)運動・スポーツについて、次の質問にお答えください。

(1) 気軽に楽しむことができるスポーツや比較的軽い運動として今後(も)行いたい(行ってみたい)スポーツはありますか。3つまで選んでください。(ア~コの選択数とサ~スの種目名の合計が3つまでになるようにしてください)

(4) 利用しなかった理由を教えてください。3つまで選んでください。

- ア 運動やスポーツに関心がないから
- イ 近くの学校体育施設は一般には開放していないから
- ウ 利用できることを知らなかったから
- エ 施設・設備が良くないから
- オ 多目的トイレや更衣室などの必要な施設・設備がないから
- カ 個人単位では、利用ができないから
- キ 時間帯が限られており、利用したいときにできないから
- ク 利用手続きが面倒だから
- ケ 運動やスポーツ後に利用する施設(レストランなど)がないから
- コ 特になし
- サ その他 ()

(5) 今後、設置を希望するスポーツ施設は何ですか。3つまで選んでください。

- ア 屋内プール
- イ 屋外プール
- ウ 体育館
- エ 多目的運動広場
- オ 陸上競技場
- カ 野球場 (ソフトボール場)
- キ テニスコート
- ク トレーニング場
- ケ サッカー・ラグビー場
- コ ゴルフ場
- サ 柔・剣道場
- シ 弓道場
- ス 漕艇場・カヌー場
- セ 射撃場
- ソ 卓球場
- タ スケート場
- チ キャンプ場
- ツ フットサル場
- テ アーバンスポーツ施設
- ト その他 ()
- ナ 特になし

V 県や市町村のスポーツ施策についておたずねします。

問7 「総合型地域スポーツクラブ」※についてお答えください。

※「総合型地域スポーツクラブ」とは、地域住民が主体となって運営する多種目・多世代・多志向型のスポーツクラブのことを指します。

(1) 「総合型地域スポーツクラブ」について知っていますか。1つだけ選んでください。

- ア 県内に総合型地域スポーツクラブがあることや仕組みや特徴も含め、よく知っている
- イ 県内に総合型地域スポーツクラブがあることは知っている
- ウ 総合型地域スポーツクラブという言葉聞いたことがある
- エ 知らない

(2) 「総合型地域スポーツクラブ」の活動などに参加したことがありますか。

- ア 参加したことがある
- イ 参加したことがない

問8 「3033(サマルサンサン)運動」※についてお答えください。

※1日30分、週3回、3ヶ月間継続して運動やスポーツを行い、運動やスポーツをくらしの一部として習慣化することを、「3033(サンマルサンサン)運動」といいます。

(1) 「3033(サマルサンサン)運動」について知っていますか。1つだけ選んでください。

- ア 「3033運動」という言葉の意味、内容、効果について、よく知っている
- イ 「3033運動」という言葉の意味を知っている
- ウ 「3033運動」という言葉は聞いたことはある
- エ 知らない → 問9へ進む

(2) 「3033(サマルサンサン)運動」を実践していますか。1つだけ選んでください。

- ア 実践している
- イ 実践していないが、これから実践したい
- ウ 実践していないし、これからも実践するつもりはない

問9 「県民スポーツ月間」についてお答えください。

「県民スポーツ月間」について知っていますか。1つだけ選んでください。

- ア 「県民スポーツ月間」という言葉、時期、内容について、よく知っている
- イ 「県民スポーツ月間」という言葉は知っている(聞いたことはある)
- ウ 知らない

問10 県や市町村が主催するスポーツ行事などへの参加についてお答えください。

(1) この1年間に県や市町村が主催するスポーツ行事に参加したことがありますか。1つだけ選んでください。(行事名または内容を記入してください)

- ア 参加した(参加した行事名または内容_____)
- イ 見に行った(見に行った行事名または内容_____)
- ウ 参加しなかった

(2) この1年間に県や市町村が主催するスポーツ教室に参加したことがありますか。(参加したスポーツ種目を記入してください)

- ア 参加した(参加した種目_____)
- イ 参加しなかった

(3) スポーツ行事やスポーツ教室に参加したいと思いませんか。1つだけ選んでください。(ア、イを選んだ場合はどのようなスポーツ行事や教室に参加したいか記入してください)

- ア ぜひ参加したい(参加したいスポーツ行事や教室_____)
- イ できれば参加したい(参加したいスポーツ行事や教室_____)
- ウ あまり参加したくない
- エ 参加するつもりはない

問11 神奈川県スポーツ推進にかかる取組についてお答えください。

(1) 「神奈川県スポーツ推進条例」について知っていますか。1つだけ選んでください。

- ア 内容を詳しく知っている
- イ 知っている(聞いたことはある)
- ウ 知らない

(2) 「神奈川県スポーツ推進計画」について知っていますか。1つだけ選んでください。

- ア 内容を詳しく知っている
- イ 知っている(聞いたことはある)
- ウ 知らない

(3) 「かながわパラスポーツ」について知っていますか。1つだけ選んで下さい。

※「かながわパラスポーツ」とは、関心、目的、体力、年齢、運動機能及び健康状態に応じて県民が、生涯にわたり楽しみながらスポーツをする、観る及び支えることをいいます。

好きなクラブなどがあれば加入したいと思いますか。 1つだけ選んでください。

- ア ぜひ加入したい
 - イ できれば加入したい
 - ウ あまり加入したくない → 問14(1)へ進む
 - エ 加入するつもりはない → 問14(1)へ進む
- (6) ★この質問は前質問(問13(5))で「ア ぜひ加入したい」「イ できれば加入したい」と答えた方のみ回答してください。

加入したいクラブなどとは、どのようなものですか。 3つまで選んでください。

- ア 職場のクラブ・同好会
- イ 学校のクラブ・同好会
- ウ 仲間や友達と活動するクラブ(学校OBやOGなども含む)
- エ 県内の人を対象とした地域クラブ・同好会
- オ 市町村内の人を対象とした地域クラブ・同好会
- カ 総合型地域スポーツクラブ
- キ 民間スポーツ施設の会員制のクラブ
- ク その他()

問14 スポーツ観戦についてお答えください。

- (1) スポーツ観戦について関心がありますか。
- ア ある
 - イ ない
- (2) この1年間で直接会場へ行ってスポーツ観戦をしましたか。
- ア した
 - イ していない
- (3) 直接会場へ行ってスポーツ観戦をするとしたら、どのような規模のスポーツ観戦をした
いですか。 2つまで選んでください。
- ア オリンピックやパラリンピックなど国際大会
 - イ 国内のプロスポーツ
 - ウ 全国レベルの大会
 - エ 県レベルの大会
 - オ その他()
 - カ 特になし
- (4) 直接会場へ行ってスポーツ観戦をするとしたら、どのような競技を観戦したいですか。
3つまで選んでください。(ア～スの選択数とセ～チの種目名の合計が3つまでになるよう
にしてください)
- ア 陸上競技
 - イ マラソン
 - ウ 水泳競技
 - エ 柔道、剣道、相撲、空手
 - オ ボクシング、レスリング
 - カ 弓道、アーチェリー
 - キ セーリング
 - ク 野球、ソフトボール
 - ケ サッカー、フットサル
 - コ バレーボール
 - サ テニス、卓球、バドミントン
 - シ バスケットボール
 - ス ラグビー

- セ その他の球技スポーツ
 (種目名) (種目名) (種目名)
- ソ アーバンスポーツ※
 (種目名) (種目名) (種目名)
- タ 障害者スポーツ (パラスポーツ)
 (種目名) (種目名) (種目名)
- チ その他のスポーツ
 (種目名) (種目名) (種目名)
- ツ 特になし

※「アーバンスポーツ」とは、スケートボード、スポーツクライミング、自転車BMX、3×3バスケットボール、ブレイキンなど、広い場所を必要としないなど都市住民が参加しやすい都市型スポーツです。

- (5) この1年間でテレビやインターネットなどでスポーツ観戦をしましたか。
 ア した
 イ していない
- (6) テレビやインターネットなどでスポーツ観戦をするとしたら、どのような規模のスポーツ観戦をしたいですか。2つまで選んでください。
 ア オリンピックやパラリンピックなど国際大会
 イ 国内のプロスポーツ
 ウ 全国レベルの大会
 エ 県レベルの大会
 オ その他 ()
 カ 特になし
- (7) テレビやインターネットなどでスポーツ観戦をするとしたら、どのような競技を観戦したいですか。3つまで選んでください。(ア～スの選択数とセ～チの種目名の合計が3つまでになるようにしてください)
 ア 陸上競技
 イ マラソン
 ウ 水泳競技
 エ 柔道、剣道、相撲、空手
 オ ボクシング、レスリング
 カ 弓道、アーチェリー
 キ セーリング
 ク 野球、ソフトボール
 ケ サッカー、フットサル
 コ バレーボール
 サ テニス、卓球、バドミントン
 シ バスケットボール
 ス ラグビー
 セ その他の球技スポーツ
 (種目名) (種目名) (種目名)
- ソ アーバンスポーツ※
 (種目名) (種目名) (種目名)
- タ 障害者スポーツ (パラスポーツ)
 (種目名) (種目名) (種目名)
- チ その他のスポーツ
 (種目名) (種目名) (種目名)
- ツ 特になし

※「アーバンスポーツ」とは、スケートボード、スポーツクライミング、自転車BMX、3×3バスケットボール、ブレイキンなど、広い場所を必要としないなど都市住民が参加しやすい都市型スポーツです。

問15 スポーツに関するボランティア活動についてお答えください。

- (1) スポーツの指導や、イベントへの協力などスポーツに関するボランティア活動について関心がありますか。
- ア 関心がある
イ 関心がない
- (2) この1年間でスポーツの指導や、イベントへの協力などスポーツに関するボランティア活動を行いましたか。
- ア 行った
イ 行わなかった →問15(4)へ進む
- (3) この1年間で行ったボランティア活動はどのようなものですか。当てはまるものすべて選んでください。
- ア スポーツの指導
イ 競技団体、自治会、クラブの役員などスポーツ活動の運営
ウ スポーツ大会やスポーツイベントなどでのボランティア活動
エ その他()
- (4) 今後、スポーツに関するボランティア活動を行いたいと思いますか。1つだけ選んでください。
- ア ぜひ行いたい
イ できれば行いたい
ウ あまり行いたくない
エ 行うつもりはない
オ わからない

問16 スポーツ振興についてお答えください。

- (1) 自治会や町内会で行う地域のスポーツ振興にどのような効果を期待しますか。3つまで選んでください。
- ア 親子や家族の交流
イ 自由時間の有効活用
ウ 地域のコミュニティの形成
エ 世代間交流の促進
オ 青少年の健全育成
カ 生きがいづくり
キ 地域の健康水準の改善
ク スポーツ施設の有効利用
ケ その他()
コ 特になし
サ わからない
- (2) スポーツ振興を図るために、県は今後どのような取組をすべきだと思いますか。3つまで選んでください。
- ア 各種スポーツ行事・大会・教室の開催
イ 地域のクラブやサークルの育成
ウ 総合型地域スポーツクラブの育成・支援
エ スポーツ指導者の養成
オ スポーツに関する広報活動

【本調査にご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。】



質問は以上で終わりです。

いただいたご意見は、これからのスポーツ振興に役立ててまいります。

ご協力ありがとうございました。

誠に勝手ながら令和6年6月20日（木）までに、回答、送信くださいますよう、お願い申し上げます。

**令和6年度 県民の体力・スポーツに関する調査
結果報告書**

発 行 神奈川県立スポーツセンター
〒251-0871 藤沢市善行7-1-2
電話 (0466) 81-2570

発 行 日 令和7(2025)年3月



神奈川県

スポーツセンター 電話(0466)81-2570 ファクシミリ(0466)83-4622
藤沢市善行7-1-2 〒251-0871